

**4/8/16-Ch AHD 対応デジタルビデオレコーダー**

---

**DVR-020/020A/**

**取扱説明書**

**Version 1.0**

## 著作権

著作権は、(株)ボーダレスが所有します。(株)ボーダレスの書面による許可無しに、本書の一部でも削除したり、翻訳したり、複写したり、関連システムに電氣的に保存したりしてはいけません。

ボーダレスは、本書の内容に関して発生したクレーム等に対してどのような特定のお客様に対しても一切保証致しません。またボーダレスは、購入者に通達無しに、本書を改訂・修正する権限を持ちます。

本書に記載される全てのブランドと製品名は、弊社の商標や登録商標です。

## FCC 干渉指令

本器は、FCC 規則第 15 則に従って試験され、クラス B のデジタル機器に相応することがわかりました。このクラスは、居住用施設に対する有害な干渉からの合理的な保護を提供することとなっています。本器は、無線周波数エネルギー発生します。もし指示通りに設置されず使用される場合は、無線通信に有害な影響を及ぼす恐れがあります。しかし、干渉が特定した設置方法で生じないという保証はありません。本器がラジオやテレビ受信に有害な干渉(機器のチャンネルを変えることによって分かります)を引き起こす場合、ユーザーは以下の処置を行うことを推奨いたします。

1. 受信アンテナを再配置又は再設定してください。
2. 本器と干渉機器の距離をとってください。
3. 干渉機器が接続されたコンセントと違うコンセントへ本器を接続して下さい。
4. 販売業者か電波技術者の意見を聞いて下さい。

## FCC 注意

継続的な遵守を保証してください。(例-コンピュータや周辺機器に接続するとき、インターフェースケーブルを保護して使用する) 遵守に対して責任ある機関から、はっきりと認可されていないどんな変化や修正は、本器を操作するユーザーの権限を無効にすることができます。

本器は、FCC 規則第 15 則を遵守しています。操作は、次の 2 つの条件を受けます。(1) 本器は有害な干渉の原因にならない可能性があります。(2) 本器は、望まない操作を引き起こす恐れのある干渉を受けることがあります。

## FCC 放射線被爆指令

本器は、FCC 放射線被爆を遵守し、自由な環境について説明します。FCC 無線周波数露出限界を超える可能性を避けるために、通常操作の間は人間とアンテナの間が 20cm 以下になってはいけません。

## 安全について

本器は、使用する人の安全を最大限注意して設計されています。しかし動作中は、静電気と感電の危険性に注意してください。このガイドラインは、機器の安全使用を確実にするため、いつでも考慮しなければなりません。

## WEEE(廃電気電子機器指令)規制

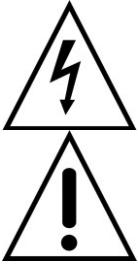
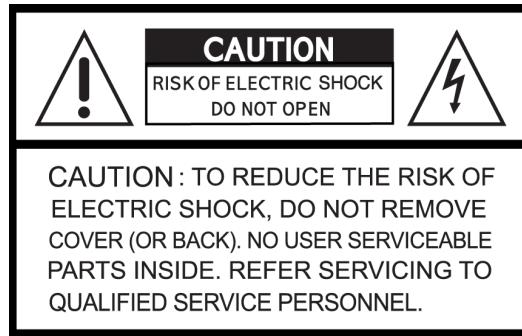


電気・電子機器の危険物質の結果として、人間の健康と環境への影響を避けるため、エンドユーザーは、左のゴミ箱の×印の意味を理解しなければなりません。分類されていない都市廃棄物として処分をしないで下さい。また WEEE の分類で分けて収集してください。

## 取扱説明書

型番: DVR-020A

バージョン: 1.0 (2017/02/14)



このマークは、製品の中に感電の危険性が高い恐れのあることを、ユーザーに警戒させることを目的とします。

このマークは、機器の重要な操作とメンテナンスをユーザーに気付かせることを目的とします。

## 警告

火災や感電の危険性を減らすために、本機を雨または湿気にさらさないでください。

**本機を使用する前に、全ての安全と操作に関する説明をお読みください。**

- DVRを設置する前に、必ず電源をオフにしてください。
- DVRを電気工事士の資格のない人によって分解された場合、感電の危険があります。
- 仕様で示される動作環境温度と湿度の外での本機の使用を避けてください。
- DVRを激しい移動または振動にさらさないでください。
- 直射日光の下や熱源近くには本機を設置しないでください。
- 換気口付近に物を置かないでください。
- オーバーヒートを避けるために、よく換気された場所で本機を使ってください。
- ACアダプターを付属のもの以外のタイプと交換する場合、爆発の危険がありますのでお止めください。
- 古いACアダプターは、各自治体の指示に従って処分してください

## 目 次

1 章 特徴.....	4
2 章 パッケージ内容.....	4
3 章 各部の説明.....	5
3.1 フロントパネル.....	5
3.2 背面パネル.....	5
3.3 マウス操作.....	6
4 章 ウィザードとメイン画面.....	8
4.1 ウィザード.....	8
4.2 メイン画面.....	10
5 章 メインメニュー.....	14
5.1 カメラ管理.....	14
5.2 ライブ画面.....	15
6 章 検索・再生とバックアップ.....	31
6.1 即時再生.....	31
6.2 再生画面.....	31
6.3 録画検索と再生.....	33
6.4 バックアップ.....	35
7 章 アラーム管理.....	39
7.1 センサーアラーム.....	39
7.2 動体検知.....	39
7.3 異常処理.....	40
7.4 アラームイベント通知.....	41
7.5 手動アラーム.....	42
7.6 アラーム状態ビュー.....	42
8 章 ユーザーと権限設定.....	44
8.1 アカウント管理.....	44
8.2 ユーザーログイン/ログアウト.....	45
8.3 権限管理.....	46
8.4 許可/不許可リスト.....	47
9 章 デバイス管理.....	48
9.1 ネットワーク設定.....	48
9.2 基本設定.....	51
10 章 リモート監視.....	54
10.1 モバイル端末からの遠隔監視.....	54
10.2 WEB LAN アクセス(ネットワーク内アクセス).....	54
10.3 WEB WAN アクセス(外部ネットワークアクセス).....	55
10.4 WEB 遠隔制御.....	55

補足 A B C D

保証書

この文書に記載されている可能性のあるいかなる間違いや省略に対して責任を負いません。また、情報が常に最新版であることを約束するものではありません。

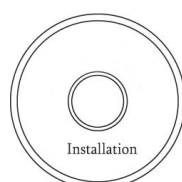


## 1 章 特徴

- H.264圧縮形式で、HDDを効率よく使用します。
- AHD、TVI、CVI、960Hの複数映像形式に対応
- 2つのUSBポート付き(1マウス用、2バックアップ用)
- 解像度、フレームレート、画質をチャンネルごとに個別設定
- リアルタイムライブディスプレイ
- VGA/HDMI/BNC(オプション)出力で、最大解像度:1920×1080
- スナップショット機能、AVIコンバータ付き
- ライブ表示、バックアップ、再生、ネットワークアクセスを同時に可能
- 操作方法:USBマウス、クライアントビューアー
- 簡単なメニュー構成による直観的なGUI操作
- 4チャンネル音声録画と1チャンネル音声出力
- スマートフォン/PC遠隔監視
- ハードディスク: 1×SATA HDD、最大:6TB(4ch)
- パン/チルト/ズームカメラ制御
- データバックアップ:USBデバイスとネットワーク遠隔操作
- イベントトリガーとメール通知:モーション検知、アラーム、ビデオロス
- 遠隔操作のアプリケーションソフトウェア及びインターネットエクスプローラー対応
- 複数言語対応

## 2 章 パッケージ内容

1. DVR



2. CD ディスク



3. 取扱説明書



4. 電源コード



5. AC アダプター



6. HDD ネジ x 4

## 3 章 各部の説明

### 3.1 フロントパネル

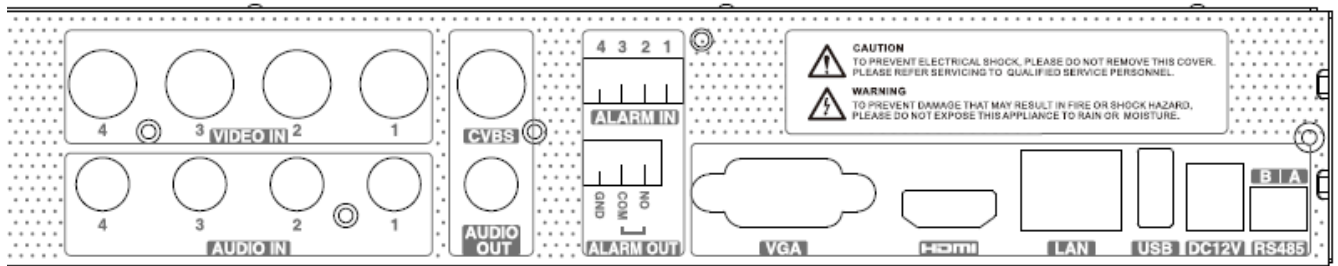
・DVR-020/020A(4ch タイプ)

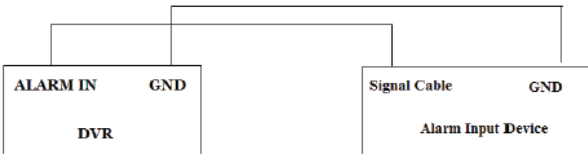


項 目		説 明
1	REC	録画中に青く点灯します。
2	NET	ネットワークからアクセスがある場合、青く点灯します。
3	POWER	電源が接続されている場合、青く点灯します。

### 3.2 背面パネル

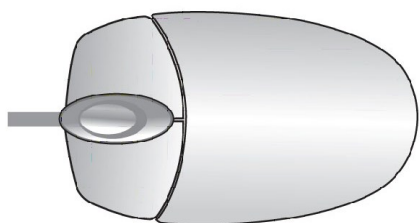
・DVR-020/020A(4ch タイプ)



項 目		説 明
1	VIDEO IN	4チャンネルカメラ入力用 BNC ポート
2	AUDIO IN	音声信号入力用 RCA ポート。マイクを接続します。
3	CVBS	アナログ映像出力。モニターに接続します。
4	AUDIO OUT	音声信号出力用 RCA ポート。スピーカーやヘッドホンに接続して下さい。
5	ALARM IN	センサー入力コネクタ 
6	ALARM OUT	リレー出力。外部アラームに接続します。

7	VGA	映像出力。VGA モニターに接続します。
8	HDMI	デジタル映像出力。HDMI モニターに接続します。
9	LAN	ネットワークポート
10	USB	USB メモリや USB マウスを接続します。
11	DC 12V	DC 12V 入力ポート。付属の AC アダプターを使用してください。
12	RS485	PTZ カメラを接続します。A: TX+、B: TX-

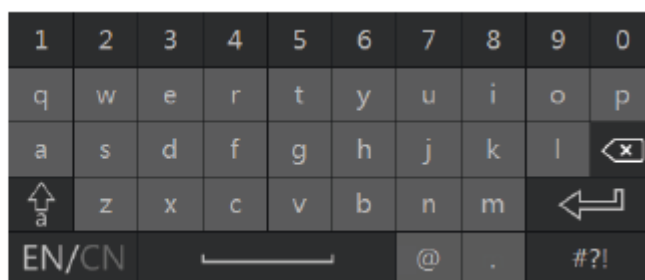
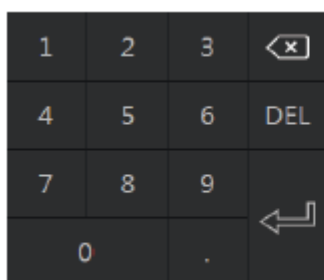
### 3.3 マウス操作



#### ライブモード/再生モード


全画面表示	カーソルを希望のチャンネルへ移動し、左ダブルクリックします。
全画面表示と複数画面表示切替	左ダブルクリック

#### テキスト入力






マウス - キーボード		
		バックスペース
		削除
		上下文字切替
		言語切替
		記号文字へ切り替え
		確定ボタン
		スペース

マウス - 共通アイコン説明	
	メニューリストを表示
	シーケンスリストを切り替え
	カメラ表示モード切替

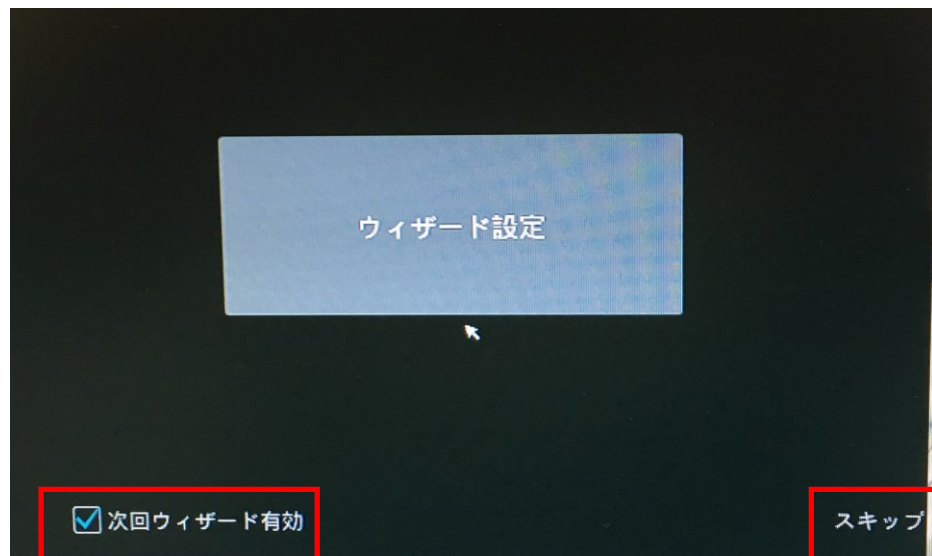
	現在の画面を閉じる。
最初へ	録画の最初の日に移動
最後へ	録画の最後の日に移動

## 4 章 ウィザードとメイン画面

### 4.1 ウィザード

本機に電源を接続すると、起動を開始し、ウィザード画面が開きます。HDD アイコンが起動画面の上に表示されます。このアイコンで HDD の状況を把握できます。(  : HDD 無し、 : 利用不可 HDD、 : 読み書き可 HDD)

ユーザーは、ウィザードに従い簡単に本機の初期設定が可能です。初回起動時には、ウィザードで初期設定を行って下さい。



“スキップ”をクリックすると、ウィザードを飛ばします。“次回ウィザード有効”のチェックを外すと、次回起動時にウィザードは表示されません。

“ウィザード設定”をクリックすると、ウィザード設定画面に入ります。

- ① admin パスワード設定: 初回起動時に表示されます。ここでパスワードを設定します。初期パスワードは、“123456”です。

“秘密の質問編集”をクリックすると、質問と回答を設定できます。パスワードを忘れた時に役に立ちます。(補足 A FAQ を参照ください) “次”をクリックします。

②日時設定: 日時設定を行います。システム時間を変更するには、時計アイコンをクリックします。

③ネットワーク設定: ネットワークに接続する場合に設定します。

④QRコード: スマートフォンでQRコードをスキャンします。スマートフォンで遠隔監視する際に利用します。詳細は、“12.1 モバイルクライアント監視”を参照ください。

⑤カメラ追加: オンライン上の IP カメラがリスト表示されます。同時に IP カメラも接続可能です。(サポート外)

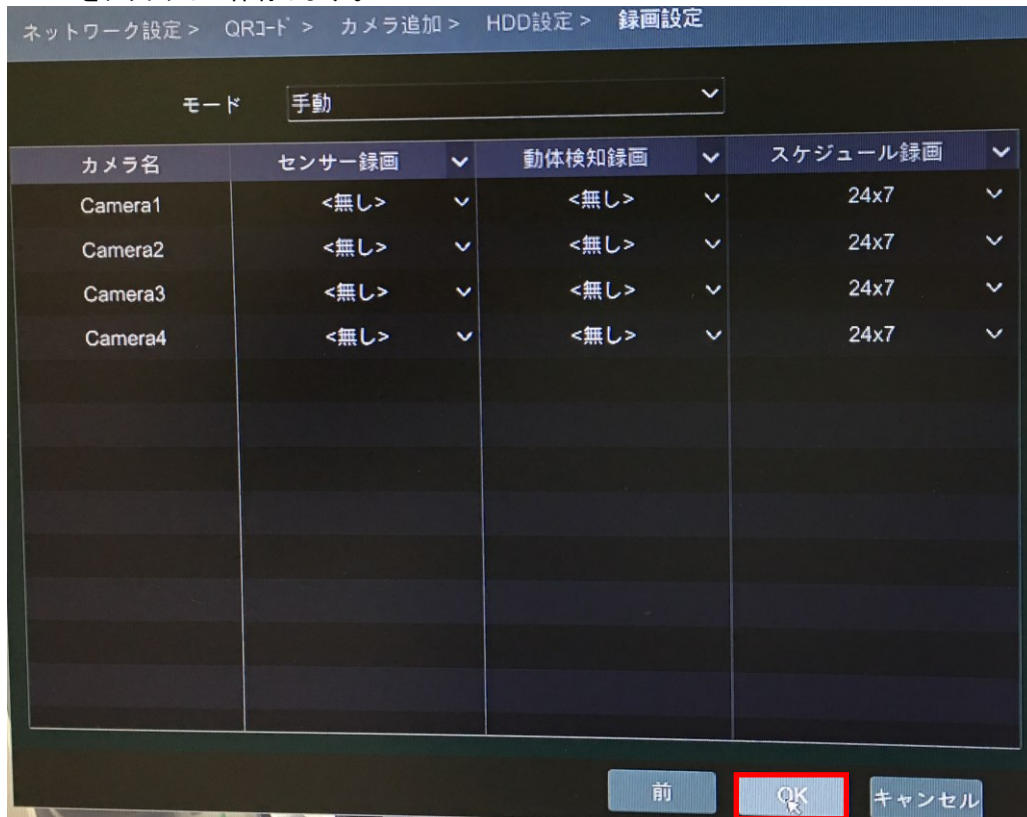
⑥HDD 設定: HDD の状態を表示します。“初期化”をクリックすると、フォーマットを行います。

ネットワーク設定 > QRコード > カメラ追加 > HDD設定 > 録画設定				
HDD	容量[GB]	シリアルNo.	状態	操作
HDD1	465	Z3T07L62	RW	初期化



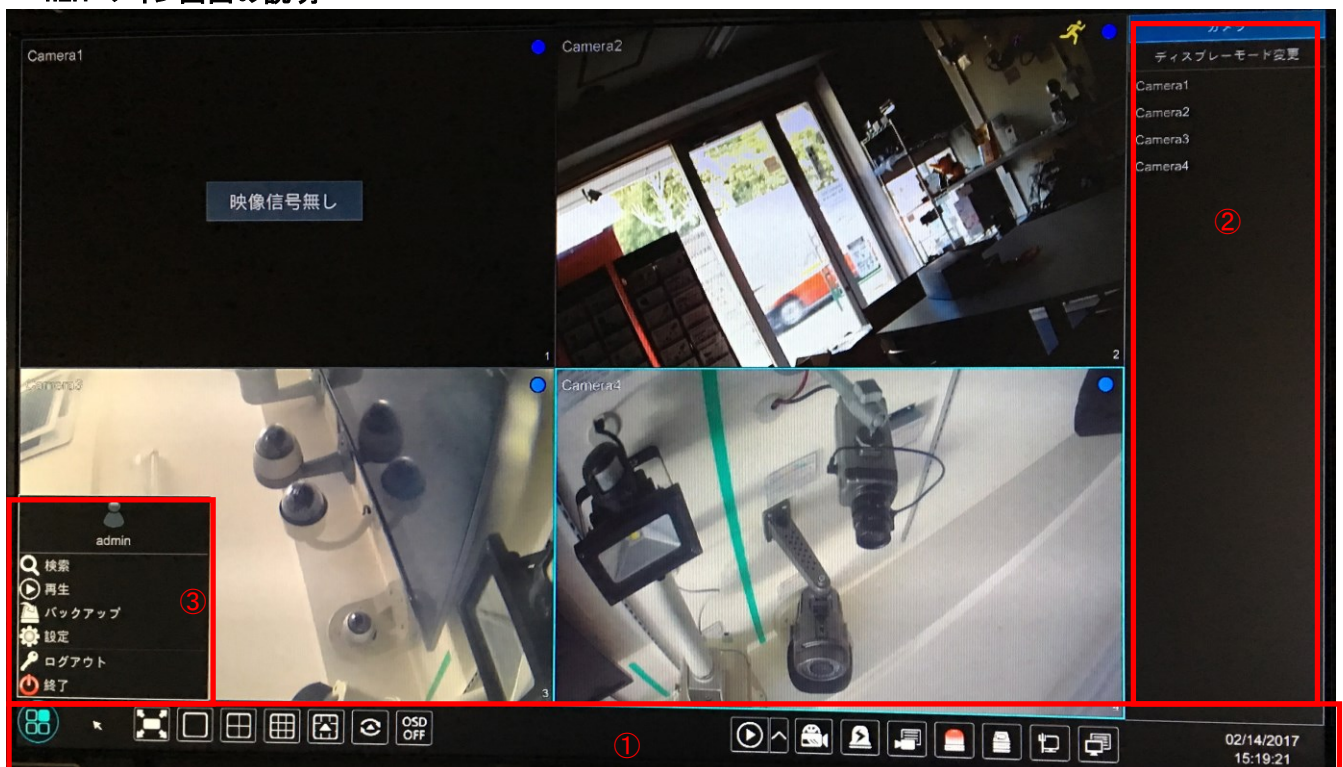
⑦録画設定: 自動と手動の2つのモードが利用できます。

- ・自動: 画面内の1つのモードを選択し、“OK”をクリックして保存します。
- ・手動: “センサー録画”“動体検知録画”“スケジュール録画”からカメラ毎に希望の設定を選択します。  
“OK”をクリックして保存します。
















## 4.2 メイン画面

### 4.2.1 メイン画面の説明



## エリア①アイコン








ボタン	説 明
	スタートボタン。クリックすると、③がポップアップします。
	全画面ボタン。クリックすると全画面になります。再度クリックすると戻ります。
	画面表示モードボタン
	シーケンスボタン
	OSD 有効/無効切替ボタン
	簡単再生ボタン。指定した時間から再生を開始します。
	手動録画ボタン。クリックすると録画開始/終了します。
	手動アラームボタン。クリックするとポップアップウィンドウ内で手動でアラーム出力を起動/削除します。
	録画状態ボタン。録画状態を表示します。
	アラーム状態ボタン。アラーム状態を表示します。
	HDD 状態ボタン。HDD 状態と RAID 状態を表示します。
	ネットワーク状態ボタン。ネットワーク状態を表示します。
	情報ボタン。システム情報を表示します。

## エリア②アイコン:

“カメラ”をクリックすると、カメラリスト内の全追加カメラが表示されます。画面の左側のウィンドウ上で1つのカメラを選択し、リスト内の IP カメラをダブルクリックすると、カメラ画像が選択したウィンドウ内に表示されます。

“ディスプレイモード変更”をクリックすると、ディスプレイモードリスト内の全モードが表示されます。希望のディスプレイモードを選択し、ダブルクリックすると、ディスプレイモードが切り替わります。

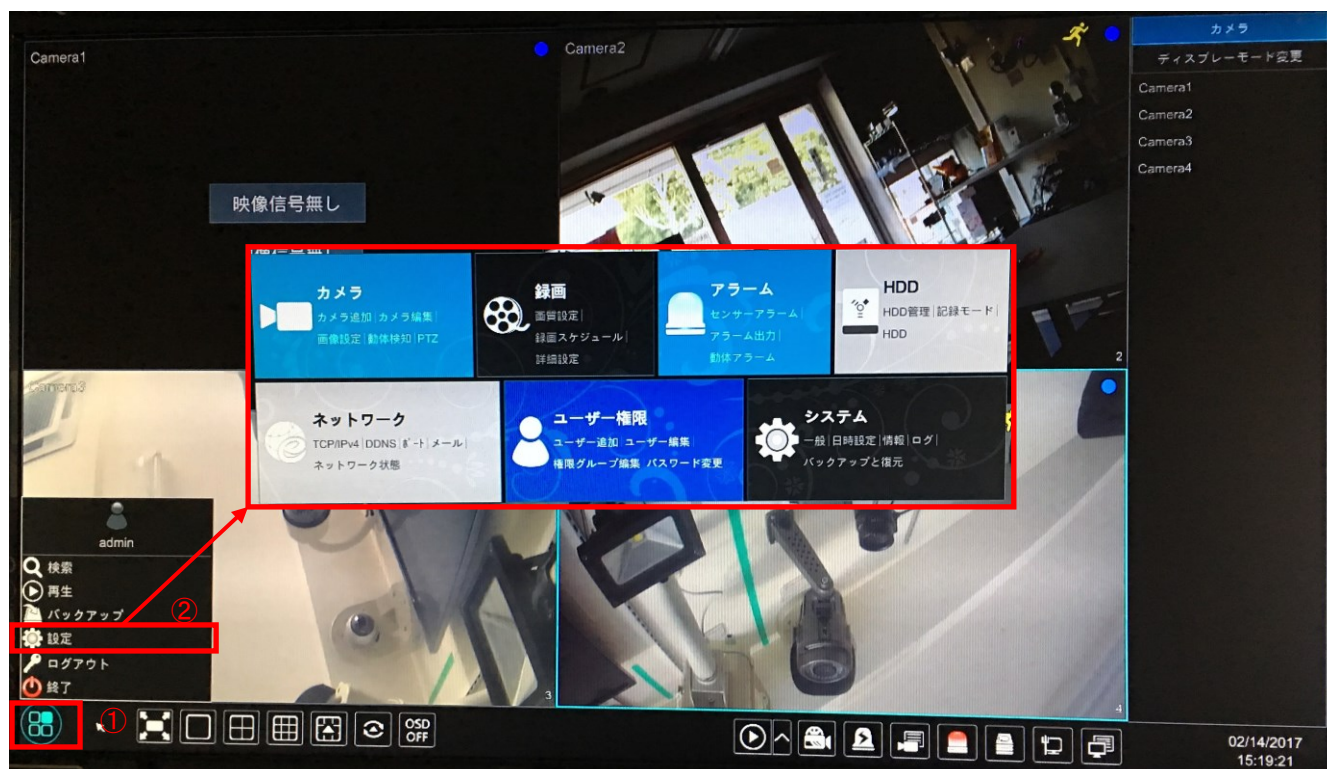
## エリア③アイコン:

アイコン	説 明
 admin	現在のログインユーザーを表示します。
	検索画面に入ります。
	再生画面に入ります。
	バックアップ画面に入ります。
	設定パネルがポップアップします。
	ログアウトします。
	クリックして、“ログアウト”“再起動”“終了”から選択します。

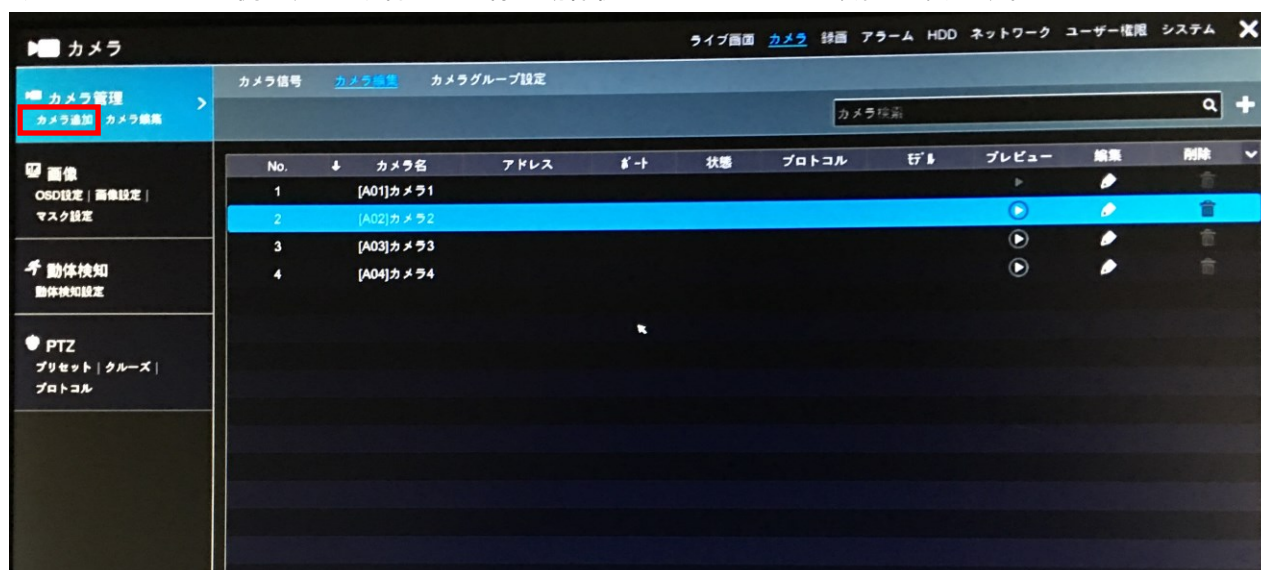


## 4.2.2 設定パネル

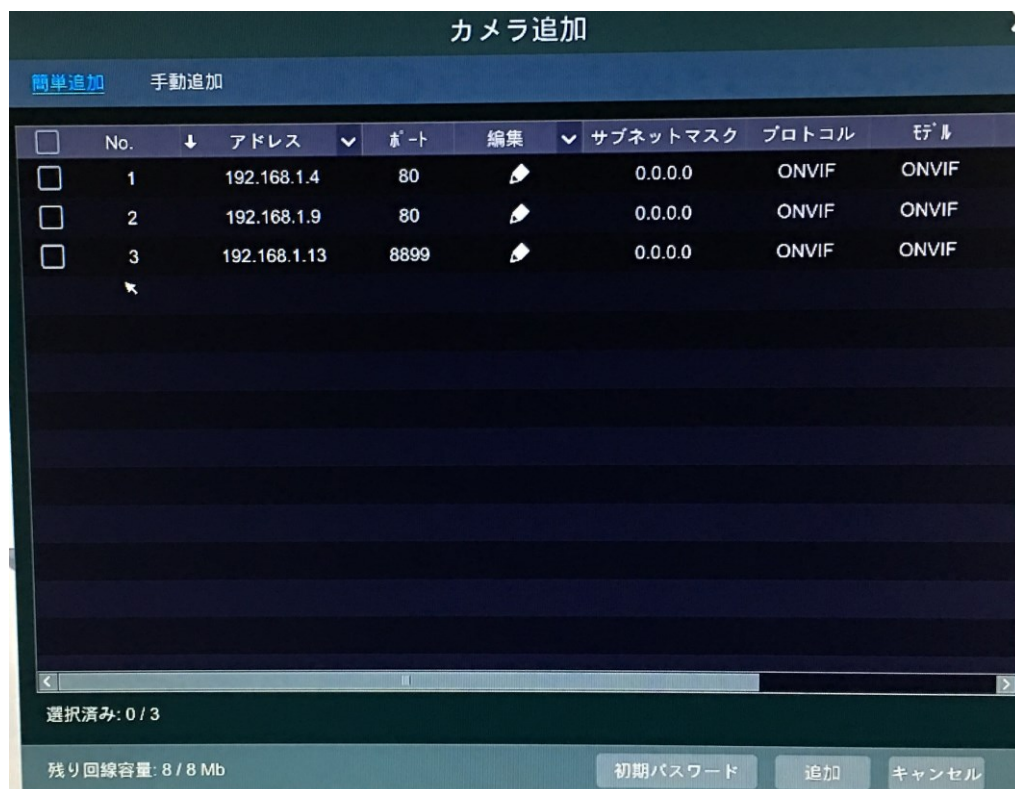
スタート⇒設定をクリックすると、設定パネルがポップアップします。



設定パネルは7つのメニューから構成されています。例として、“カメラ”をクリックすると、カメラメニューに入ります。カメラメニュー内には左側に、“カメラ管理”“画像”“動体検知”“PTZ”の4つの項目があります。



“カメラ追加”をクリックすると、カメラ追加画面に移動します。



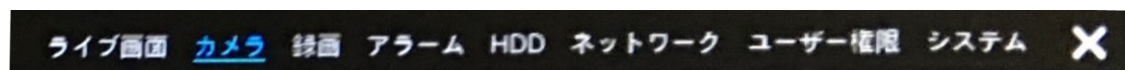
<input type="checkbox"/>	No.	アドレス	ポート	編集	サブネットマスク	プロトコル	モデル
<input type="checkbox"/>	1	192.168.1.4	80		0.0.0.0	ONVIF	ONVIF
<input type="checkbox"/>	2	192.168.1.9	80		0.0.0.0	ONVIF	ONVIF
<input type="checkbox"/>	3	192.168.1.13	8899		0.0.0.0	ONVIF	ONVIF

選択済み: 0 / 3

残り回線容量: 8 / 8 Mb

初期パスワード 追加 キャンセル

画面上部のメインメニューリストをクリックすると、対応するメニュー画面に直接入ることが出来ます。



## 5 章 メインメニュー

### 5.1 カメラ管理

#### 5.1.1 カメラ信号設定

スタート⇒設定⇒カメラ⇒カメラ管理⇒カメラ信号に入ります。

カメラ	<input type="checkbox"/> AHD	<input type="checkbox"/> TVI	<input type="checkbox"/> CVI
[A01]	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
[A02]	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
[A03]	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
[A04]	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

本機に接続したカメラの種類により、該当するタイプを選択してください。

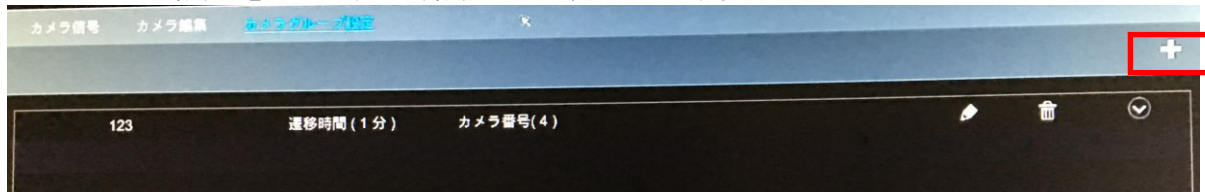
#### 5.1.2 カメラ編集(追加と編集) ※サポート外

ここでは、IP カメラを追加します。IP カメラを追加する場合は、画面に従って設定してください。

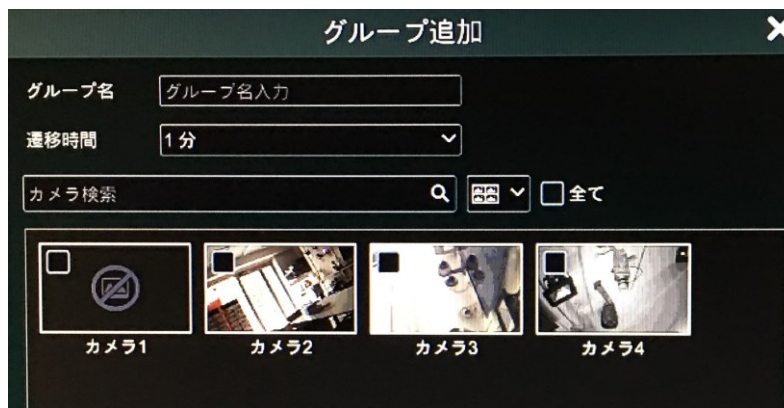
#### 5.1.3 カメラグループ設定

##### 5.1.3.1 カメラグループ追加

“カメラグループ設定”をクリックすると、設定画面が表示されます。

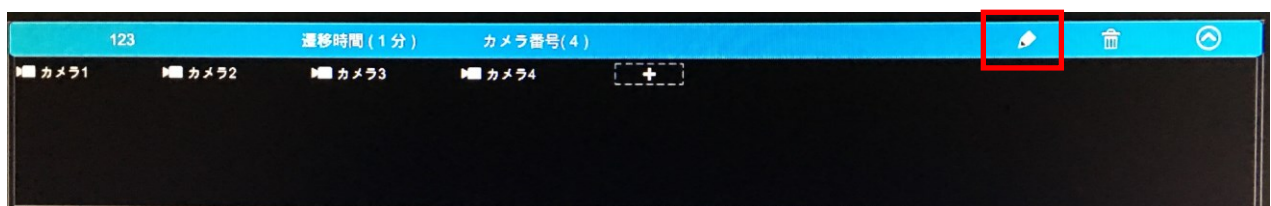




“+”をクリックすると、グループ追加画面がポップアップします。



グループ名と遷移時間及び追加するカメラにチェックを入れ、“追加”ボタンを押します。

##### 5.1.3.2 カメラグループ編集



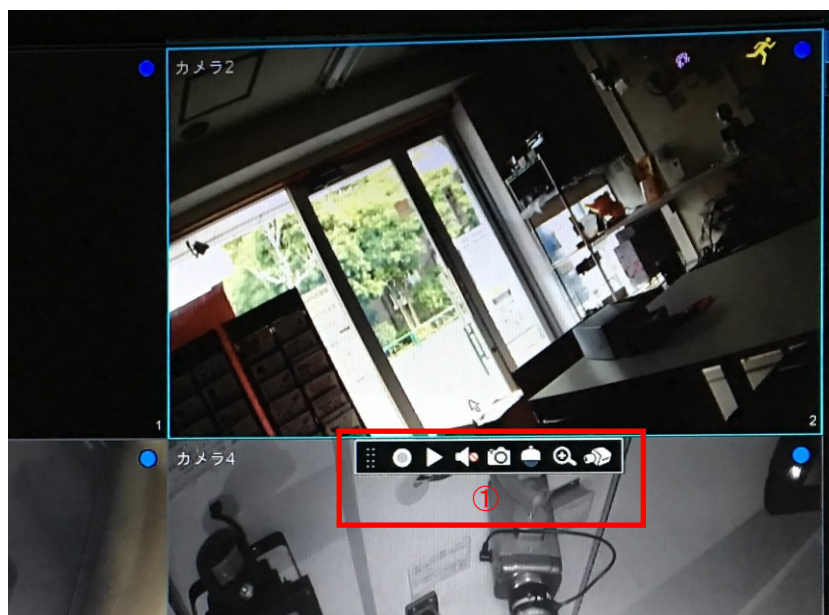
 をクリックすると、グループ設定を編集できます。 をクリックすると、グループを削除します。





## 5.2 ライブ画面

### 5.2.1 ライブ画面説明

カメラを接続すると、自動的に画面に映像が表示されます。カメラをクリックすると、画面下にツールバーが表示されます。



アイコン	説明
	クリックして、ツールバーを移動できます。
	手動録画 ON: 録画を開始します。
	簡易再生画面に入ります。
	音声を有効にします。
	スナップショット: スナップショットウィンドウがポップアップします。“保存”をクリックすると、画像を保存し、“出力”をクリックすると、画像を出力できます。
	PTZ 制御: PTZ 制御画面に移動します。
	ズームイン: 単画像拡大画面に入ります。
	画像調整画面に入ります。

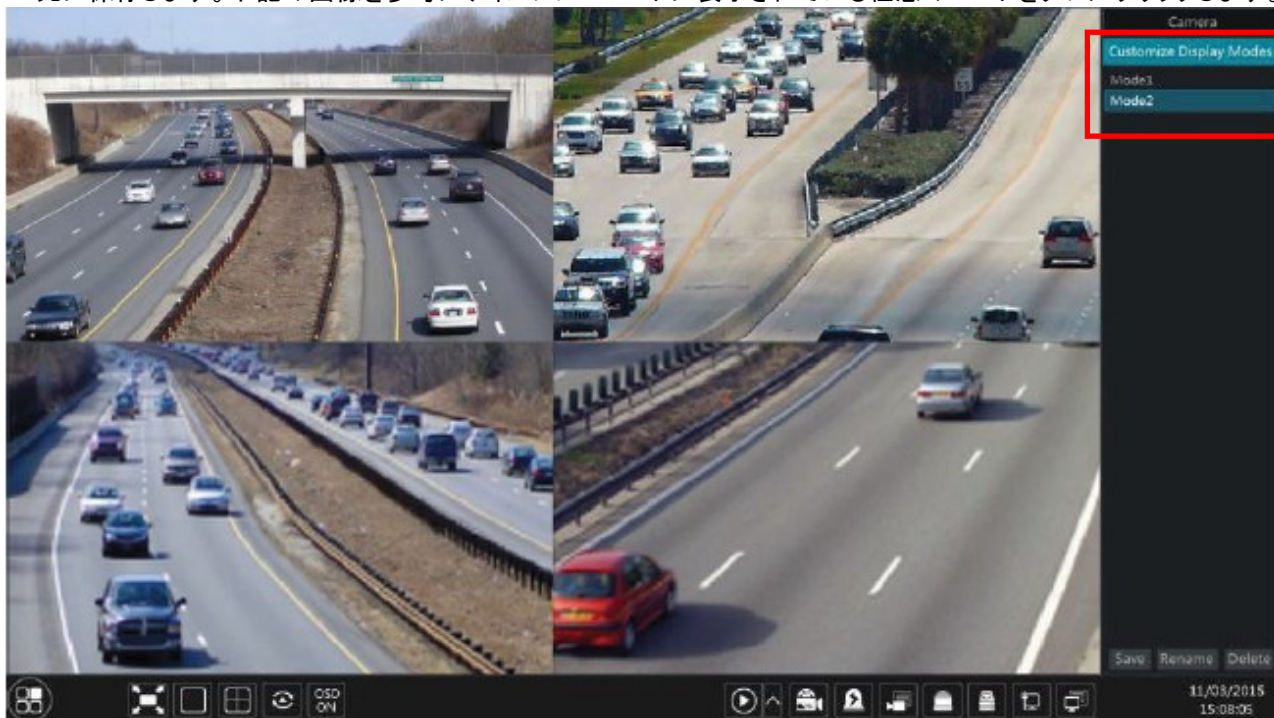
ズーム画面では、青い四角をドラッグすると、そのエリアがズームされます。 /  をクリックすると、ズームを調整できます。



## 5.2.2 ライブモード

### 5.2.2.1 ディスプレーモード

異なる画面モードとカメラのシーケンス表示を設定するには、ディスプレイモードを監視エリアや優先順位を元に保存します。下記の画像を参考にディスプレイモードに表示されている任意のモードをダブルクリックします。



#### ・ディスプレイモードの追加

方法①: “ディスプレイモード変更”をクリックします。

表示したい画面に調整し、“保存”をクリックします。

ポップアップウィンドウ内でディスプレイモードの名前を設定し、“OK”をクリックします。

方法②: “スタート”⇒“設定”⇒“システム”⇒“出力設定”をクリックします。

カメラ又はカメラグループをダブルクリックし、選択したウィンドウ内に表示します。

★をクリックし、設定を保存します。ここで保存したディスプレイ設定は、ライブ画面右側のディスプレイモード内に保存されます。

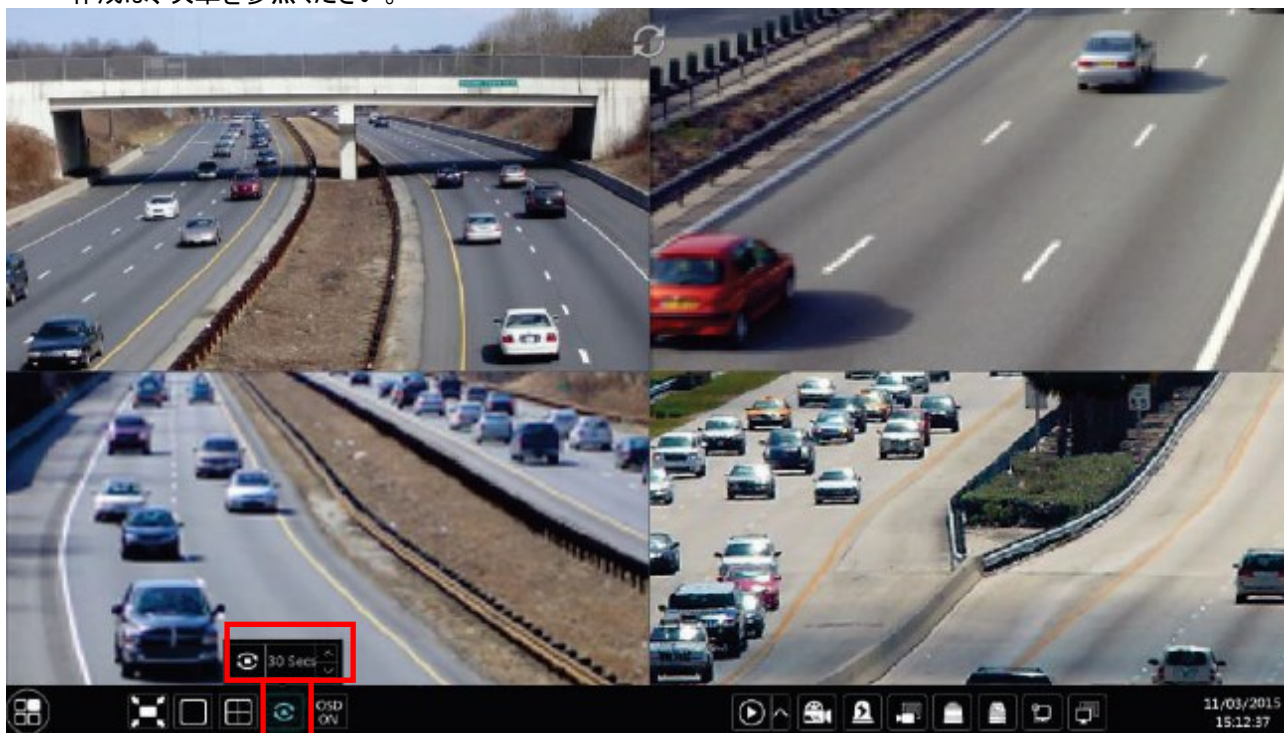
#### ・ディスプレイモードの編集




“ディスプレイモード変更”をクリックし、リスト内の任意のディスプレイモードを選択します。“改名”をクリックすると名称の変更が可能です。“削除”をクリックすると、ディスプレイモードを削除します。



### 5.2.2.2 クイックシーケンスビュー

シーケンス設定がされていなくても、ユーザーは簡単にシーケンスビューを開始できます。シーケンス設定の作成は、次章を参照ください。





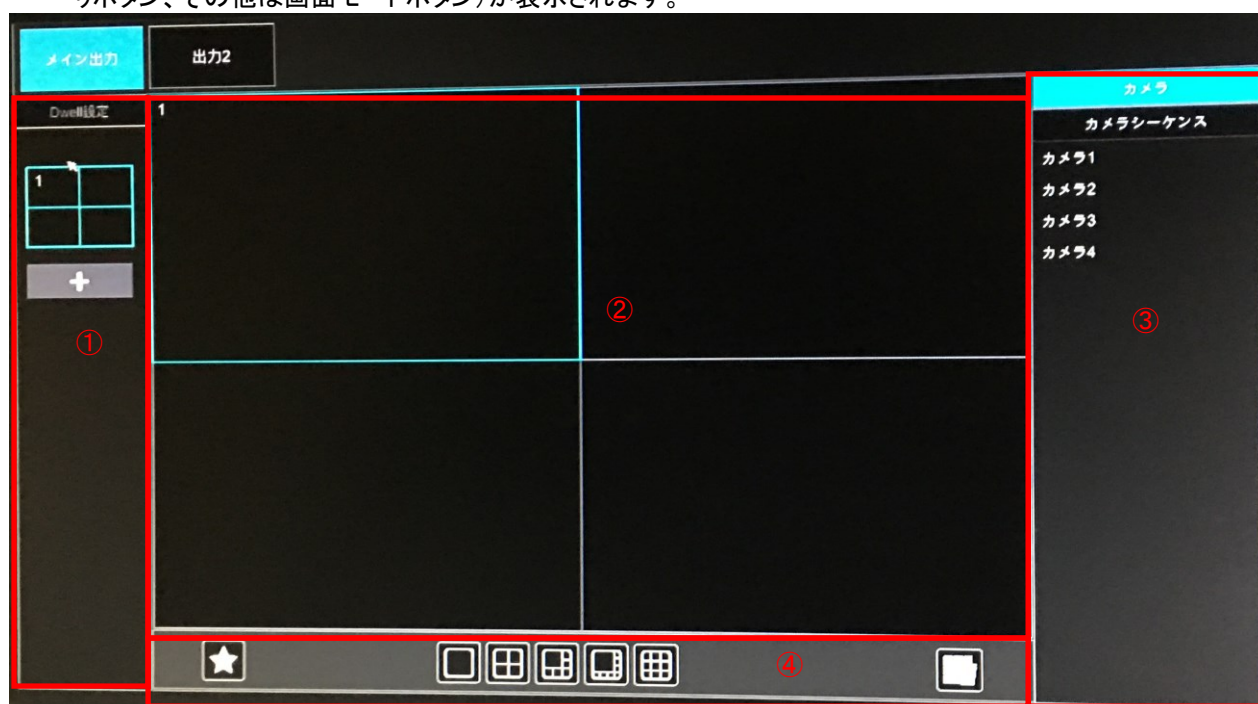
ライブ画面下の  をクリックすると、小さいウィンドウがポップアップします。ウィンドウ内の Dwell(遷移) 時間を選択し、 をクリックすると現在の画面モードのカメラ数に従い、グループごとにライブ画面が表示されます。シーケンス画面内でダブルクリックすると、画面が一時停止します。再度クリックすると戻ります。 をクリックすると、シーケンスが停止します。

### 5.2.2.3 シーケンス設定

“スタート”⇒“設定”⇒“システム”⇒“出力設定”⇒“メイン出力”をクリックし、設定画面に入ります。

エリア①に全シーケンス設定が表示されます。エリア②にシーケンス設定の詳細情報が表示されます。

エリア③に全カメラとカメラグループが表示されます。エリア④にツールバー( 削除ボタン、 お気に入りボタン、その他は画面モードボタン)が表示されます。



#### ・設定の追加

エリア①内の $\oplus$ をクリックし新しい設定を作成します。設定の右上の $\otimes$ をクリックすると、設定を削除します。

#### ・設定の編集

⇒エリア①内の設定を選択し、ツールバーの画面モードボタンをクリックして設定の画面モードを保存します。

⇒エリア②内のカメラウインドウを選択し、エリア③内のカメラ又はカメラグループをダブルクリックします。

選択されたウインドウに選択したカメラ又はカメラウインドウが追加されます。同じ設定内に1つのカメラを繰り返しは出来ません。

⇒エリア②内で右クリックで“削除”をクリックすると単カメラが削除されます。 $\otimes$ をクリックすると、全カメラが削除されます。

⇒“適用”をクリックして設定を保存します。

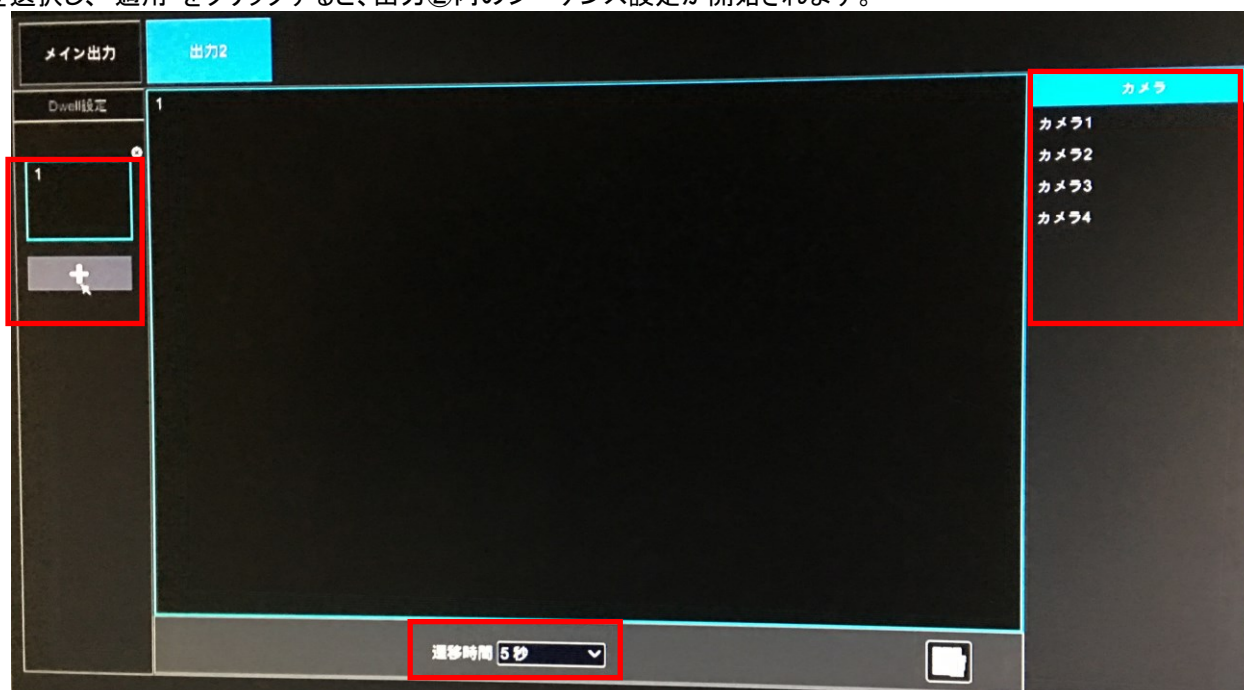
#### ・シーケンスビューの開始

ライブ画面で $\odot$ をクリックするとウインドウがポップアップします。ウインドウ内の遷移時間を選択し、 $\odot$ をクリックすると、シーケンスビューが開始します。シーケンス画面内でダブルクリックすると、画面が一時停止します。再度クリックすると戻ります。 $\odot$ をクリックすると、シーケンスが停止します。

#### 5.2.2.4 スポット設定

“スタート”⇒“設定”⇒“システム”⇒“出力設定”⇒“出力2”をクリックし、設定画面に入ります。

画面左の $\oplus$ をクリックし、新しい設定を作成します。各設定には1つのカメラだけ追加できます。画面左の設定を選択し、ダブルクリック又は右側のカメラを中央のウインドウにドラッグします。全設定を終了したら“遷移時間”を選択し、“適用”をクリックすると、出力②内のシーケンス設定が開始されます。



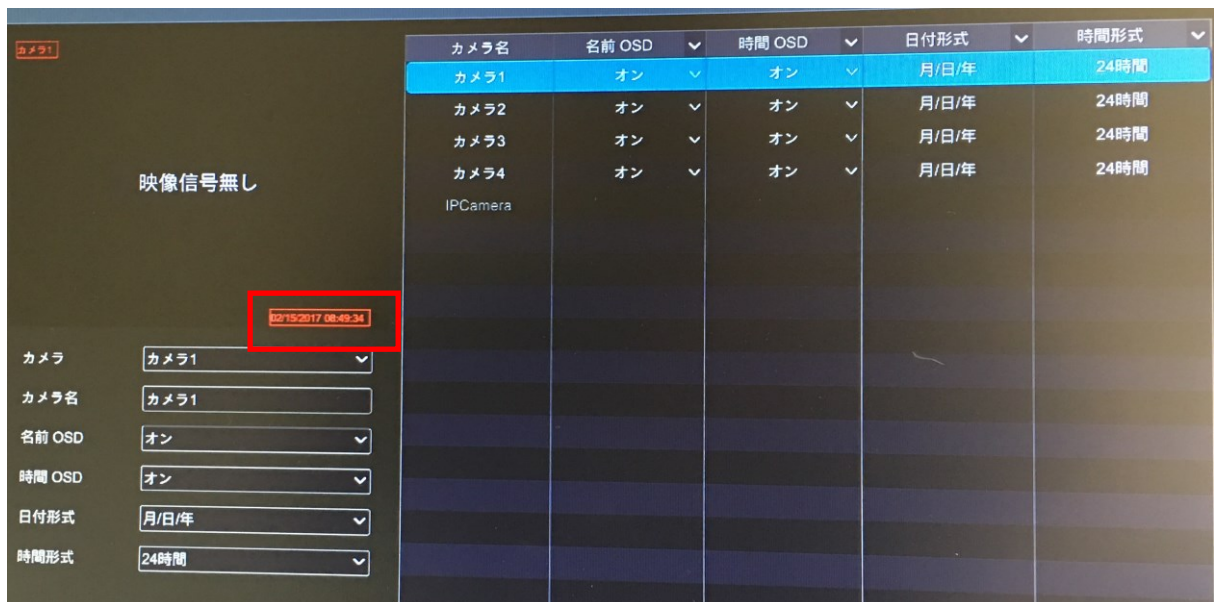
#### 5.2.3 ライブ画面設定

##### 5.2.3.1 OSD 設定

“スタート”⇒“設定”⇒“カメラ”⇒“画像”⇒“OSD 設定”をクリックし、設定画面に入ります。

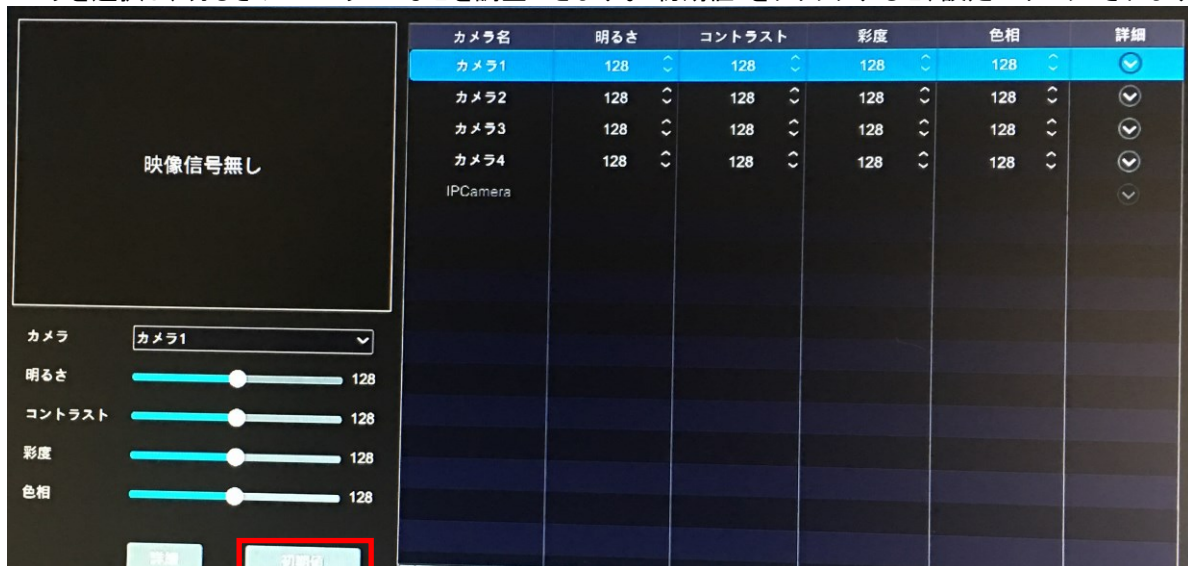
カメラを選択し、カメラ名を入力します。名称や時間の画面表示(OSD) ON/OFF、表示形式を選択します。赤いカメラ名や時間 OSD をドラッグすると表示場所を移動できます。“適用”をクリックすると設定を保存します。





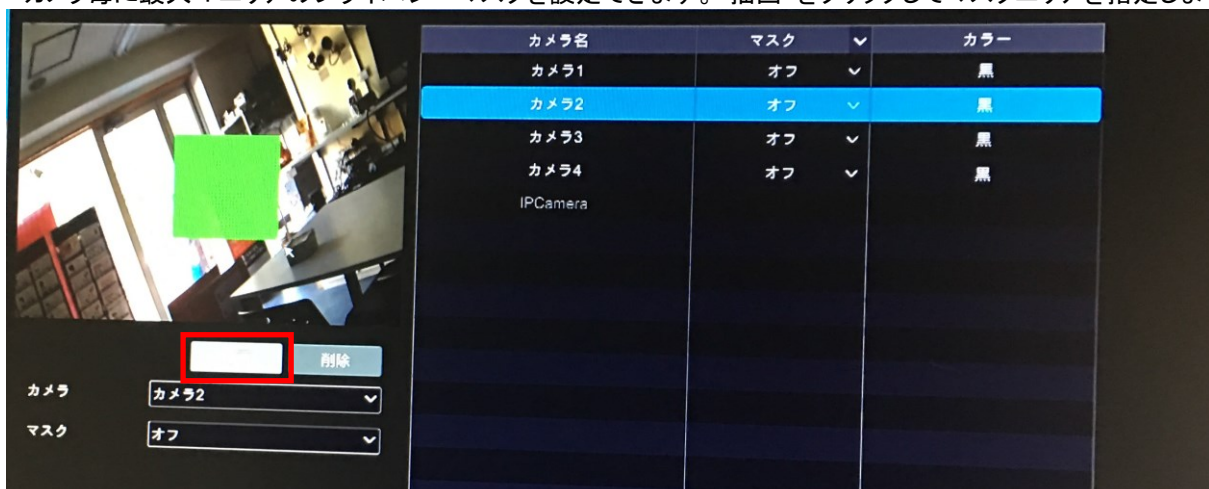
### 5.2.3.2 画像設定

“スタート”⇒“設定”⇒“カメラ”⇒“画像”⇒“画像設定”をクリックし、設定画面に入ります。  
カメラを選択し、明るさやコントラストなどを調整できます。“初期値”をクリックすると、設定がリセットされます。




### 5.2.3.3 マスク設定

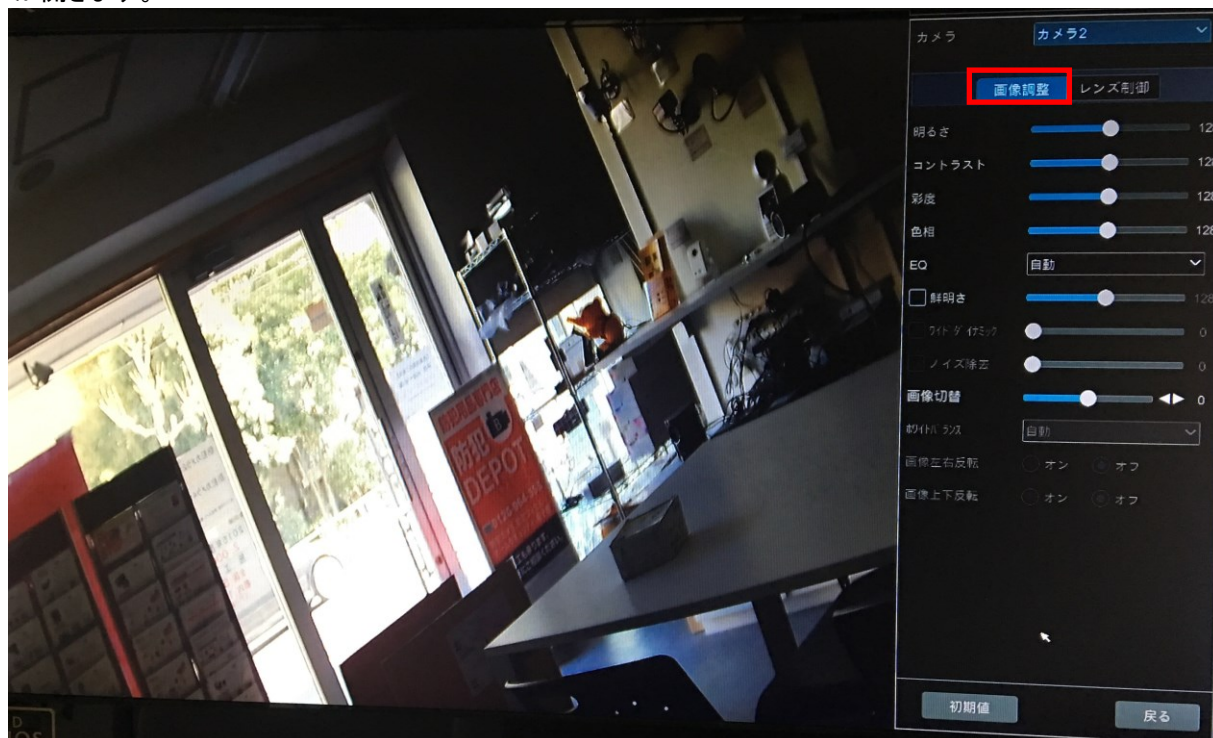
“スタート”⇒“設定”⇒“カメラ”⇒“画像”⇒“マスク設定”をクリックし、設定画面に入ります。  
カメラ毎に最大 4 エリアのプライバシーマスクを設定できます。“描画”をクリックしてマスクエリアを指定します。





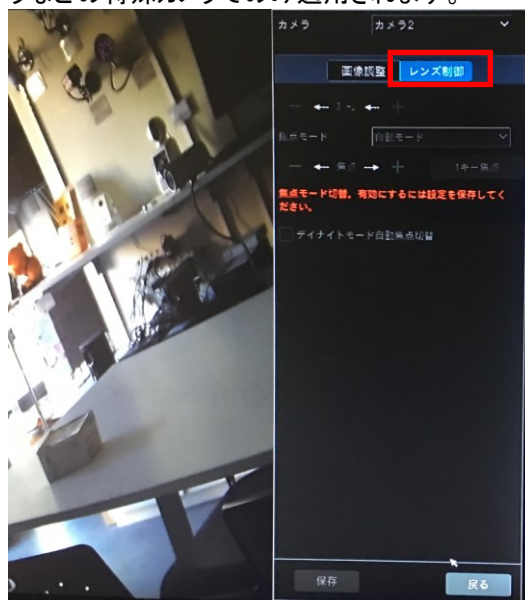
### 5.2.3.4 画像調整

ライブ画面でカメラをクリックし、カメラウインドウ下のツールバーのをクリックすると、画像調整ウインドウが開きます。




カメラを選択し、「画像調整」をクリックすると、画像調整画面に入ります。スライダーをドラッグして、明るさやコントラストなどの設定を調整します。「初期値」をクリックすると、設定がリセットされます。

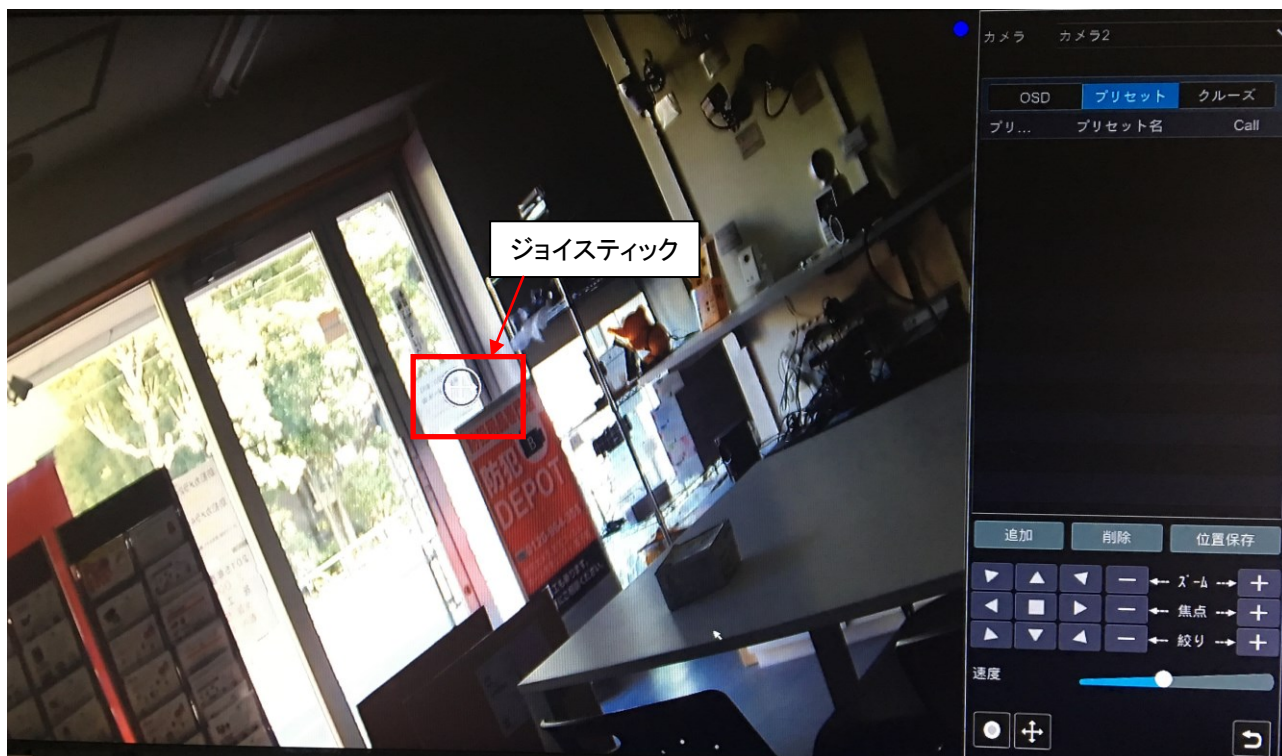
“レンズ制御”タブを選択すると、ズームやフォーカス設定画面が開きます。“保存”をクリックすると、設定が保存されます。※本設定は、PTZ カメラなどの特殊カメラでのみ適用されます。






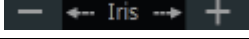






## 5.3 PTZ カメラ

### 5.3.1 PTZ 設定画面

スピードドームカメラなどの PTZ カメラを本機に接続する場合、この PTZ 設定が必要です。  
側の時間アイコンをクリックします。設定メニューが表示されますので、日時やイベントの詳細設定を行います。  
ライブ画面ウィンドウ下のツールバーの  をクリックすると、PTZ 設定画面が開きます。



ボタン	説 明
	 をクリックするとカメラが回転します。  をクリックすると動作を停止します。
	画像のズームイン/ズームアウトを行います。
	画像の焦点長さを増減させます。
	レンズの絞りを増減させます。
	スライダーをドラッグして、カメラの回転速度を調整します。
	録画を開始/停止します。
	ジョイスティックを表示/非表示します。
	ライブ画面に戻ります。

#### ・ジョイスティック操作

ジョイスティックをマウスでドラッグすると、カメラがその方向に回転します。ドラッグを停止すると回転を止めます。

### ・3Dコントロール

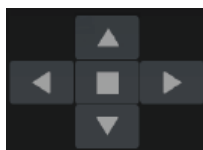
画像内で A から B へドラッグすると、下図のように緑の枠が表示されます。このエリアがズーム表示されます。  
画像内で C から D へドラッグすると、このエリアがズームアウトします。



画像の上の任意の場所でダブルクリックすると、クリックした位置を中心に2倍に拡大します。  
左クリックを長押しすると、画像がズームインし、右クリック長押しでズームアウトします。

### ・OSD 設定

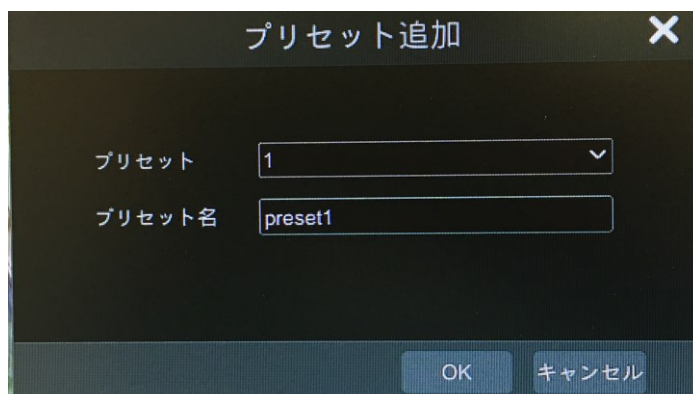
PTZ 設定画面へ入り、“OSD”をクリックすると、OSD 設定画面に入ります。■をクリックすると OSD 設定が始まります。ボタンの意味は下記のようになります。




ボタン	説 明
	OK ボタン。クリックすると OSD を開始します。
	クリックすると、メニューモードの変更又は値を減少します。
	クリックすると、メニューモードの変更又は値を増加します。
	クリックすると、前のメニューに戻ります。
	クリックすると、次のメニューへ移動します。

### ・プリセット設定

“プリセット”をクリックし、“追加”ボタンをクリックすると、下図の様なウインドウがポップアップします。  
プリセットを選択し、プリセット名を入力します。最後に“OK”ボタンをクリックすると設定が保存されます。  
プリセットを最大 255 まで追加できます。

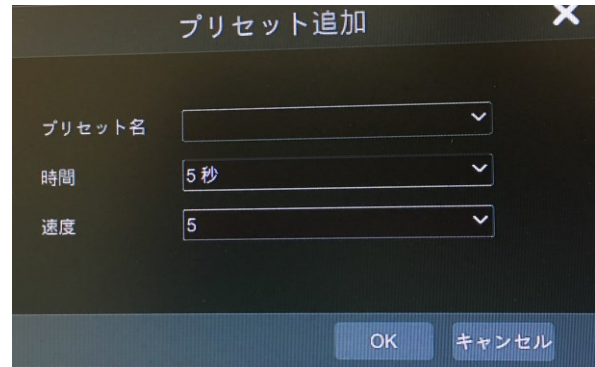
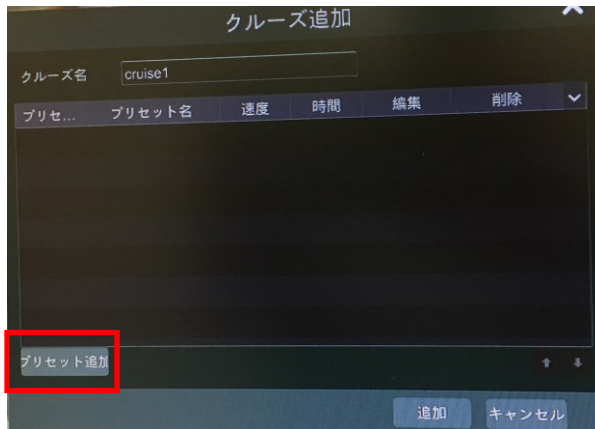








カメラの方向を調整し、“位置保存”ボタンをクリックすると、現在のプリセット位置が保存されます。プリセットリスト内のをクリックすると、プリセットを呼び出します。“削除”をクリックすると選択したプリセットを削除します。

#### ・クルーズ設定

“クルーズ”をクリックし、“追加”をクリックすると、下図のようにクルーズ追加ウィンドウが開きます。クルーズはカメラ毎に最大8追加できます。

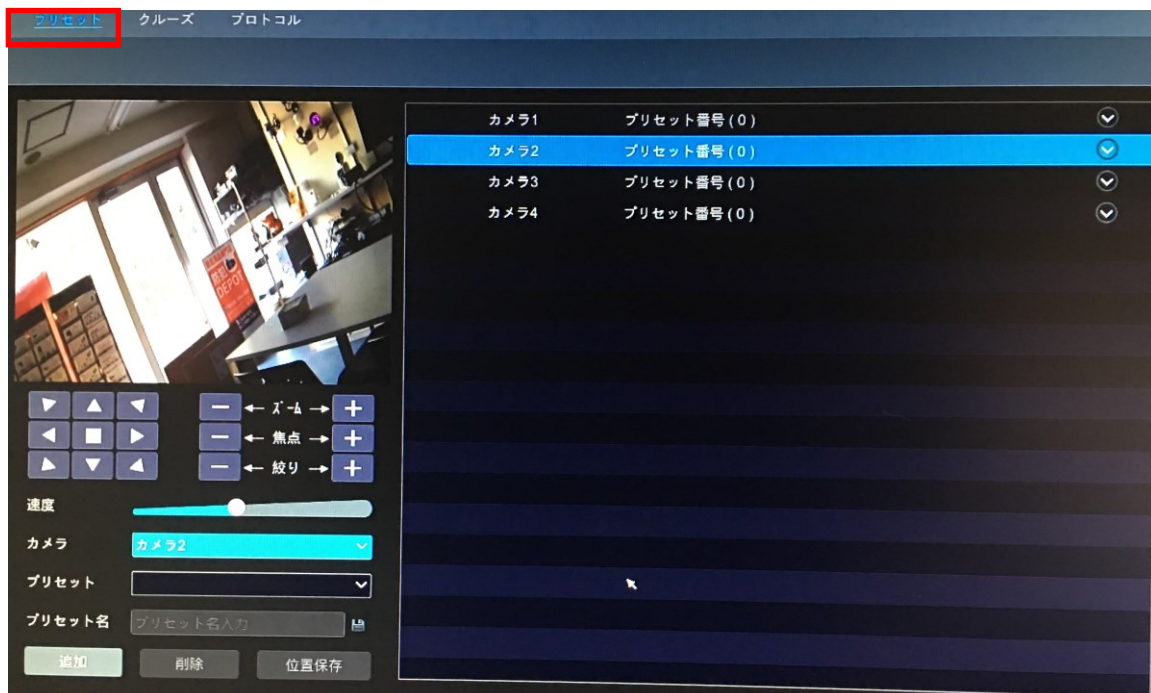


- ①クルーズ追加ウィンドウ内のクルーズ名を入力します。“プリセット追加”をクリックすると、右側のウィンドウがポップアップします。
- ②“プリセット追加”ウィンドウ内でプリセット名を選択し、時間と速度を選択後、“OK”をクリックします。
- ③“クルーズ追加”ウィンドウ内で、をクリックすると、プリセットを再選択し、時間と速度を変更します。  
をクリックすると、プリセットを削除します。“追加”ボタンを押すと、クルーズを保存します。

クルーズリスト内の  をクリックすると、クルーズを開始し、 をクリックすると、クルーズを停止します。“削除”ボタンを押すと、選択したクルーズが削除されます。

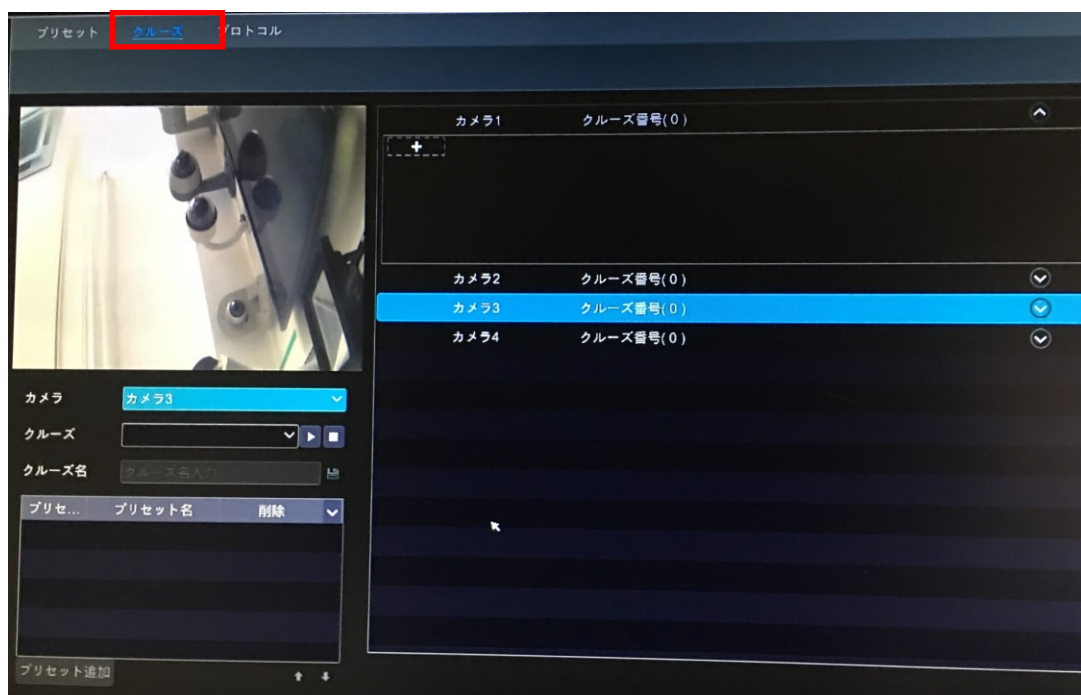
### 5.3.2 プリセット設定

“スタート”⇒“設定”⇒“カメラ”⇒“PTZ”⇒“プリセット”をクリックし、設定画面に入ります。設定方法は、前章を参照ください。



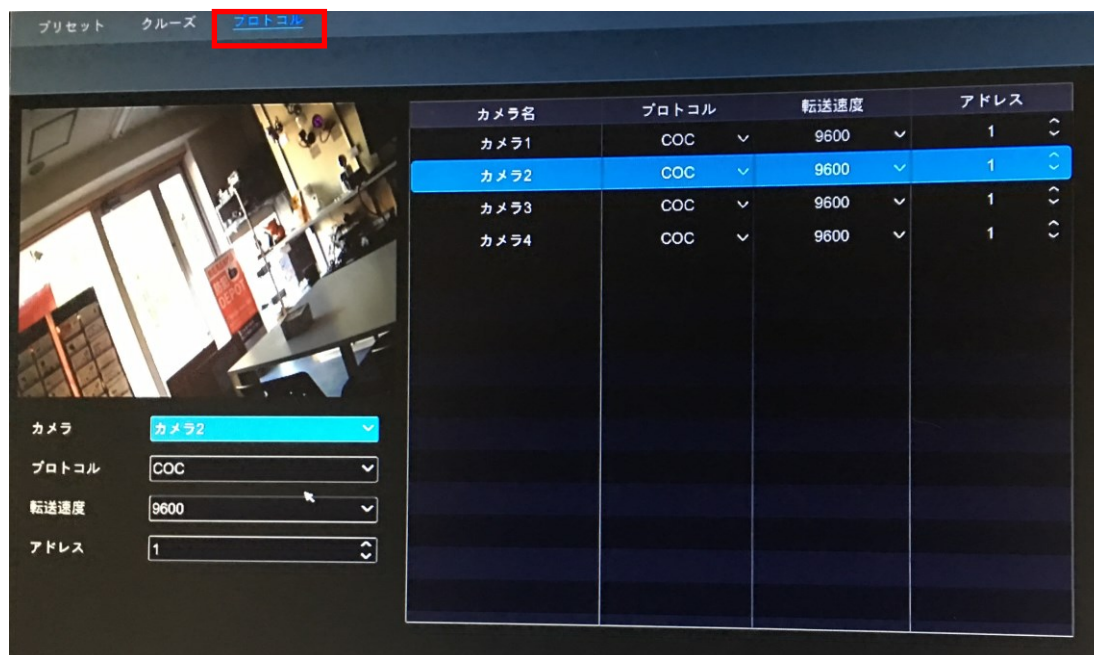
### 5.3.3 クルーズ設定

“スタート”⇒“設定”⇒“カメラ”⇒“PTZ”⇒“クルーズ”をクリックし、設定画面に入ります。  
設定方法は、前章を参照ください。



### 5.3.4 プロトコル設定

“スタート”⇒“設定”⇒“カメラ”⇒“PTZ”⇒“プロトコル”をクリックし、設定画面に入ります。  
ここで PTZ カメラのプロトコル・転送速度・アドレスを選択します。



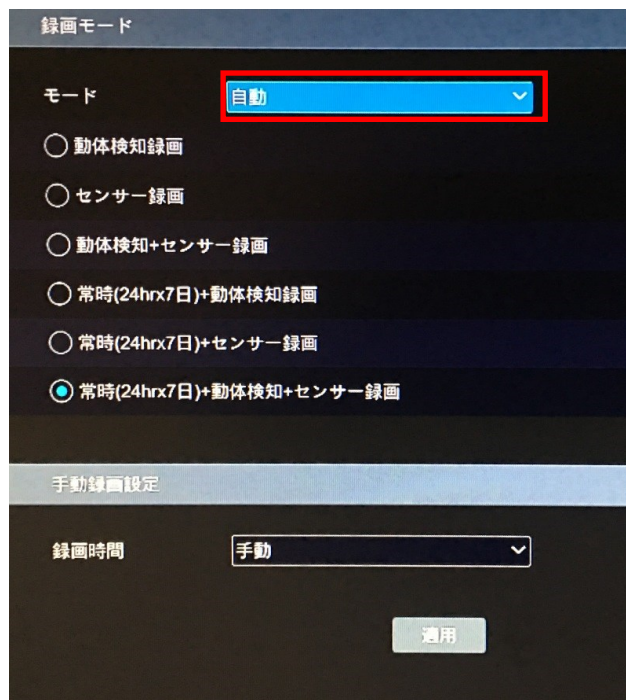
## 5.5 録画とHDD 管理

### 5.5.1 録画設定

#### 5.5.1.1 モード設定

録画開始前に、HDD のフォーマット(後述)を行って下さい。“スタート”⇒“設定”⇒“録画”⇒“モード設定”をクリックし、設定画面に入ります。

録画時間を下部の“手動録画設定”で選択し、“適用”をクリックして設定を保存します。録画モードには“自動”と“手動”があります。



#### 《自動モード》

- ・動体検知録画: 動体検知時に録画を開始します。
- ・センサー録画: センサーが検知したときに録画を開始します。
- ・動体検知+センサー録画: 動体検知/センサーが検知したときに録画を開始します。
- ・常時+動体検知録画: 常時録画しながら、動体検知時にも録画します。
- ・常時+センサー録画: 常時録画しながら、センサー検知時にも録画します。
- ・常時+動体検知+センサー録画: 常時録画しながら、動体検知/センサー検知時にも録画します。

1つのモードを選択すると、関連するウィンドウがポップアップします。エンコードや解像度、FPSなどを設定し、“OK”をクリックすると設定を保存します。

常時(24hrx7日)+動体検知+センサー録画											
止帯						動体検知+センサー録画					
カメラ名	ストリームタイプ	エンコード	解像度	FPS	画質	音声	解像度	FPS	画質	音声	
カメラ1	主ストリーム	H.264	704x480	30	768Kbps	オン	704x480	30	768Kbps	オン	
カメラ2	主ストリーム	H.264	1920x1080	30	5120Kbps	オン	1920x1080	30	5120Kbps	オン	
カメラ3	主ストリーム	H.264	1920x1080	30	5120Kbps	オン	1920x1080	30	5120Kbps	オン	
カメラ4	主ストリーム	H.264	1920x1080	30	5120Kbps	オン	1920x1080	30	5120Kbps	オン	
IPCcamera	主ストリーム										

- ・エンコード: カメラのエンコードフォーマットです。
- ・解像度: 解像度が高いとクリアな映像が表示されます。
- ・FPS: 数値が大きいとより滑らかな映像が表示されます。
- ・ビットレート: 数値が大きいとより高画質な映像が表示されます。

#### 《手動モード》

手動モードを選択すると、ユーザーはエンコードパラメータや録画スケジュールをカメラ毎に設定が必要です。



### 5.5.1.2 詳細録画設定

“スタート”⇒“設定”⇒“録画”⇒“詳細録画設定”をクリックし、設定画面に入ります。“上書き録画”を有効/無効に設定します。検知前/検知後録画等を設定し、“適用”をクリックして保存します。

カメラ名	検知前録画時間	検知後録画時間	有効時間
カメラ1	5 秒	10 秒	期限無し
カメラ2	5 秒	10 秒	期限無し
カメラ3	5 秒	10 秒	期限無し
カメラ4	5 秒	10 秒	期限無し
IPCamera	5 秒	10 秒	期限無し

- ・検知前録画時間: センサー/動体検知開始前の録画時間を設定します。
- ・検知後録画時間: センサー/動体検知開始後の録画時間を設定します。
- ・有効時間: 録画したデータの有効時間を設定します。期限が過ぎると自動的に録画データを削除します。

### 5.5.2 画質設定

“スタート”⇒“設定”⇒“録画”⇒“画質設定”をクリックし、設定画面に入ります。“イベント録画設定”と“スケジュール録画設定”内で、エンコードや解像度、FPSなどを設定します。“適用”をクリックすると、設定を保存します。

カメラ名	ストリータイプ	エンコード	解像度	FPS	画質	音声
カメラ1	主ストリーム	H.264	704x480	30	768Kbps	オン
カメラ2	主ストリーム	H.264	1920x1080	30	5120Kbps	オン
カメラ3	主ストリーム	H.264	1920x1080	30	5120Kbps	オン
カメラ4	主ストリーム	H.264	1920x1080	30	5120Kbps	オン
IPCamera	主ストリーム					

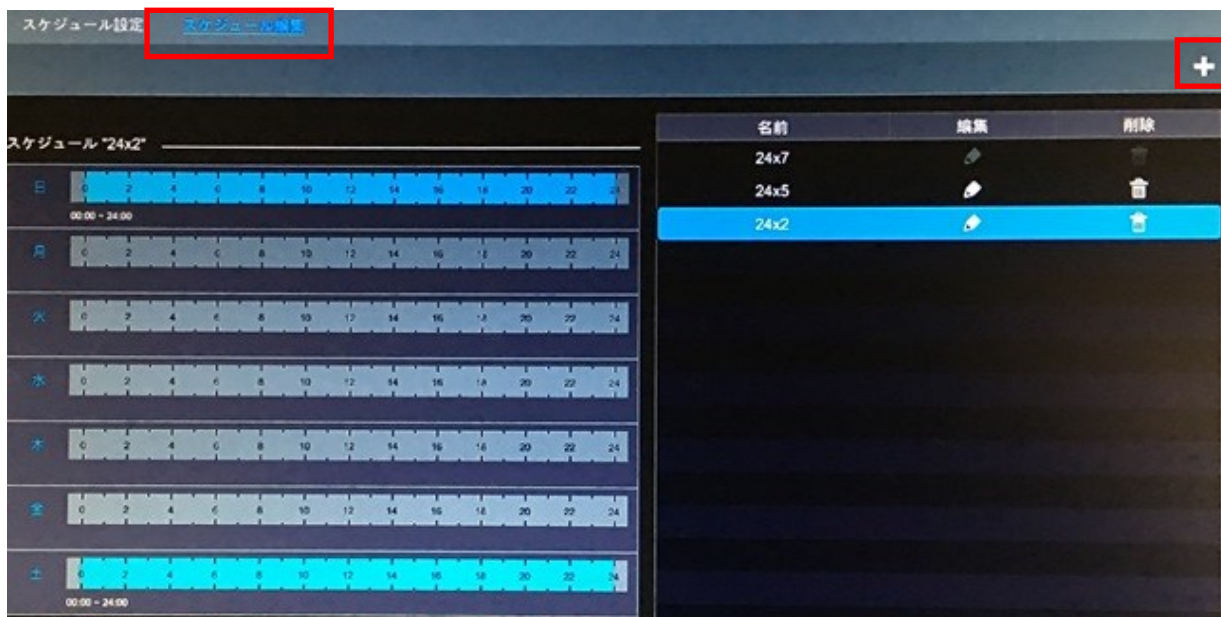
“スタート”⇒“設定”⇒“録画”⇒“ストリーム設定”⇒“副ストリーム設定”をクリックし、設定画面に入ります。ここではサブストリームの画質等を設定します。“適用”をクリックすると、設定を保存します。


カメラ名	ストリータイプ	エンコード	解像度	FPS	画質
カメラ1	副ストリーム	H.264	704x480	30	768Kbps
カメラ2	副ストリーム	H.264	1920x1080	30	1024Kbps
カメラ3	副ストリーム	H.264	1920x1080	30	1024Kbps
カメラ4	副ストリーム	H.264	1920x1080	30	1024Kbps
IPCamera	副ストリーム				

### 5.5.3 スケジュール設定

#### 5.5.3.1 スケジュール追加

“スタート”⇒“設定”⇒“録画”⇒“録画スケジュール”⇒“スケジュール編集”をクリックし、設定画面に入ります。  
 “24x7”“24x5”“24x2”が初期スケジュールとして登録されています。“24x7”は編集も削除も出来ませんが、“24x5”と“24x2”は編集や削除が出来ます。名前をクリックし、詳細スケジュール情報を画面の左側に表示します。  
 青いラインが選択された時間帯を表し、グレーのエリアは非選択の時間帯を表します。



 をクリックして新しいスケジュールを追加します。



スケジュール名とスケジュール時間を設定し、“追加”をクリックすると設定が保存されます。





: 追加ボタン



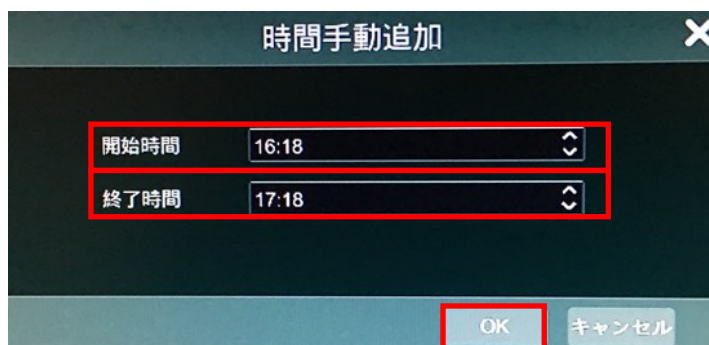
: 削除ボタン



## ・日スケジュール設定

をクリックし、タイムスケール上でカーソルをドラッグすると、録画時間を設定されます。をクリックしてカーソルをドラッグすると、選択したエリアが削除されます。

ユーザーは手動で録画開始時間と終了時間を設定できます。各曜日の“手動”をクリックすると、ウィンドウがポップアップし、録画開始時間と終了時間を設定します。“OK”をクリックすると保存されます。



時間手動追加

開始時間 16:18

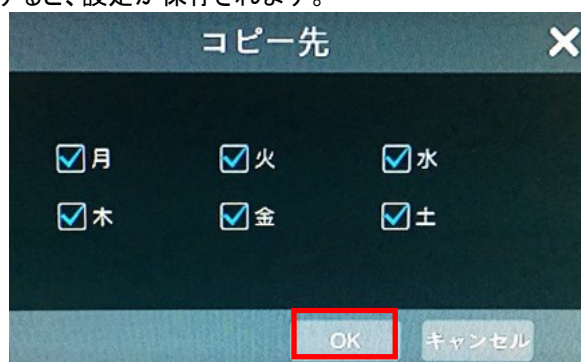
終了時間 17:18

OK キャンセル

“全て”をクリックすると、終日録画を設定します。“反転”をクリックすると、選択が非選択に反転します。

“全消去”をクリックすると選択されたエリアが消去されます。

“コピー先”をクリックすると、設定した内容を他の曜日にコピーが可能です。コピー先の曜日にチェックを入れ“OK”をクリックすると、設定が保存されます。




コピー先

☒ 月 ☒ 火 ☒ 水

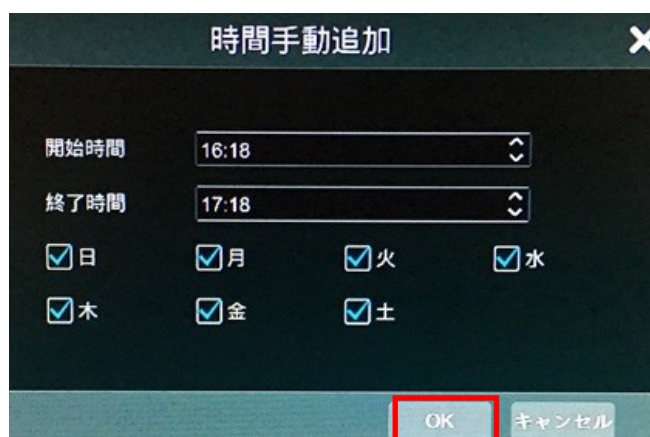
☒ 木 ☒ 金 ☒ 土

OK キャンセル

## ・曜日スケジュール設定

の横の“手動”をクリックすると、曜日スケジュールを設定します。開始時間と終了時間及び適用する曜日を設定し、“OK”をクリックすると設定を保存します。“全て”をクリックすると、終日録画を設定します。“反転”をクリックすると、選択が非選択に反転します。

“全消去”をクリックすると選択されたエリアが消去されます。



時間手動追加

開始時間 16:18

終了時間 17:18

☒ 日 ☒ 月 ☒ 火 ☒ 水



☒ 木 ☒ 金 ☒ 土

OK キャンセル

### 5.5.3.2 スケジュール設定

“スタート”⇒“設定”⇒“録画”⇒“録画スケジュール”⇒“スケジュール設定”をクリックし、設定画面に入ります。  
“センサー録画”“動体検知”“常時録画”のスケジュールを設定します。ドロップダウンメニューで“<無し>”を選択すると、スケジュールが消去されます。“適用”をクリックして設定を保存します。


スケジュール設定		スケジュール編集		
カメラ名	センサー録画スケジュール	動体検知録画スケジュール	録画スケジュール時間	
カメラ1	<無し>	<無し>	24x7	
カメラ2	<無し>	<無し>	24x7	
カメラ3	<無し>	<無し>	24x7	
カメラ4	<無し>	<無し>	24x7	
IPCamera	<無し>	<無し>	<無し>	

“スケジュール編集”へ入り、をクリックしてスケジュールを編集します。をクリックして削除します。

## 5.5.4 録画モード

### 5.5.4.1 手動録画 ※録画モードが手動の場合

方法①: ライブ画面上で下のツールバーをクリックすると手動録画が有効になります。

方法②: ライブ画面のカメラウインドウ内で右クリックし、“手動録画 ON”をクリックするか、各カメラウインドウ下のツールバーをクリックすると録画を開始します。

### 5.5.4.2 スケジュール録画

設定したスケジュールに従い録画を行います。詳細は前章を参照ください。

### 5.5.4.3 動体検知録画



設定したスケジュールに基づき、動体検知録画を行います。詳細は前章を参照ください。動体検知エリアや感度の設定は、後述いたします。

### 5.5.4.4 センサー録画

設定したスケジュールに基づき、センサー検知録画を行います。詳細は前章を参照ください。センサーの設定等は、後述いたします。

## 5.5.5 HDD 管理

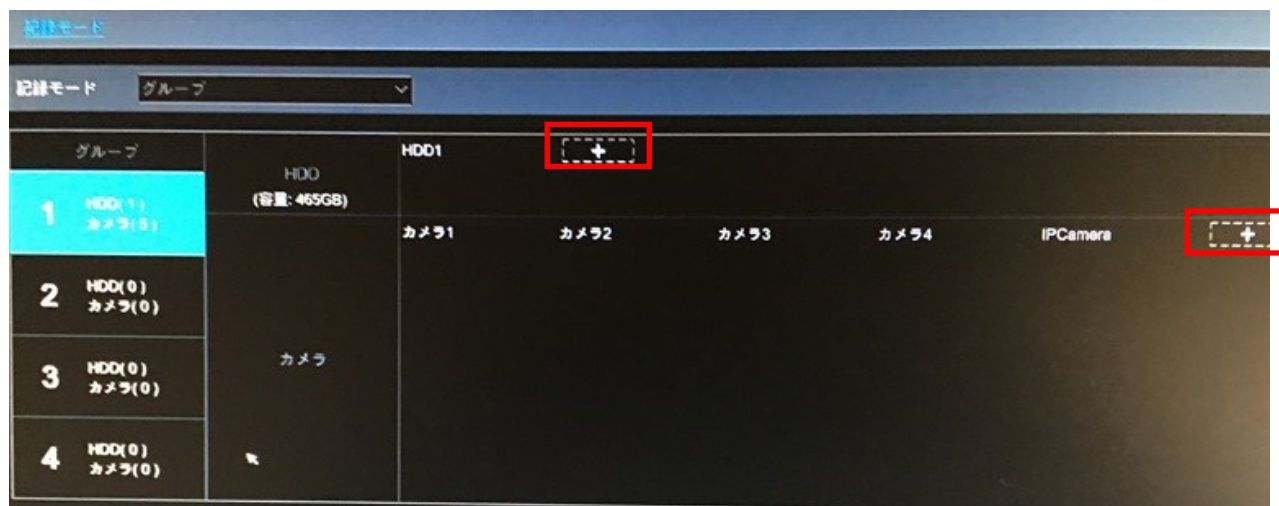
“スタート”⇒“設定”⇒“HDD”⇒“HDD 管理”をクリックし、設定画面に入ります。ここではHDD 型番やディスク状態などを確認できます。“初期化”ボタンをクリックすると、HDD のフォーマットを行います。

HDD	容量[GB]	空き容量[GB]	シリアルNo.	HDDモデル	状態	録画期間	操作
HDD1	465	0	Z3T07L62	ST500DM002-1B0142	 RW	02/13/2017~02/15/2017	

※新しいHDDを使用するには、フォーマットが必要です。


### 5.5.5.1 記録モード設定

“スタート”⇒“設定”⇒“HDD”⇒“記録モード”をクリックし、設定画面に入ります。




ここには4つの HDD グループがあります。このグループを使用することによって、カメラを HDD に対応させることが出来ます。(グループ内のカメラの録画データは同じグループの HDD に保存されます。)

追加された HDD とカメラは自動的に一つのグループに追加されます。グループ内の HDD とカメラは1つの

グループを除いて削除することが出来ます。(HDD グループを選択し、をクリックすると、削除されます。

削除された HDD とカメラは自動的に一つのグループ内に統合されます。

各グループは他のグループからカメラと HDD を追加できます。各 HDD とカメラは1つのグループ内のみ

追加できます。HDD グループを選択して HDD 内又はカメラ内の  をクリックすると、ウインドウがポップアップします。ウインドウ内の HDD 又はカメラをチェックし、“追加”をクリックします。

### 5.5.5.2 S.M.A.R.T.情報

“スタート”⇒“設定”⇒“HDD”⇒“S.M.A.R.T.情報”をクリックすると、HDD 情報を閲覧できます。

HDD						
S.M.A.R.T.情報						
HDD	HDD1					
シリアルNo.	Z3T07L62					
HDDモデル	ST500DM002-1BD142					
温度	44					
パワーオン時間(日)	1382					
S.M.A.R.T.状態	正常					
ID	属性	値	最悪値	しきい値	生データ	状態
0x01	Read Error Rate	106	99	6	11167400	正常
0x03	Spin-Up Time	100	100	0	0	正常
0x04	Start/Stop Count	100	100	20	24	正常
0x05	Reallocated Sector Count	100	100	36	0	正常
0x07	Seek Error Rate	82	60	30	181409377	正常
0x09	Power-On Hours	63	63	0	33168	正常
0x0a	Spin Retry Count	100	100	97	0	正常
0x0c	Power Cycle Count	100	100	20	24	正常
0xb7	SATA Downshift Error Count	100	100	0	0	正常
0xb8	End-to-End error	100	100	99	0	正常
0xbb	Reported Uncorrectable Errors	100	100	0	0	正常
0xbc	Command Timeout	100	100	0	0	正常
0xbd	High Fly Writes	100	100	0	0	正常

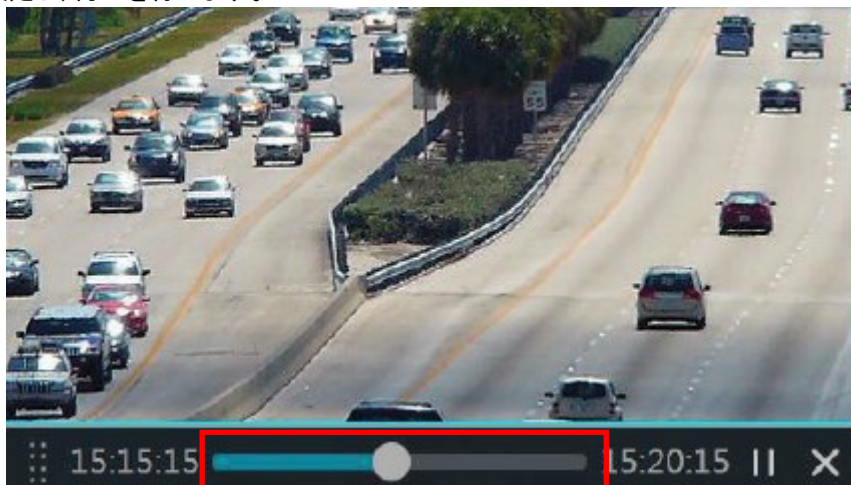


## 6 章 検索・再生とバックアップ

### 6.1 即時再生

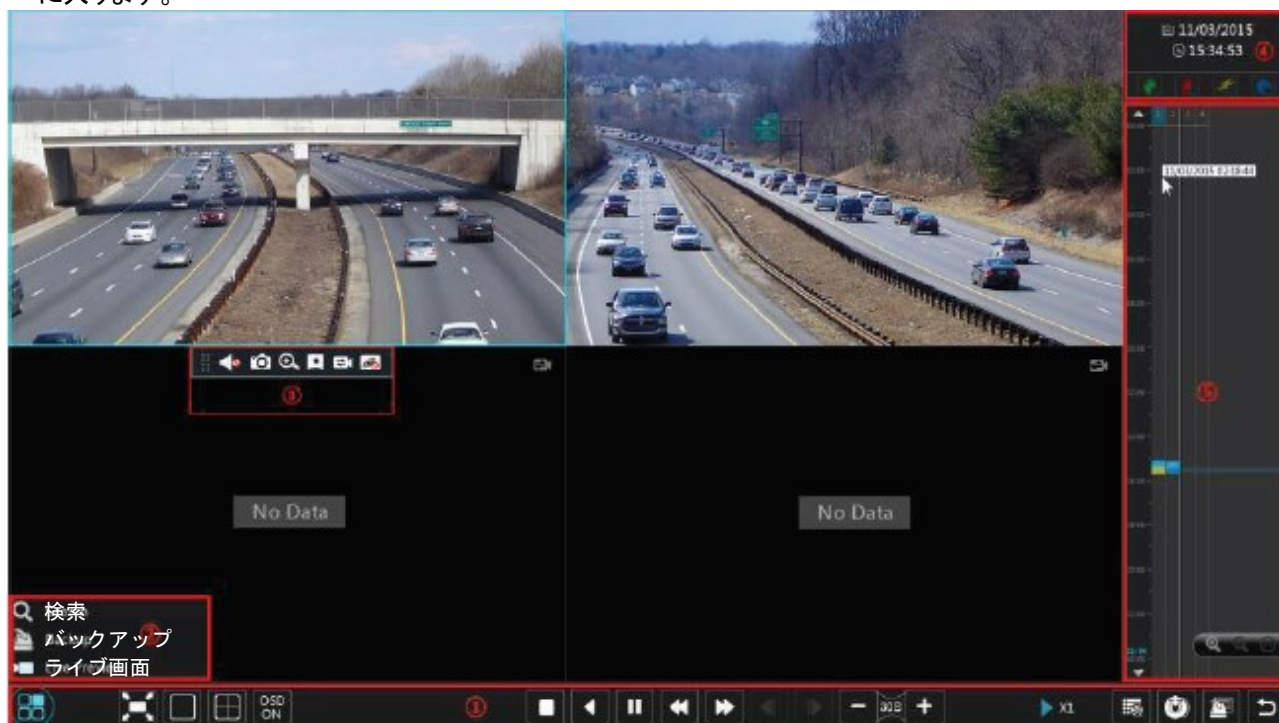
ライブ画面の下のツールバー上の▶アイコンをクリックすると、再生を開始します。（ライブ画面ツールバー上の⏮️をクリックして再生時間を設定します。）

再生バーをドラッグすると、再生時間を変更できます。カメラウインドウ内で右クリックし、“即時再生”をクリックすると、再生時間を設定し、再生を行います。



### 6.2 再生画面

ライブ画面の下のツールバー上の▶アイコンをクリックするか、“スタート”⇒“再生”をクリックすると、再生画面に入ります。



追加されたカメラは、自動的に再生画面内で再生します。手動で再生するカメラを追加することも出来ます。再生ウインドウ内で⊕をクリックすると、“カメラ追加”ウインドウがポップアップします。ウインドウ内のカメラをチェックし、“追加”をクリックすると再生カメラを追加します。

エリア①のツールバーのボタンについて、以下に説明します。

ボタン	説 明
	スタートボタン。クリックするとエリア②がポップアップします。
	全画面ボタン。クリックすると全画面表示します。もう一度クリックすると戻ります。
	画面表示切替ボタン
	OSD オンボタン。クリックすると画面表示が ON になります。 をクリックすると非表示。
	停止ボタン。
	逆再生ボタン。クリックすると逆再生します。
	再生ボタン。クリックすると再生します。
	一時停止ボタン。
	減速ボタン。再生速度を遅くします。
	加速ボタン。再生速度を早くします。
	前フレームボタン。単画面モードで一時停止中に使用できます。
	次フレームボタン。単画面モードで一時停止中に使用できます。
	をクリックすると、30 秒戻ります。 をクリックすると、30 秒進みます。
	イベントリスト/タグボタン。クリックすると、手動/スケジュール/動体検知/センサーのイベント録画とタグ情報を見ることが出来ます。
	バックアップボタン。タイムスケール上でマウスをドラッグすると、時間帯とカメラを選択し、このボタンをクリックするとバックアップを行います。
	バックアップ状態ボタン。クリックするとバックアップ状態が表示されます。
	戻るボタン。クリックするとライブ画面に戻ります。

エリア②のツールバーのボタンについて、以下に説明します。

ボタン	説 明
検索	クリックすると検索画面に入ります。(次章で後述)
バックアップ	クリックするとバックアップ画面に入ります。(6.4 章で後述)
ライブ画面	クリックするとライブ画面に戻ります。






再生画面上でクリックすると、エリア③のツールバーが表示されます。ウインドウ上で右クリックするとメニューリストが表示されます。

ボタン	メニューリスト	説 明
		クリックすると、ツールバーを移動できます。
	音声有効	クリックすると、音声が無効になります。
	静止画撮影	クリックすると、静止画を撮影します。
	ズームイン	クリックするとズームイン画面に入ります。ズームイン画面はライブ画面内のカメラウインドウと連動します。 をクリックすると、再生を一時停止します。 をクリックすると再生します。一時停止中に をクリックすると前のフレームに戻ります。 をクリックすると次のフレームへ移動します。
	タグ追加	クリックすると、タグを追加します。追加したタグを検索することによって再生が可能です。クリックしてポップアップウインドウ内にタグ名を入力し、“追加”をクリックするとタグを追加します。
	カメラ切替	クリックすると、再生カメラを切り替えます。ポップアップウインドウ内でカメラを選択し、“OK”をクリックするとカメラを切り替えます。
	カメラ終了	クリックすると、カメラ再生を終了します。


エリア④について

をクリックすると、日付を設定します。 をクリックすると時間を設定し、再生を開始します。ツールバーの をクリックすると、すべての再生カメラが消去され、録画タイプ( 手動録画、 センサー録画、 動体検知録画、 スケジュール録画)をチェックできます。最後に再生ウインドウ内で をクリックすると、再生カメラを追加します。(録画タイムスケールは、チェックした録画タイプの録画データを表示します。)

## エリア⑤について

マウスをタイムスケールに動かすと、ツールバーが表示されます。 /  をクリックすると、時間帯が拡大します。 をクリックすると、24 時間表示に戻ります。時間帯をドラッグ又はスクロールをスライドすると、上下の隠れた時間帯を表示します。  をクリックしても同様です。

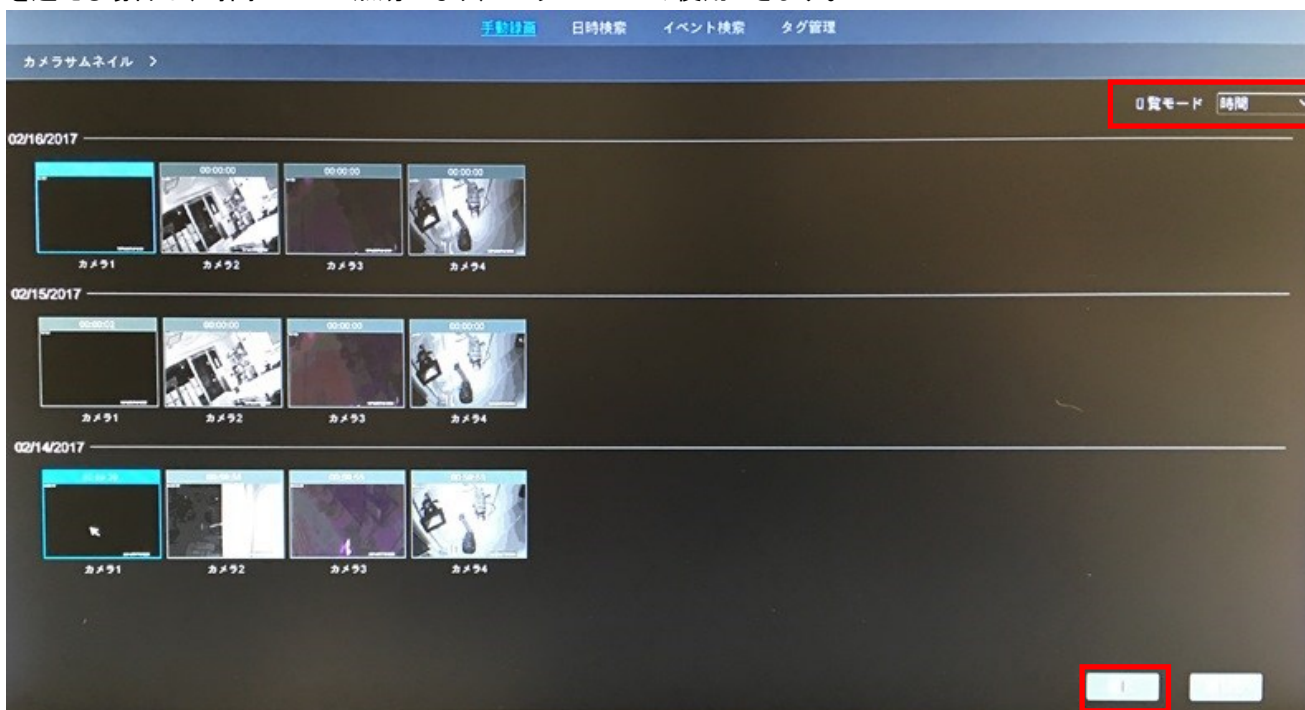
異なる録画タイプは異なる色でタイムスケールが表示されます。緑が手動録画、赤がセンサー録画、黄が動体検知録画、青がスケジュール録画を表します。録画ブロックをクリックし、時間を設定すると、再生が始まります。

 をクリックすると、バックアップウィンドウがポップアップします。ウィンドウ内の“バックアップ”ボタンをクリックすると、バックアップデバイス、パス、フォーマットを選択し、“バックアップ”ボタンをクリックするとバックアップを開始します。

## 6.3 録画検索と再生

### 6.3.1 サムネイル画像による検索と再生

①“スタート”⇒“検索”をクリックすると、カメラサムネイル画面に入ります。ここでは2つの閲覧モードがあります。(時間又はカメラ) 時間モードの場合、最大 64 台のカメラサムネイルが表示されます。カメラのサムネイル数が 64 以上ある場合は、カメラ名により直接リスト化されます。最大 196 カメラ名がリスト化できます。カメラ名が 196 を超える場合は、時間モードが無効になり、カメラモードのみ使用できます。



②画面内の 1 つのカメラを選択し、“開く”ボタンをクリックします。

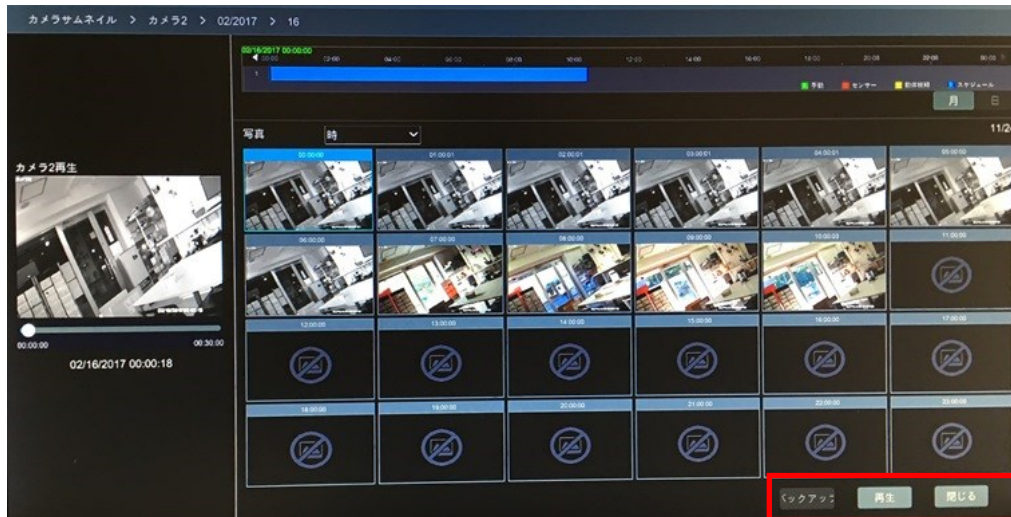
③画像ボックスをクリックし、画面の左側の小さい再生ボックス内で再生します。

④下図を参照ください。タイムスケール上のカラーブロックをドラッグし、録画データを選択します。

“バックアップ”をクリックするとウィンドウがポップアップします。バックアップデバイス、パス、フォーマットを選択し、“バックアップ”ボタンをクリックするとバックアップを開始します。

⑤“再生”ボタンをクリックすると、再生画面内で再生します。“閉じる”をクリックすると画面を閉じます。





### サムネイルモード

方法①: タイムスケール下の“年”“月”“日”ボタンをクリックし、サムネイルモードを選択します。“日”モードでタイムスケールの左上の◀ / ▶をクリックすると、前後の日の録画が見れます。タイムスケール下の“画像”オプション内で“分”をクリックすると、“分”モードに変わります。(“分”モード内でタイムスケールをクリックすると、60 ディスプレーウインドウの時間を変更します。)“時”をクリックすると、“時”モードになります。

方法②: 画面の左上のサムネイル横の▶をクリックすると、サムネイルモードを選択します。

方法③: サムネイル画面上で右クリックすると、上位画面に戻ります。

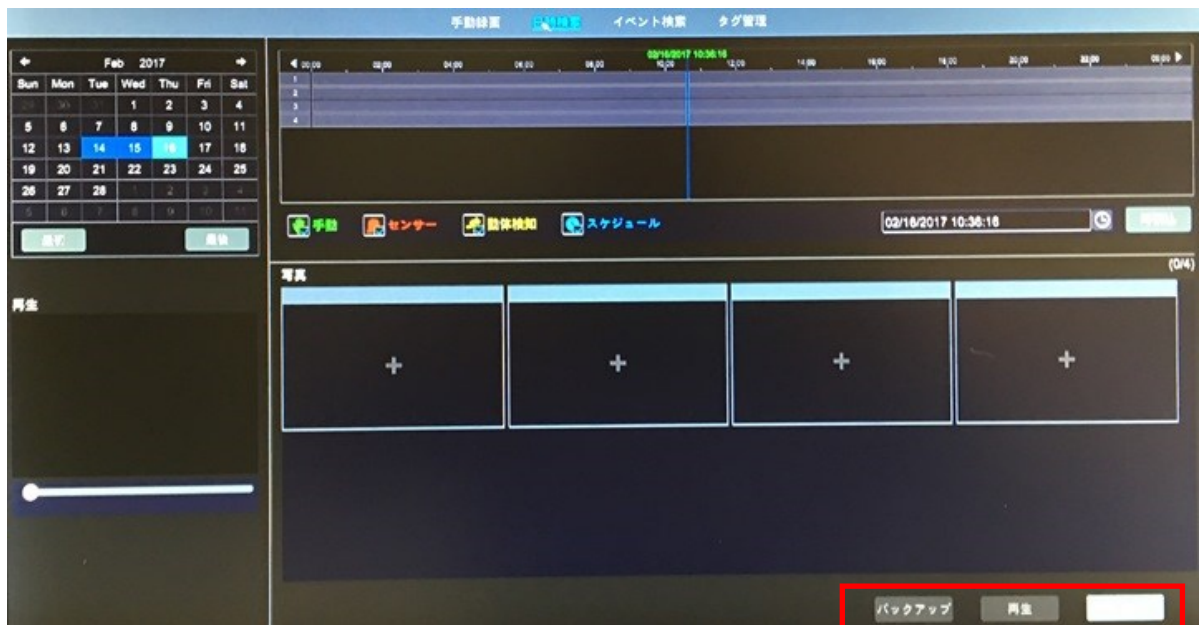
### 6.3.2 日時検索と再生

①“スタート”⇒“検索”⇒“日時検索”をクリックすると、日時検索画面に入ります。

②画面の下の+をクリックすると、再生するカメラを追加します。カメラウインドウの右上の“変更”をクリックするとカメラを変更します。“クリア”をクリックするとカメラを消去できます。

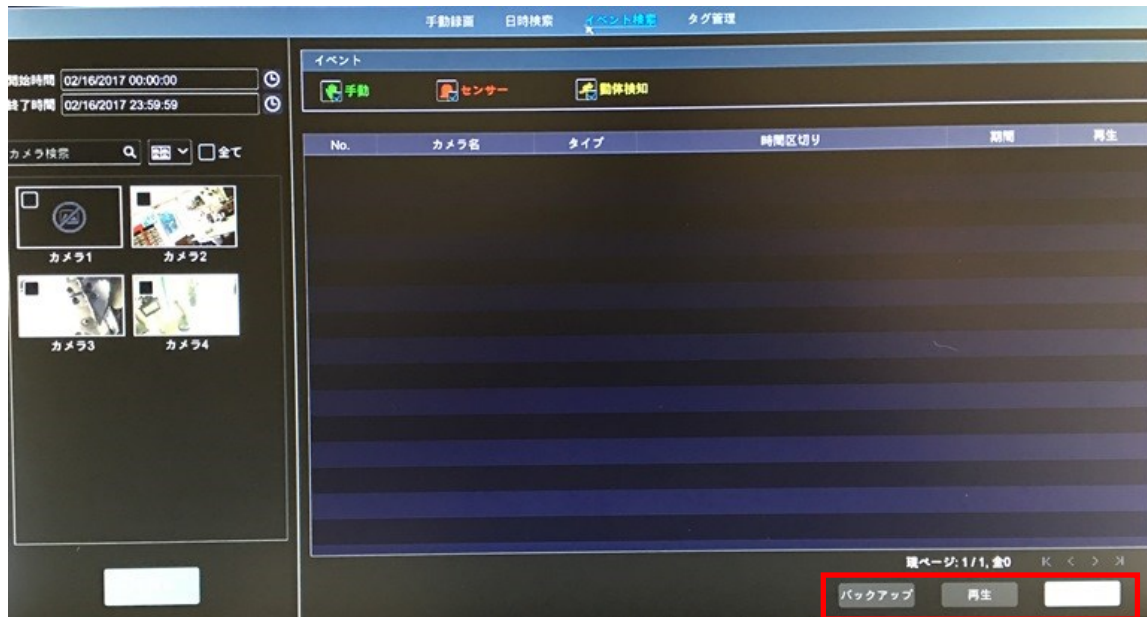
③カメラウインドウをクリックすると、画面左側の小さい再生ボックスで再生します。ユーザーは画面の左上で日付を設定します。希望のイベントタイプをチェックし、タイムスケールをクリックするか、タイムスケール下の🕒をクリックします。カメラウインドウは設定に基づき再生します。

④タイムスケール上のカラーブロックをドラッグし、録画データを選択します。“バックアップ”ボタンをクリックすると、バックアップを開始します。“再生”ボタンをクリックすると再生画面で再生を行います。



### 6.3.3 イベント検索と再生

①“スタート”⇒“検索”⇒“イベント検索”をクリックすると、イベント検索画面に入ります。



②画面内でイベントタイプをチェックします。

③🕒をクリックして、がんの左上の開始時間と終了時間を設定します。

④左側のカメラをチェックし、🔍をクリックすると、録画データを検索します。検索結果をリスト表示します。

⑤リスト内の▶️をクリックすると、ポップアップウィンドウ内で再生します。リスト内の録画データを一つ選択して、“バックアップ”をクリックすると、バックアップを行います。

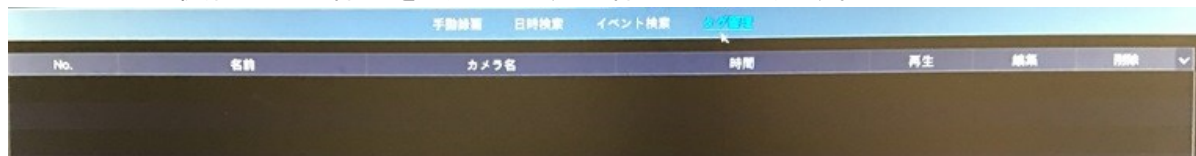
⑥リスト内の録画データを1つ選択し、“再生”をクリックすると再生画面で再生を行います。

### 6.3.4 タグ管理

タグを追加した時のみタグ検索を利用できます。“スタート”⇒“再生”をクリックすると、再生画面に

入ります。選択したカメラの再生ポイントをマークするとき、カメラウィンドウの下の方の★をクリックし、タグを追加します。

“スタート”⇒“検索”⇒“タグ管理”をクリックして、タグ管理画面に入ります。



画面内で▶️をクリックすると再生を開始します。✎️をクリックするとタグ名を編集します。🗑️をクリックするとタグを削除します。

## 6.4 バックアップ

録画データと静止画撮影データは、USB メモリやネットワーク経由でバックアップすることが出来ます。USB メモリのファイル形式は、FAT32 形式でフォーマットしてください。

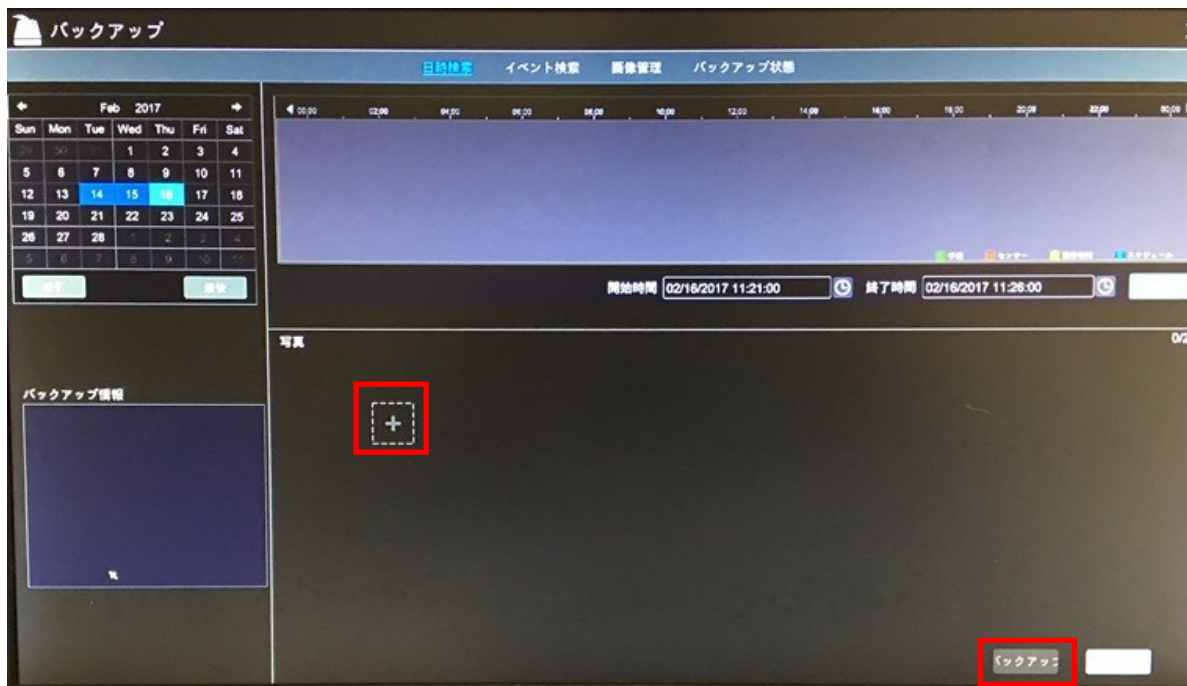
### 6.4.1 日時検索

①“スタート”⇒“バックアップ”⇒“日時検索”をクリックすると、バックアップ画面に入ります。

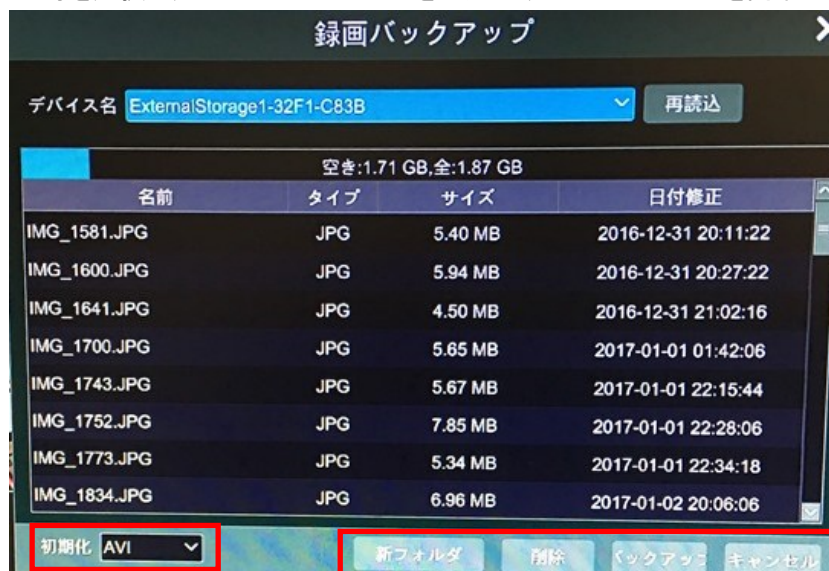
②タブ内の➕をクリックすると、カメラ追加ウィンドウがポップアップします。ウィンドウ内のカメラをチェックし、“追加”ボタンをクリックします。カメラの右上の“変更”をクリックするとカメラを変更します。“クリア”をクリックするとカメラを削除します。

③画面の左上で日付を設定します。タイムスケールをドラッグし、バックアップ時間帯を設定するか、タイムスケール下の🕒をクリックしてバックアップ開始時間と終了時間を設定します。





④“バックアップ”をクリックすると、“録画バックアップ”ウインドウがポップアップします。デバイス名やバックアップフォーマット等を選択し、“バックアップ”ボタンをクリックするとバックアップを開始します。



※プライベートフォーマットでバックアップする場合は、RPAS プレーヤーが自動的に USB メモリにバックアップされます。このプレーヤーでのみ再生可能です。

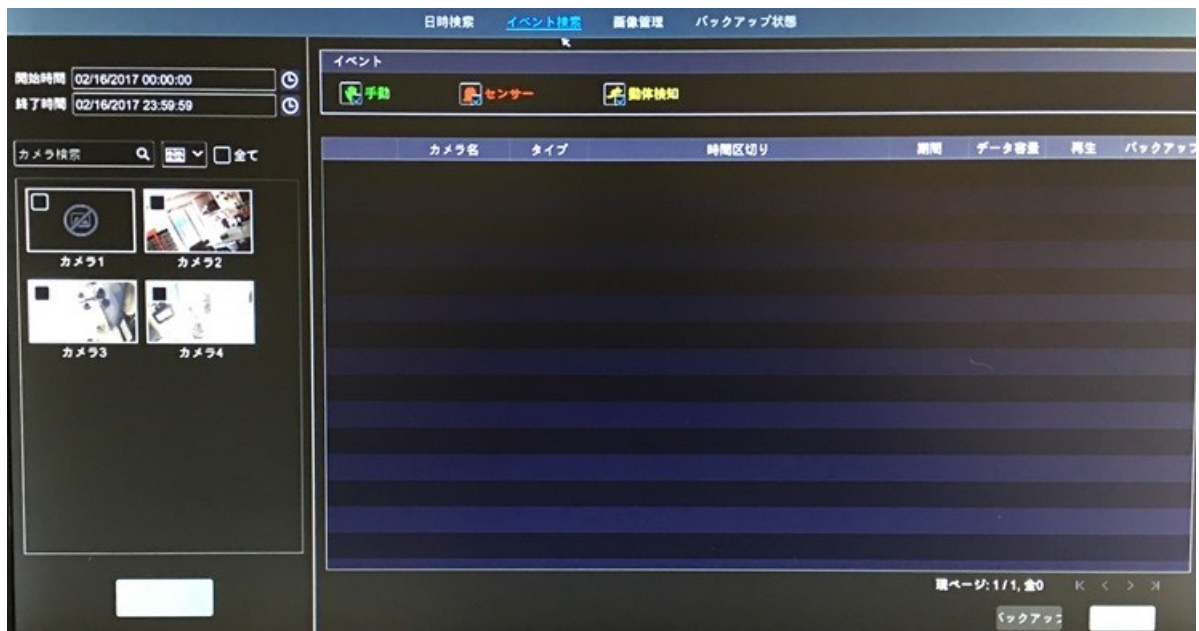
#### 6.4.2 イベント検索

①“スタート”⇒“バックアップ”⇒“イベント検索”をクリックします。

②🕒をクリックして、画面左上の開始時間と終了時間を設定します。

③イベントタイプとカメラを選択します。

④🔍をクリックして録画データを検索します。検索した結果がリスト表示されます。リスト内で▶️をクリックすると小さいポップアップウインドウ内で再生します。📄をクリックするとバックアップを行います。録画データを選択するかリスト内上の“バックアップ”ボタンをクリックすると、バックアップを開始します。



### 6.4.3 画像管理

“スタート”⇒“バックアップ”⇒“画像管理”をクリックします。全静止画を自動的にリスト表示します。

		日時検索	イベント検索	画像管理	バックアップ状態				
<input type="checkbox"/>	No.	カメラ名	撮影モード	↓	撮影時間	作者	ブラウザ	出力	削除
<input type="checkbox"/>	1	カメラ3	アラーム		02/16/2017 11:31:23	カメラ3			
<input type="checkbox"/>	2	カメラ2	アラーム		02/16/2017 11:31:21	カメラ2			
<input type="checkbox"/>	3	カメラ2	アラーム		02/16/2017 11:29:57	カメラ2			
<input type="checkbox"/>	4	カメラ2	アラーム		02/16/2017 11:28:52	カメラ2			
<input type="checkbox"/>	5	カメラ2	アラーム		02/16/2017 11:26:39	カメラ2			
<input type="checkbox"/>	6	カメラ2	アラーム		02/16/2017 11:25:25	カメラ2			
<input type="checkbox"/>	7	カメラ2	アラーム		02/16/2017 11:19:09	カメラ2			
<input type="checkbox"/>	8	カメラ2	アラーム		02/16/2017 11:17:20	カメラ2			
<input type="checkbox"/>	9	カメラ2	アラーム		02/16/2017 11:15:38	カメラ2			
<input type="checkbox"/>	10	カメラ2	アラーム		02/16/2017 11:14:07	カメラ2			
<input type="checkbox"/>	11	カメラ2	アラーム		02/16/2017 11:12:30	カメラ2			
<input type="checkbox"/>	12	カメラ2	アラーム		02/16/2017 11:06:27	カメラ2			

をクリックすると画像を削除します。 をクリックすると“出力”ウィンドウがポップアップします。

“保存”ボタンを押すとバックアップを行います。


をクリックすると“画像閲覧”ウィンドウがポップアップします。 をクリックし画像を出力します。

をクリックすると、前の画像を表示します。 をクリックすると次の画像を表示します。

をクリックすると画像を削除し、 をクリックすると画像を再生します。



#### 6.4.4 バックアップ状態

“スタート”⇒“バックアップ”⇒“バックアップ状態”をクリックするか、再生画面下のをクリックすると、バックアップ状態を表示します。

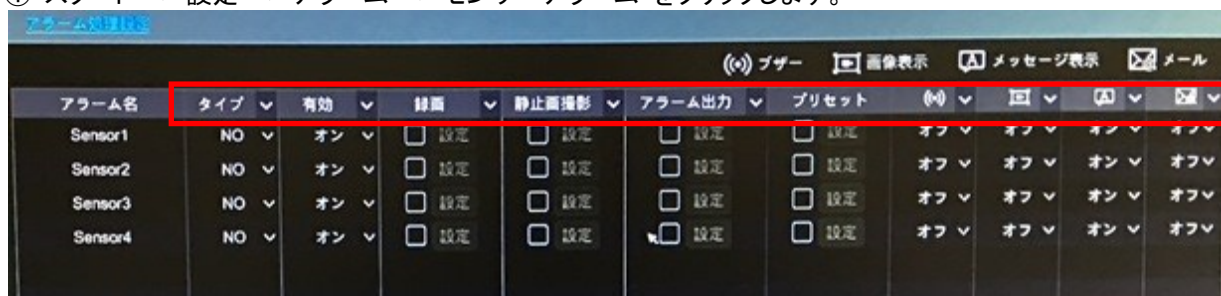
**注意！** バックアップ中に USB デバイスを抜いたり、電源を切ったりしないでください。本機に深刻なダメージを与える可能性があります。バックアップ完了後、USB デバイスを取り外してください。



## 7 章 アラーム管理

### 7.1 センサーアラーム

①“スタート”⇒“設定”⇒“アラーム”⇒“センサーアラーム”をクリックします。



②センサーの起動タイプに従い、アラームタイプ(NO/NC)を選択します。

③各カメラのセンサーを“有効”にします。

④“録画”“静止画撮影”“アラーム出力”“プリセット”をクリックし、ユーザーの要望によりそれぞれ“ブザー”“画像表示”“メッセージ表示”“メール”を有効/無効にします。

⑤“適用”をクリックし、設定を保存します。

上記記載のアラーム関連設定の手順は以下の通りです。

- ・**録画**: クリックすると“検知録画”ウインドウが自動的にポップアップします。(“設定”ボタンをクリックしても同様です) 左側のカメラを選択し、をクリックすると、起動カメラとして設定されます。右側で起動カメラを選択し、をクリックすると、起動カメラをキャンセルされます。“OK”をクリックすると、設定が保存されます。起動カメラは、センサーが検知すると自動的に録画を開始します。
- ・**静止画撮影**: クリックすると“スナップショット起動”ウインドウが自動的にポップアップします。(“設定”ボタンをクリックしても同様です) 左側のカメラを選択し、をクリックすると、起動カメラとして設定されます。右側で起動カメラを選択し、をクリックすると、起動カメラをキャンセルされます。“OK”をクリックすると、設定が保存されます。起動カメラは、センサーが検知すると自動的に静止画撮影を開始します。
- ・**アラーム出力**: クリックすると“アラーム出力検知”ウインドウが自動的にポップアップします。(“設定”ボタンをクリックしても同様です) 左側のアラーム出力を選択し、をクリックすると、アラーム検知として設定されます。センサーが検知すると、自動的にアラーム出力が起動します。アラーム出力の遅れ時間やスケジュールも設定できます。(後述)
- ・**プリセット**: クリックすると“プリセット起動”ウインドウが自動的にポップアップします。各カメラのプリセット起動を設定します。
- ・**ブザー**: 有効にすると、センサーが検知すると自動的にブザーがなります。ブザーの設定は後述します。
- ・**画像表示**: カメラ設定後、センサーが検知すると自動的に対応するカメラ画像がポップアップします。画像の表示時間等の設定は後述します。
- ・**メッセージ表示**: 有効にすると、センサーが検知したときに自動的にアラームメッセージが表示されます。メッセージの設定は後述します。
- ・**メール**: 有効にすると、センサーが検知したときに自動的にメール送信を行います。メールを有効にする前に、送受信者の設定を行ってください。(後述)

### 7.2 動体検知

指定したエリアに物体が動くと、アラームが起動します。事前に各カメラの動体検知を有効にし、アラームの設定を行います。

#### 7.2.1 動体検知設定

①“スタート”⇒“設定”⇒“カメラ”⇒“動体検知”をクリックし、設定画面に入ります。

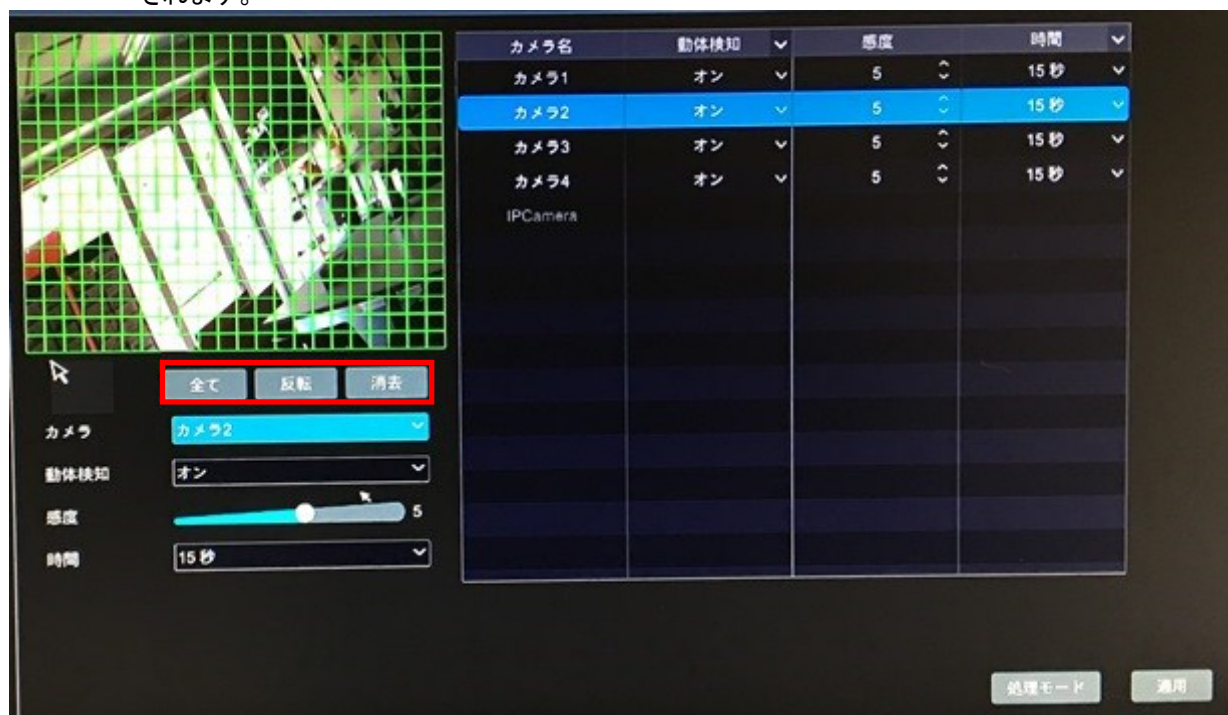
②カメラを選択し、動体検知を ON にします。時間と感度を設定します。

・**感度**: 数値が大きいと検知感度が高くなります。設置環境により適切な値を設定してください。

・**時間**: 動体検知のインターバル時間を設定します。例えば時間を 10 秒にしたとき、本機が動体検知した後、10 秒間は動体検知を行いません。

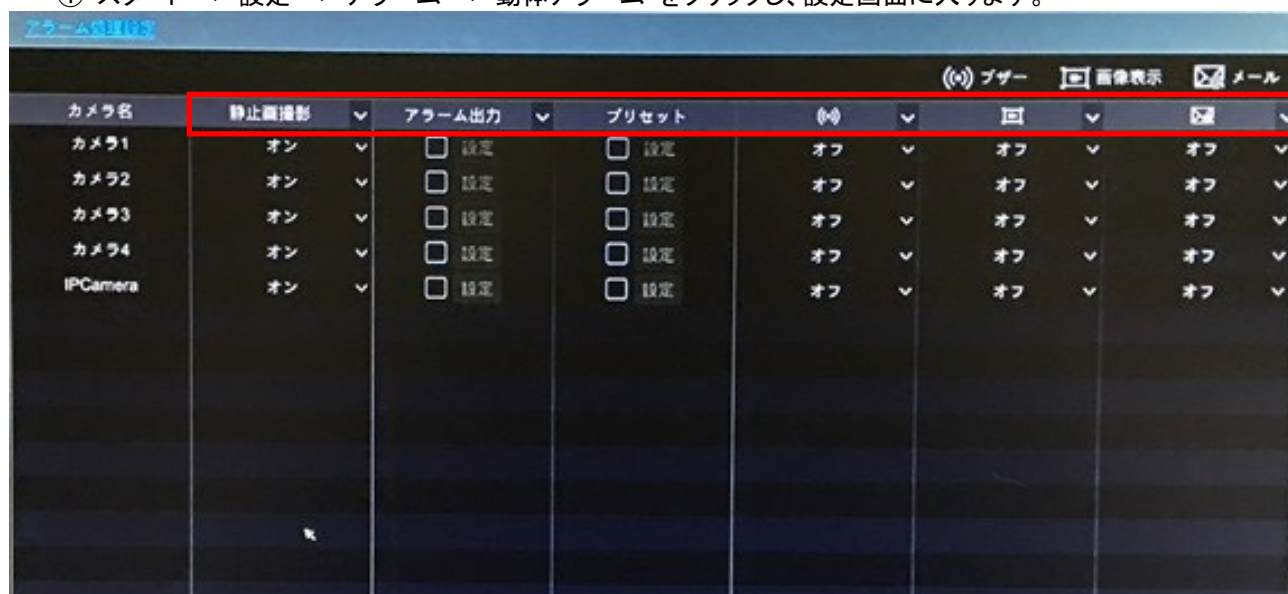
③画面の左上の画像内でドラッグして、検知エリアを指定します。1 つ以上のエリアを設定できます。“全て”をクリックすると、カメラの全画面が検知エリアとなります。”反転”をクリックすると、検知エリアが非検知

エリアになり、非検知エリアが検知エリアになります。”消去“をクリックすると、全検知エリアが消去されます。



## 7.2.2 動体検知処理設定

①“スタート”⇒“設定”⇒“アラーム”⇒“動体アラーム”をクリックし、設定画面に入ります。



②“静止画撮影”“アラーム出力”“プリセット”“ブザー”“画像表示”“メール”を有効/無効に設定します。内容は前章のアラーム設定と同様です。

③“適用”をクリックして設定を保存します。“動体検知設定”をクリックすると、動体検知設定へ入ります。

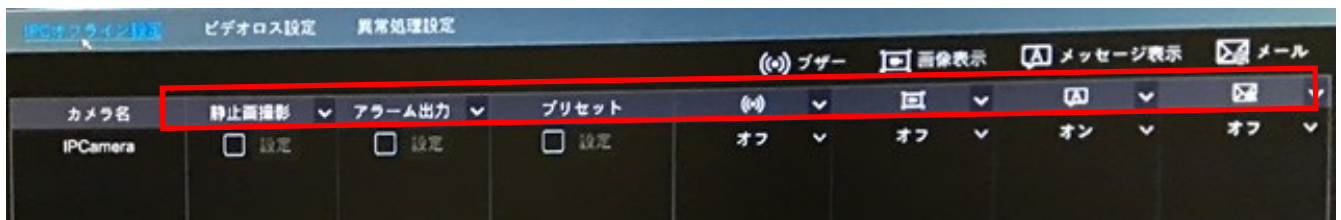
## 7.3 異常処理

### 7.3.1 IPC オフライン設定

①“スタート”⇒“設定”⇒“アラーム”⇒“異常”⇒“IPC オフライン設定”をクリックし、設定画面に入ります。

②“静止画撮影”“アラーム出力”“プリセット”“ブザー”“画像表示”“メッセージ表示”“メール”を有効/無効に設定します。内容は前章のアラーム設定と同様です。

③“適用”をクリックして設定を保存します。



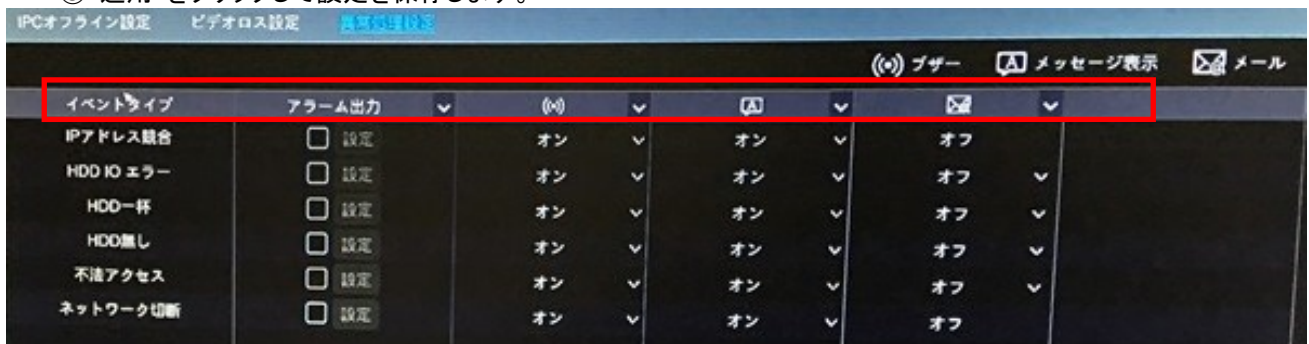
### 7.3.2 ビデオロス設定

- ①“スタート”⇒“設定”⇒“アラーム”⇒“異常”⇒“ビデオロス設定”をクリックし、設定画面に入ります。
- ②“静止画撮影”“アラーム出力”“プリセット”“ブザー”“画像表示”“メッセージ表示”“メール”を有効/無効に設定します。内容は前章のアラーム設定と同様です。
- ③“適用”をクリックして設定を保存します。



### 7.3.3 異常処理設定

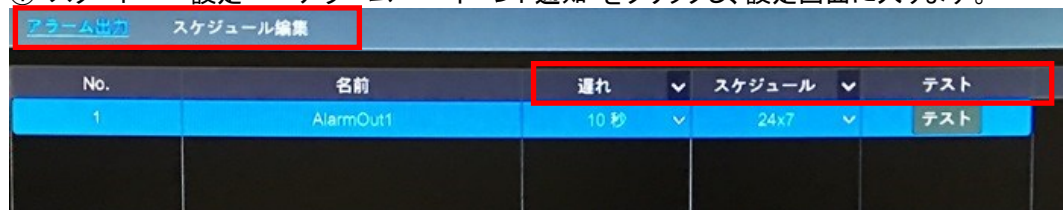
- ①“スタート”⇒“設定”⇒“アラーム”⇒“異常”⇒“異常処理設定”をクリックし、設定画面に入ります。
- ②“アラーム出力”“ブザー”“メッセージ表示”“メール”を有効/無効に設定します。内容は前章のアラーム設定と同様です。
- ③“適用”をクリックして設定を保存します。



## 7.4 アラームイベント通知

### 7.4.1 アラーム出力

- ①“スタート”⇒“設定”⇒“アラーム”⇒“イベント通知”をクリックし、設定画面に入ります。



- ②“遅れ”時間や“スケジュール”を設定します。“スケジュール編集”をクリックするとスケジュールを編集できます。
- ③“適用”をクリックして設定を保存します。“テスト”をクリックすると、アラーム出力テストが出来ます。

### 7.4.2 メール

- “スタート”⇒“設定”⇒“アラーム”⇒“イベント通知”⇒“メール”をクリックし、設定画面に入ります。設定方法は後述します。



### 7.4.3 画面

“スタート”⇒“設定”⇒“アラーム”⇒“イベント通知”⇒“画面”をクリックし、設定画面に入ります。画像表示とメッセージ表示のポップアップ時間を設定します。“適用”をクリックして設定を保存します。

メール 画面 ブザー

画像表示

時間 10 秒

メッセージ表示

時間 10 秒

適用

### 7.4.4 ブザー


“スタート”⇒“設定”⇒“アラーム”⇒“イベント通知”⇒“ブザー”をクリックし、設定画面に入ります。ブザーの遅れ時間（作動時間）を設定します。“適用”をクリックして設定を保存します。“テスト”をクリックするとブザーテストが出来ます。

ブザー

遅れ 5 秒


テスト 適用

## 7.5 手動アラーム

ライブ画面上の下部ツールバーのをクリックすると、ポップアップウィンドウが起動します。“検知”をクリックするとアラームが起動します。“クリア”をクリックするとアラームが停止します。

アラーム出力名	状態	検知	クリア
AlarmOut1	正常	検知	クリア

## 7.6 アラーム状態ビュー

“スタート”⇒“設定”⇒“アラーム”⇒“アラーム状態”をクリックするか、ライブ画面下のツールバーのをクリックすると、アラーム状態画面に入ります。

ブザー


クリア

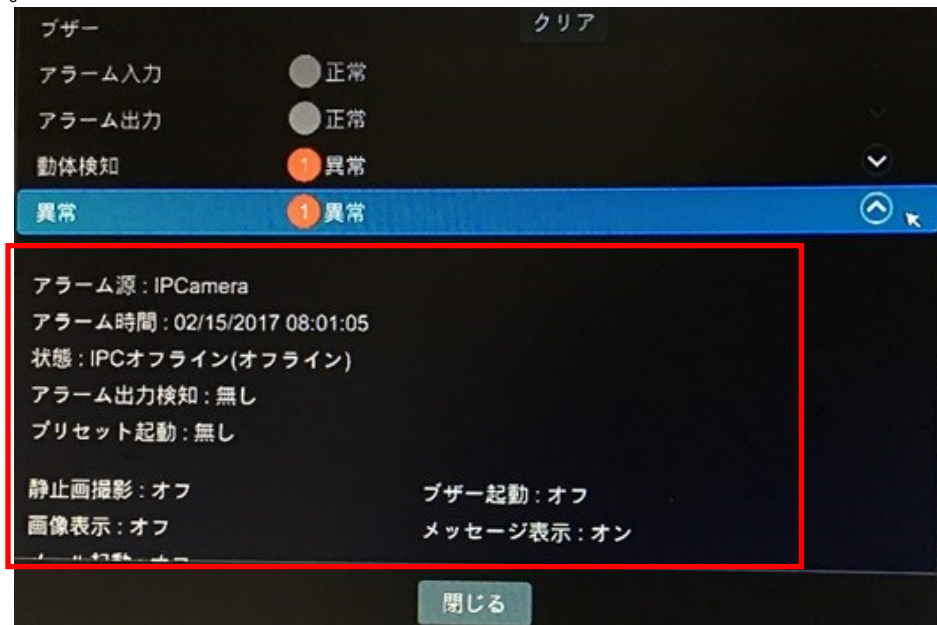
アラーム入力 正常





アラーム出力 正常

動体検知 正常

異常 1 異常

ブザー起動中に“クリア”ボタンをクリックすると、ブザーが停止します。をクリックすると、詳細情報が閲覧できます。

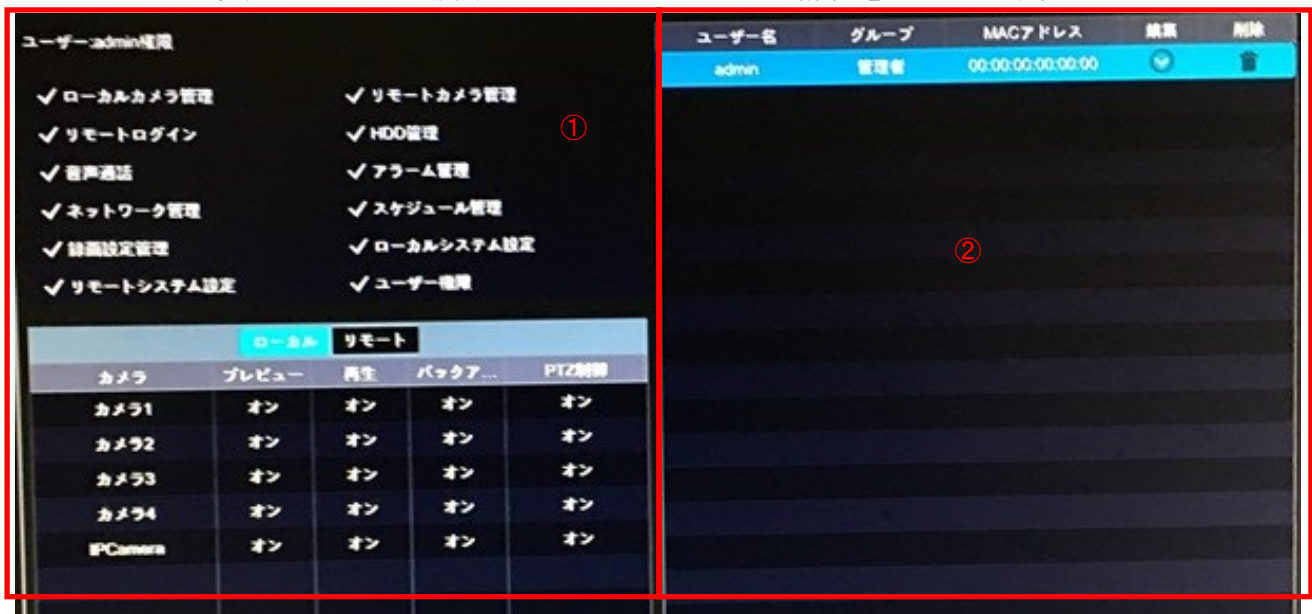


以上情報が1ページ以上ある場合、ボックス内に数字を入力し、をクリックすると、指定ページへジャンプします。 / をクリックすると、前/次のページへ移動します。をクリックすると、アラーム録画を再生します。

## 8 章 ユーザーと権限設定

### 8.1 アカウント管理

“スタート”⇒“設定”⇒“ユーザー権限”⇒“ユーザー”⇒“ユーザー編集”をクリックします。



エリア①にはユーザー権限が表示されます。エリア②にはユーザーリストが表示されます。リスト内のユーザーをクリックすると、エリア①にユーザー権限が表示されます。

ユーザー追加時に利用可能な初期権限グループが3つ(管理者、詳細、共通)設定されています。ユーザーは手動で新しい権限グループを追加できます。(後述参照)

“admin”ユーザーは全ての権限を持ち、システムを管理します。“管理者”グループは、エリア①内に表示された全ての権限を持っており、権限の変更が出来ません。“詳細”と“共通”は変更が可能です。

#### 8.1.1 ユーザー追加

①“スタート”⇒“設定”⇒“ユーザー権限”⇒“ユーザー”⇒“ユーザー追加”をクリックします。又は、検索ボックス横の **+** をクリックすると、“ユーザー追加”ウインドウがポップアップします。

ユーザー追加

ユーザー名:

パスワード:

パスワード確認:

☐ ディスプレイパスワード

メール:

グループ:

固定MAC:

コメント:



**追加** キャンセル

②ユーザー名、パスワード、グループを設定します。それ以外はオプションで設定します。“追加”をクリックしてユーザーを追加します。



### 8.1.2 ユーザー編集

“スタート”⇒“設定”⇒“ユーザー権限”⇒“ユーザー”⇒“ユーザー編集”をクリックし、ユーザーリスト内の▼をクリックするか、ユーザーをダブルクリックすると、ユーザー情報を編集します。🗑️をクリックすると、ユーザーを削除します。（“admin”は削除できません）

ユーザー名	グループ	MACアドレス	編集	削除
admin	管理者	00:00:00:00:00:00		
<div><div>パスワード変更</div><div>ユーザー編集</div><div>秘密の質問編集</div></div>				

#### ・秘密の質問編集

“admin”ユーザーのみパスワードに秘密の質問を設定できます。”秘密の質問編集“をクリックし、ポップアップウィンドウ内に質問と回答を設定します。パスワードを忘れた時に後述の補足 A FAQ を参照ください。

#### ・パスワード変更

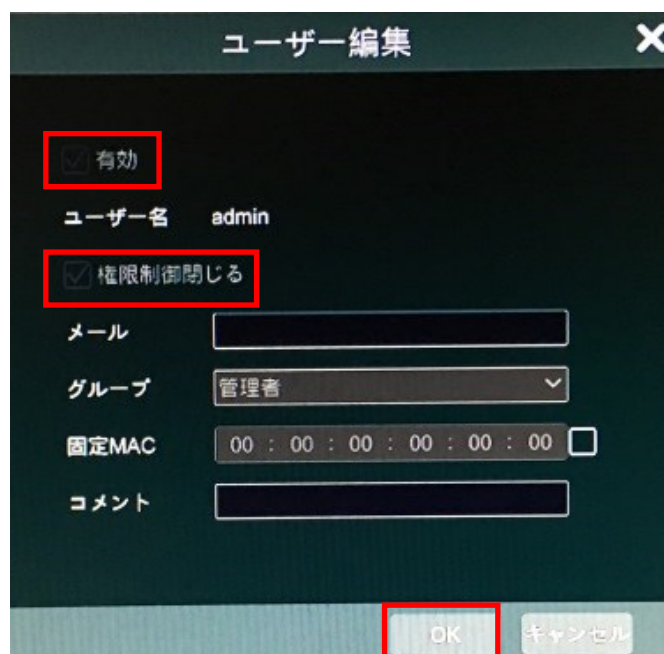
“admin”パスワードのみ変更できます。”パスワード変更“をクリックすると、ウィンドウがポップアップします。現在のパスワードを入力し、新しいパスワードを設定します。“OK”をクリックすると設定を保存します。

#### ・パスワード復旧

“パスワード復旧”をクリックすると、パスワードが“123456”にリセットされます。

#### ・ユーザー編集

“ユーザー編集”をクリックすると、下のようなウィンドウがポップアップします。“有効”にすると、権限制御が閉じ、権限グループは変更できません。他のユーザーは、有効/無効にできます。（無効にした場合、ユーザーが利用不可となります。）権限制御閉じるにした場合、管理者権限グループが持つ全ての権限を取得します。“OK”をクリックすると設定を保存します。



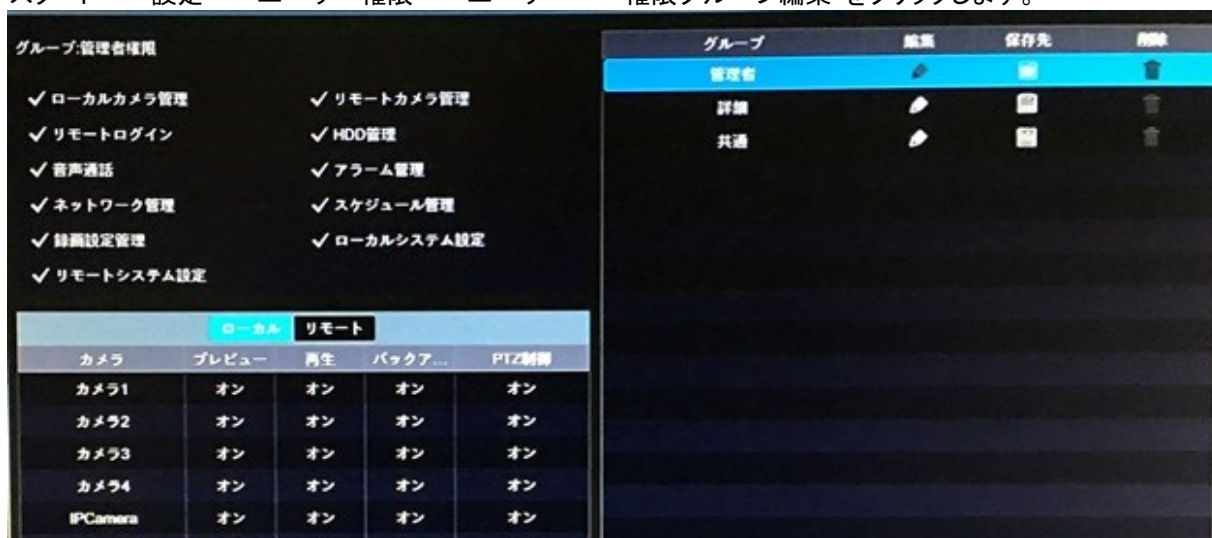
## 8.2 ユーザーログイン/ログアウト

- ・ログイン: “スタート”⇒“ログイン”をクリック又は、直接ライブ画面をクリックし、ポップアップウィンドウ内にユーザー名を選択し、パスワードを入力します。“ログイン”をクリックするとシステムにログインします。
- ・ログアウト: “スタート”⇒“ログアウト”をクリック又は、“スタート”⇒“終了”をクリックすると、ウィンドウがポップアップします。“ログアウト”を選択して、“OK”をクリックすると、ログアウトします。

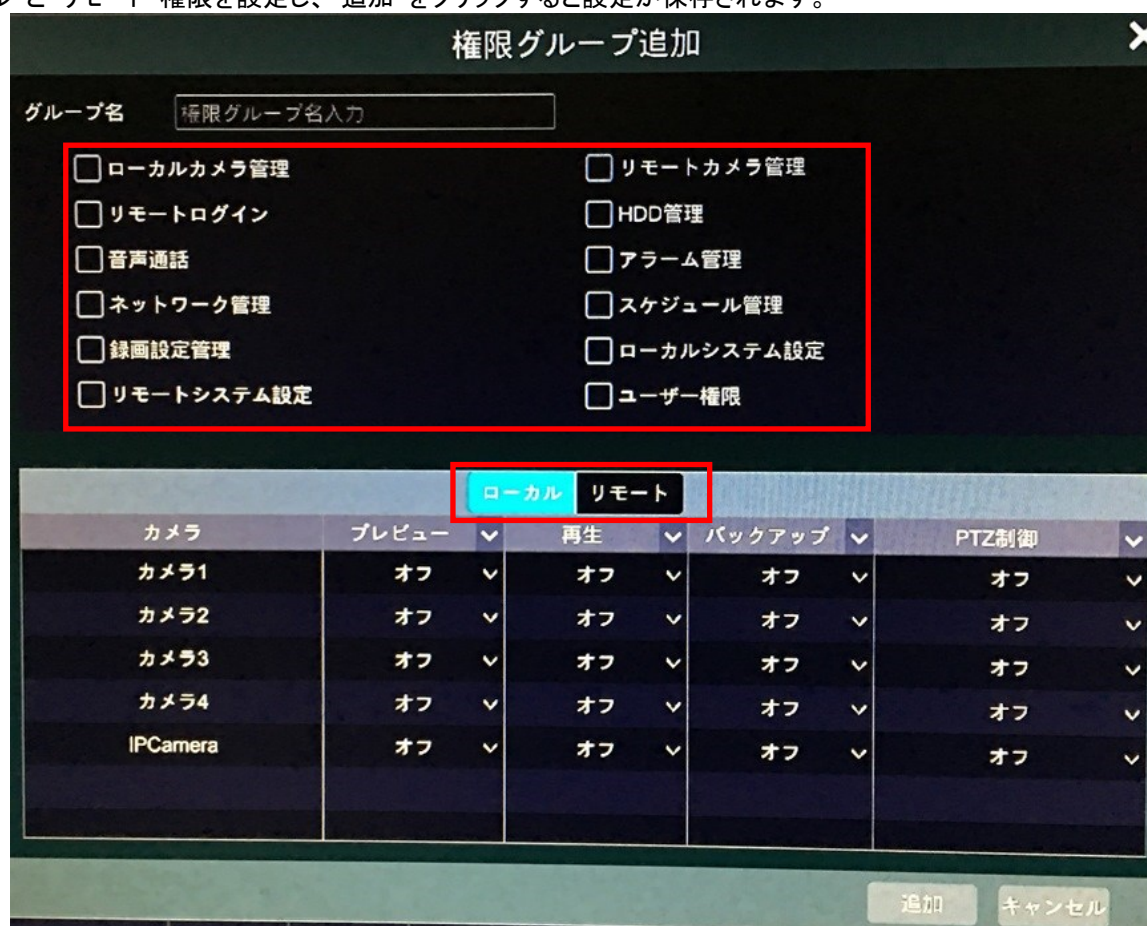
## 8.3 権限管理

### 8.3.1 権限グループ追加




“スタート”⇒“設定”⇒“ユーザー権限”⇒“ユーザー”⇒“権限グループ編集”をクリックします。



＋をクリックし、権限グループを追加します。“グループ名”を設定し、必要な権限にチェックを入れます。“ローカル”と“リモート”権限を設定し、“追加”をクリックすると設定が保存されます。

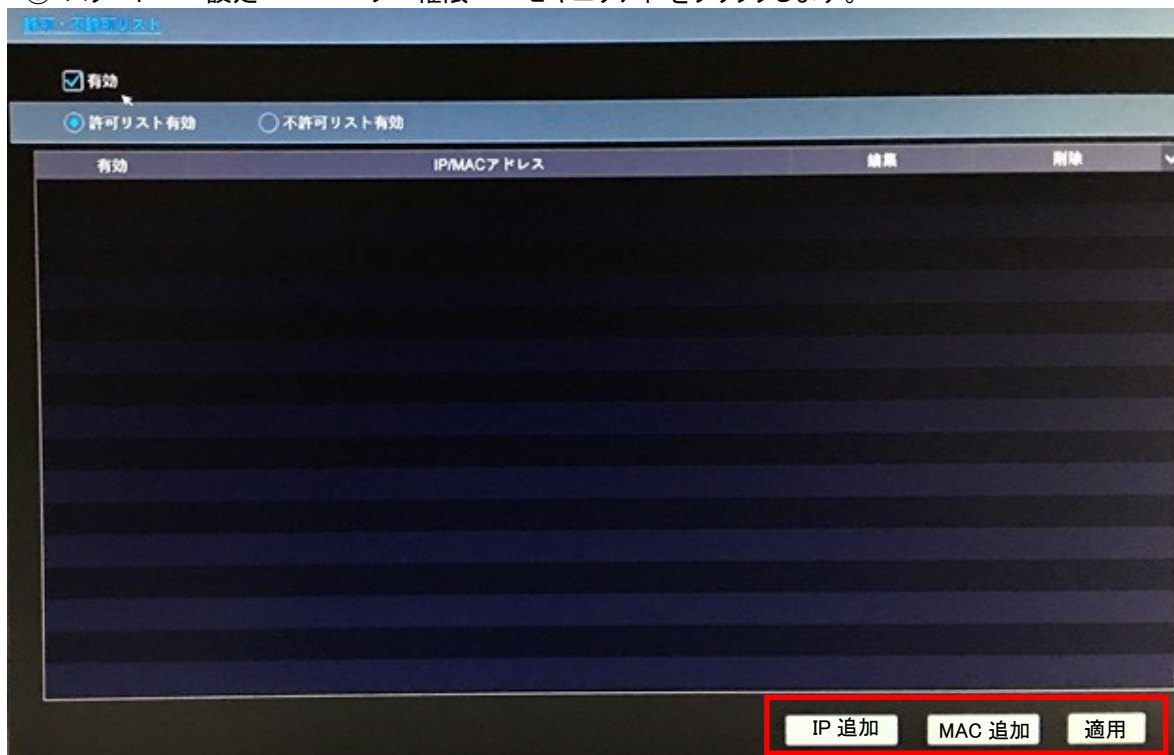


### 8.3.2 権限グループ編集

“権限グループ編集”画面へ入り、グループリスト内の  をクリックし、権限グループを編集します。 をクリックすると、グループを別のグループとして保存します。 をクリックすると、権限グループを削除します。初期3グループ(“管理者”“詳細”“共通”は削除できません。)



## 8.4 許可/不許可リスト

①“スタート”⇒“設定”⇒“ユーザー権限”⇒“セキュリティ”をクリックします。



②“有効”をチェックし、“許可リスト有効”又は“不許可リスト有効”を選択します。（許可リスト内の IP アドレスを持つ PC クライアントからの本機へのアクセスを許可し、不許可リストのアドレスをブロックします。）

③“IP 追加”又は“MAC 追加”をクリックし、ポップアップウインドウ内で“有効”にチェック入れます。

IP アドレスを入力し、“OK”をクリックします。上部画面の  をクリックし、IP アドレスを編集できます。 をクリックすると、削除します。“適用”をクリックすると設定が保存されます。



## 9 章 デバイス管理

### 9.1 ネットワーク設定

#### 9.1.1 TCP/IPv4 設定

##### ・IP アドレス設定

“スタート”⇒“設定”⇒“ネットワーク”⇒“TCP/IPv4”をクリックします。“IP アドレス自動取得”“DNS 自動取得”にチェックを入れると、IP アドレスと DNS を自動的に取得します。手動の場合は、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイなどを手動で入力します。“適用”をクリックして設定を保存します。

##### ・PPPoE 設定

上記画面で、“PPPoE 設定”内で“有効”をクリックし、“ユーザー名”と“パスワード”を入力します。“適用”をクリックすると設定を保存します。

The screenshot displays the 'IPアドレス設定' (IP Address Settings) screen. Under the 'イーサネットポート1 (オンライン)' (Ethernet Port 1 (Online)) section, the 'IPアドレス自動取得' (Automatic IP Address Acquisition) and 'DNS自動取得' (Automatic DNS Acquisition) checkboxes are both checked and highlighted with red boxes. Below these are input fields for 'アドレス' (Address), 'サブネットマスク' (Subnet Mask), 'ゲートウェイ' (Gateway), '優先DNS' (Preferred DNS), and '代替DNS' (Alternate DNS). The 'PPPoE設定' (PPPoE Settings) section below has the '有効' (Enabled) checkbox unchecked. It includes input fields for 'ユーザー名' (Username) with the value 'abc' and 'パスワード' (Password) with masked characters. A 'ディスプレイパスワード' (Display Password) checkbox is also present and unchecked.

#### 9.1.2 ポート設定

“スタート”⇒“設定”⇒“ネットワーク”⇒“ポート”をクリックします。本機の“HTTP ポート”“サーバーポート”“RTSP ポート”を入力し、“適用”をクリックして保存します。

The screenshot shows the 'ポート' (Port) settings screen. It features three input fields: 'HTTPポート' (HTTP Port) with the value '80', 'Server Port' with the value '6036', and 'RTSPポート' (RTSP Port) with the value '554'. A blue '適用' (Apply) button is located at the bottom right of the screen.

・HTTP ポート: 本機の初期ポートは 80 です。ポート番号は変更できます。このポートは主に IE での遠隔

アクセスに利用します。IE でアクセスする場合は、IP アドレスとポート番号を  
“http://192.168.11.61:81”のようにアドレスバーに入力します。

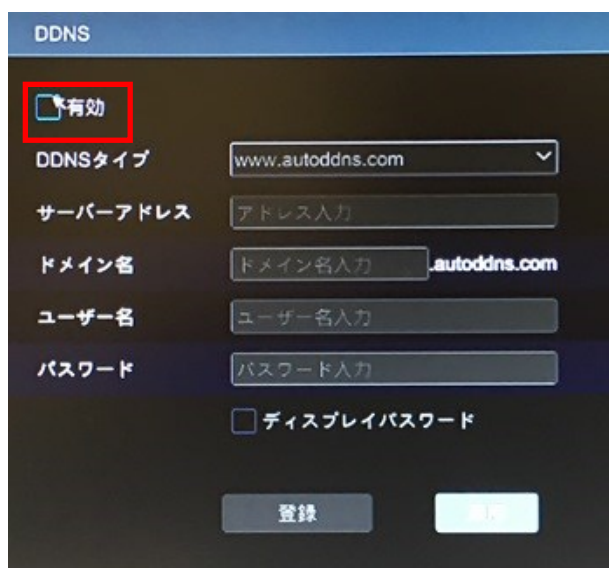
- ・サーバーポート: 本機の初期サーバーポートは 6036 です。サーバーポート番号は希望により変更可能です。このポートは主にネットワーク内で映像管理システムに使用されます。
- ・RTSP ポート: RTSP は、リアルタイムデータの送信制御に使用されます。RTSP に対応したメディアプレーヤーにより、ユーザーはライブ画像を同調して閲覧できます。初期RTSPポートは 554 で変更が可能です。

※WAN 経由でアクセスする場合は、事前にルーターのポートマッピングが必要です。

### 9.1.3 DDNS 設定

DDNS はドメイン名を通して、ダイナミック IP アドレス制御に使用されます。DDNS を有効にして設定すると、簡単に本機にアクセスが可能です。

“スタート”⇒“設定”⇒“ネットワーク”⇒“DDNS”をクリックします。



“有効”にチェックを入れ、使用する DDNS を選択します。DDNS サービスから与えられたサーバーアドレス、ドメイン名、ユーザー名、パスワードを入力します。“登録”をクリックすると入力した情報が正しいかテストを行います。“適用”をクリックすると設定が保存されます。


DDNS サービスを使用するには、それぞれの DNS のウェブサイトに行き、必要な登録を行います。登録方法は各ウェブサイトを参照ください。NO-IP については、下記の Web サイトで日本語での登録方法を紹介しています。

“<http://www.akakagemaru.info/port/ddns/noip.html>”

### 9.1.4 メール設定

“スタート”⇒“設定”⇒“ネットワーク”⇒“メール”をクリックします。送信者の“メールアドレス”“名前”“パスワード”“SMTP サーバー”“SMTP ポート”などの必要なメール情報を入力します。SSL や添付画像を選択し、“テスト”をクリックするとウインドウがポップアップします。ウインドウ内に受信者のメールアドレスを入力し、“OK”をクリックすると、メール送信テストを行います。メール送信が成功した場合、送信者のメール設定が正しかったことを示します。“適用”をクリックして設定を保存します。


“受信者編集”をクリックすると、受信者登録画面が開きます。

“追加”をクリックし、ポップアップウィンドウ内に受信者のメールアドレスを入力します。ウィンドウ内で“追加”をクリックすると、受信者が追加されます。をクリックすると、リスト内の受信者を削除します。“適用”をクリックすると、設定が保存されます。“送信者編集”をクリックすると、メール設定に戻ります。

### 9.1.5 UPnP 設定

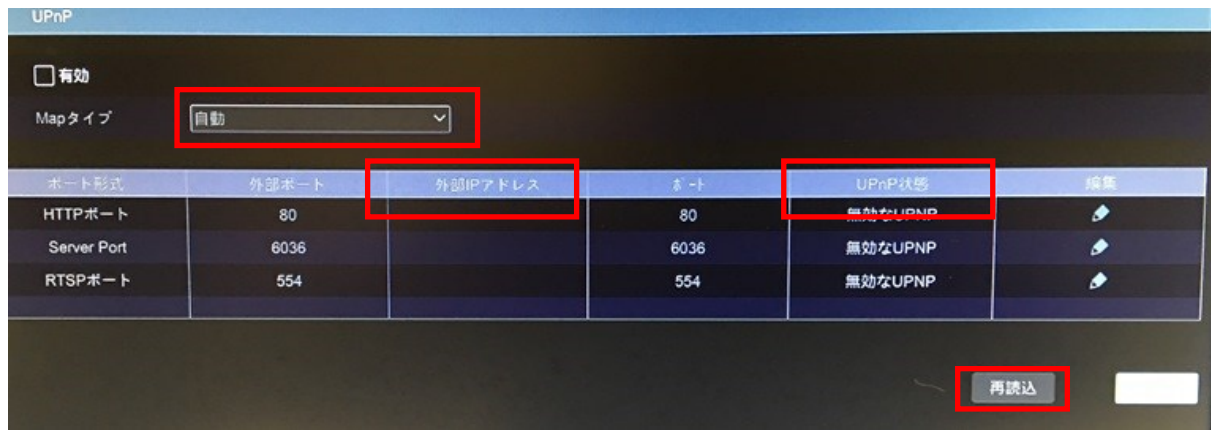
UPnP によりユーザーはルーターのポート解放無しで WAN 内の IE クライアントを通して本機にアクセスできます。

- ① “スタート”⇒“設定”⇒“ネットワーク”⇒“UPnP”をクリックします。
- ② ルーターが UPnP をサポートしていることを確認し、ルーターの UPnP を有効にします。
- ③ 本機の IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイなどをルーターに設定します。
- ④ 下画面内で“有効”をチェックし、“適用”をクリックします。

“再読み込み”をクリックすると、UPnP 状態が再読み込みされます。再読み込み後も“UPnP 状態”が“無効な UPnP”の場合、ポート番号が間違っています。“Map タイプ”を“手動”に変更し、をクリックして、“有効な UPnP”という表示になるまでポートを変更してください。ユーザーは外部 IP アドレスを確認することが出来ます。IP アドレスとポート番号を IE のアドレスバーに入力して、DVR にアクセスできます。

例：“http://183.17.254.19:81”





### 9.1.6 NAT 設定

“スタート”⇒“設定”⇒“ネットワーク”⇒“NAT”をクリックします。“有効”をチェックし、NAT サーバーを選択します。“適用”をクリックして設定を保存します。

### 9.1.7 ネットワーク状態ビュー

“スタート”⇒“設定”⇒“ネットワーク”⇒“ネットワーク状態ビュー”をクリックします。ここでは、ネットワーク状態を見ることが出来ます。又はライブ画面下のツールバーで をクリックしても同様です。

## 9.2 基本設定

### 9.2.1 共通設定

“スタート”⇒“設定”⇒“システム”⇒“一般設定”をクリックします。“デバイス名”“デバイス No.”を入力し、“言語”“映像形式”などを選択します。“適用”をクリックすると、設定を保存します。

一般設定    日時設定    出力設定

**一般設定**

デバイス名: Device Name

デバイスNo.: 1

言語: 日本語

映像形式: NTSC

メイン出力: 1920x1080

☒ ウィザード有効

☒ 自動ログイン

☒ 自動ログアウト

待機時間: 1分


☐ ネット

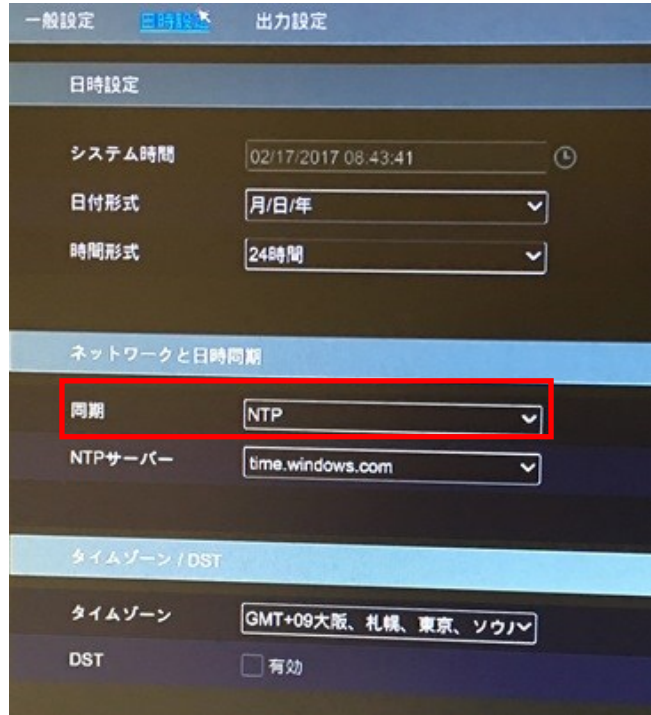
- ・デバイス名: ここで付けた名前がクライアントエンド上又は CMS に表示され、遠隔アクセス時に本機を認識するのを助けます。
- ・映像形式: NTSC を選択してください。

- ・スポット: 本機がスポット出力に対応している場合、チェックを入れるとスポット出力が有効になります。

### 9.2.2 日時設定

“スタート”⇒“設定”⇒“システム”⇒“一般”⇒“日時設定”をクリックします。“システム時間”や“日付形式”などを設定します。“適用”をクリックして設定を保存します。日時設定には、手動で設定する方法と、NTP を通してネットワーク上で自動的に同期させる方法があります。

- ・手動: “同期”内で“手動”を選択します。 をクリックして日付を修正します。
- ・NTP: “同期”内で“NTP”を選択します。この場合、NTP サーバーを選択してください。



### 9.2.3 設定初期化

“スタート”⇒“設定”⇒“システム”⇒“メンテナンス”⇒“初期設定”をクリックします。“初期化”ボタンをクリックすると、設定が工場出荷状態に戻ります。

### 9.2.4 ソフトウェア更新

“スタート”⇒“設定”⇒“システム”⇒“情報”⇒“一般”をクリックします。MCU やファームウェアのバージョンを見ることが出来ます。ソフトウェア更新する前に、更新ソフトを入手してください。

- ①更新ファイルを USB メモリにコピーします。
- ②USB メモリを本機の USB スロットに挿入します。
- ③“スタート”⇒“設定”⇒“システム”⇒“メンテナンス”⇒“更新”をクリックして更新画面に入ります。

更新ファイルを選択し、“更新”をクリックすると、ソフトウェア更新が始まります。

※USB メモリは、FAT32 形式でフォーマットしてください。

### 9.2.5 バックアップと復元

ユーザーは、本機の設定ファイルを外部 USB メモリにバックアップ可能です。この設定ファイルを使用して同じモデルの他の DVR に設定を復元することが出来ます。

USB メモリを本機に挿入し、“スタート”⇒“設定”⇒“システム”⇒“メンテナンス”⇒“バックアップと復元”に入ります。

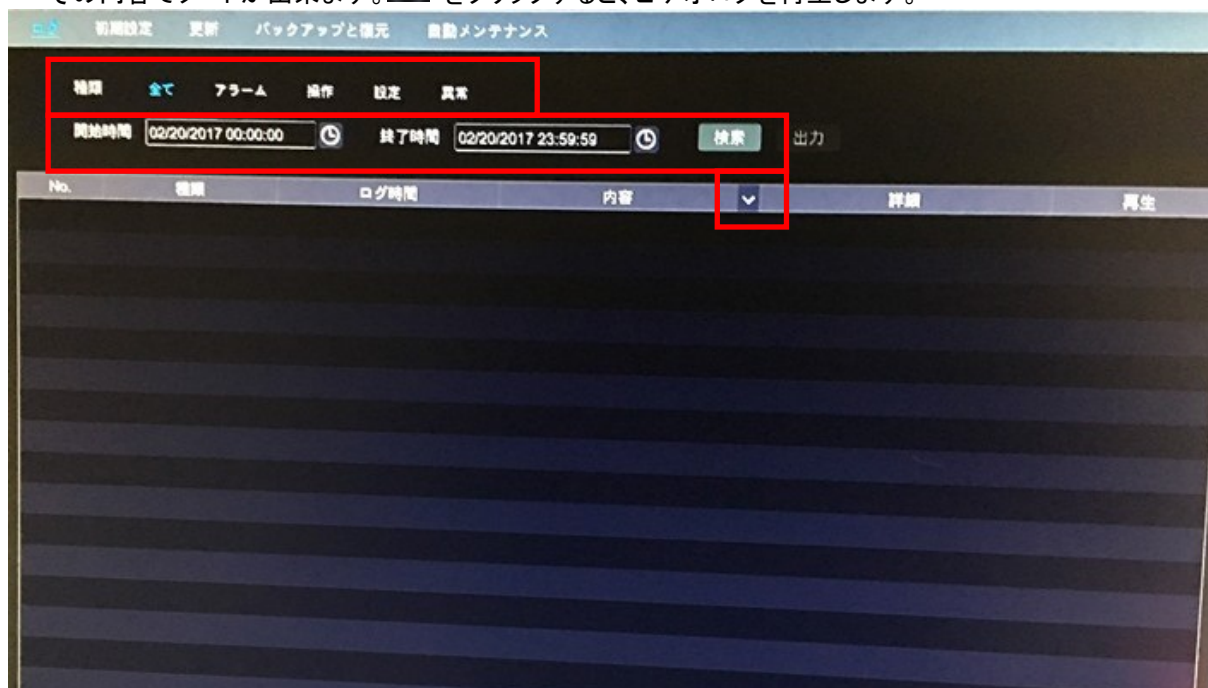
・**バックアップ**: デバイス名を選択し、保存先を指定します。“バックアップ”をクリックし、ポップアップウィンドウ内で“OK”ボタンをクリックして下さい。

・**復元**: デバイス名を選択し、設定ファイルを確認します。“復元”をクリックし、ポップアップウィンドウ内で“OK”ボタンをクリックして下さい。

### 9.2.6 ログ

“スタート”⇒“設定”⇒“システム”⇒“ログ”をクリックします。ログの種類を選択し、🕒をクリックして、“開始時間”と“終了時間”を設定後、“検索”ボタンをクリックします。検索されたログファイルがリスト内に表示されます。

リスト内のログファイルを選択し、“出力”ボタンをクリックすると、ログファイルを外部へ出力出来ます。内容バーの📄をクリックするとメニューリストがポップアップします。その中から希望の内容をチェックするとその内容でソート出来ます。▶をクリックすると、ビデオログを再生します。




### 9.2.7 システム情報

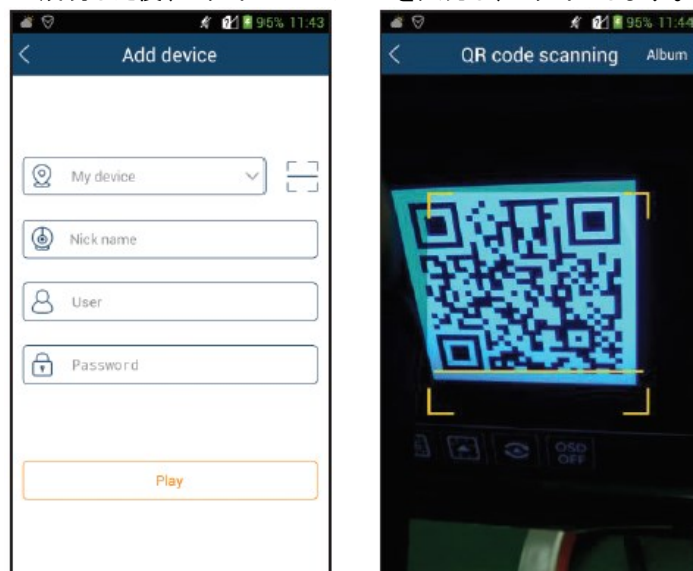
“スタート”⇒“設定”⇒“システム”⇒“情報”をクリックします。“一般”“カメラ状態”“アラーム状態”“録画状態”“ネットワーク状態”“HDD”の情報を確認できます。



## 10 章 リモート監視

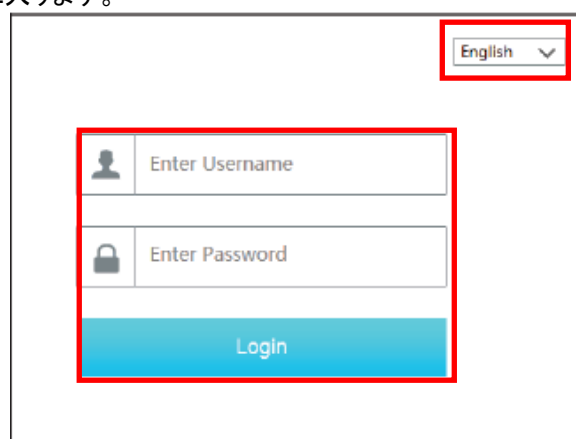
### 10.1 モバイル端末からの遠隔監視

- ①本機の NAT 設定を有効にしてください。(9.1.6 NAT 参照)
- ②監視用アプリ“Superlive Plus”をアプリストアからダウンロードし、モバイル端末にインストールしてください。  
(iOS、アンドロイド対応)
- ③アプリを起動し、“デバイス追加”画面に入り、をクリックして、本機の QR コードをスキャンします。  
(“スタート”⇒“設定”⇒“システム”⇒“情報”⇒“一般”で QR コードを確認できます。)
- ④QR コードのスキャンに成功した後、ログインパスワードを入力し、ログインします。



### 10.2 WEB LAN アクセス(ネットワーク内アクセス)

- ①“スタート”⇒“設定”⇒“ネットワーク”⇒“TCP/IPv4”をクリックします。本機のネットワーク情報を設定して下さい。
- ②IE ブラウザを開き、IE のアドレスバーに本機の IP アドレスを入力します。ログイン画面に入りますので、画面右上の言語選択で、表示言語を変更できます。本機のユーザー名とパスワードを入力し、“ログイン”をクリックするとライブ画面に入ります。



※アクセスするパソコンと本機が同じネットワーク内にあることを確認して下さい。

※本機の HTTP ポートが 80 以外の場合、IP アドレスの後ろにコロン(:)+ポート番号を入力してください。

例:HTTP ポートが 81 の場合、“http://192.168.1.42:81”

### 10.3 WEB WAN アクセス(外部ネットワークアクセス)

- ①“スタート”⇒“設定”⇒“ネットワーク”⇒“TCP/IPv4”をクリックします。本機のネットワーク情報を設定して下さい。
- ②HTTP ポートを設定し(特に必要が無ければ、初期設定から変更しないでください)、本機とルーターのUPnP 機能を有効にしてください。UPnP 機能を有効にできなかった場合、本機の IP アドレス、HTTP ポート、サーバーポートをマッピング(ポート解放)する必要があります。この設定方法はルーターによって異なりますので、ルーターの取説をご参照ください。
- ③ルーターから本機のグローバル IP アドレスを取得します。パソコンの IE ブラウザを開き、アドレスバーにグローバル IP アドレス+ポート番号を入力します。(例: “http://116.30.18.215:81”) ログイン画面に入りますので、本機のユーザー名とパスワードを入力し、“ログイン”をクリックしてライブ画面に入ります。

### 10.4 WEB 遠隔制御

本機は遠隔監視用のブラウザとして、ウインドウズの IE8/9/10/11、Firefox、Opera、Chrome (バージョン 45 以下のみ) 及び MAC システムの Safari に対応しています。

最初に IE でアクセスする場合、関連コンポーネントのダウンロードとインストールが必要です。

画面右上のボタンの説明は以下の通りです。

- admin: 現在のログインユーザー名です。
- ログアウト: クリックするとログアウトし、ログイン画面に戻ります。
- パスワード変更: パスワードを変更できます。
- ローカル設定: “スナップショット数” “保存先” の設定変更が可能です。“適用”をクリックすると設定を保存します。


スナップショット数	<input type="text" value="5"/>	<input type="button" value="▼"/>
スナップショット保存先	<input type="text" value="C:\Users\kuriki\Pictures"/>	<input type="button" value="ブラウザ"/>
録画ファイル保存先	<input type="text" value="C:\Users\kuriki\Videos"/>	<input type="button" value="ブラウザ"/>
<div><input type="button" value="適用"/></div>		

#### 10.4.1 遠隔画面



“ライブ画面”をクリックすると、下記の様な画面が開きます。主に 4 つのエリアで構成されています。


The screenshot displays the WEB CLIENT interface. At the top, there's a header with the 'WEB CLIENT' logo and navigation tabs: 'ライブ画面' (Live View), '再生' (Playback), 'バックアップ' (Backup), and '機能パネル' (Function Panel). The main area is divided into four quadrants. The top-left quadrant is a grey box labeled 'ライブ画面' (Live View). The top-right quadrant shows a live video feed of a room with shelves and a sign that says 'DEPOT'. The bottom-left quadrant shows a close-up of a camera lens. The bottom-right quadrant shows another live video feed of a room. On the left side, there's a 'カメラ (4/5)' (Camera 4/5) panel with a search bar and a list of cameras: 'カメラ1', 'カメラ2', 'カメラ3', 'カメラ4', and 'IPCamera'. On the right side, there's a '操作' (Operation) panel with various icons for camera control, including a camera icon, a red circle with a slash, a magnifying glass, a zoom in/out icon, a 30-second timer, and a volume icon. Below these icons are settings for '主ストリーム' (Main Stream) and '副ストリーム' (Sub Stream) with dropdown menus for '解像度' (Resolution) set to '1920x1080', 'FPS' set to '30', and '画質' (Quality) set to '1024Kbps'. There's also an '適用' (Apply) button. At the bottom, there's a 'ツールバー' (Toolbar) with icons for 'カメラ' (Camera), 'カメラシーケンス' (Camera Sequence), 'OSD' (On-Screen Display), '全メインストリーム' (All Main Stream), '全サブストリーム' (All Sub Stream), 'REC' (Record), and 'PTZ' (Pan/Tilt/Zoom).


## ・ライブ画面

ライブ画面内でウインドウを選択し、左パネルの1つのカメラをクリックすると、ウインドウ内にカメラが表示されます。ツールバーのをクリックすると、全カメラが表示されます。





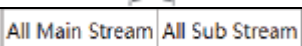






## ・左パネル

左パネルのをクリックすると、パネルを隠します。をクリックすると、パネルを表示します。ここでは全ての追加されたカメラとグループが表示されます。





をクリックすると、カメラ画像が表示されます。をクリックするとカメラを検索します。をクリックすると、カメラリストを更新します。

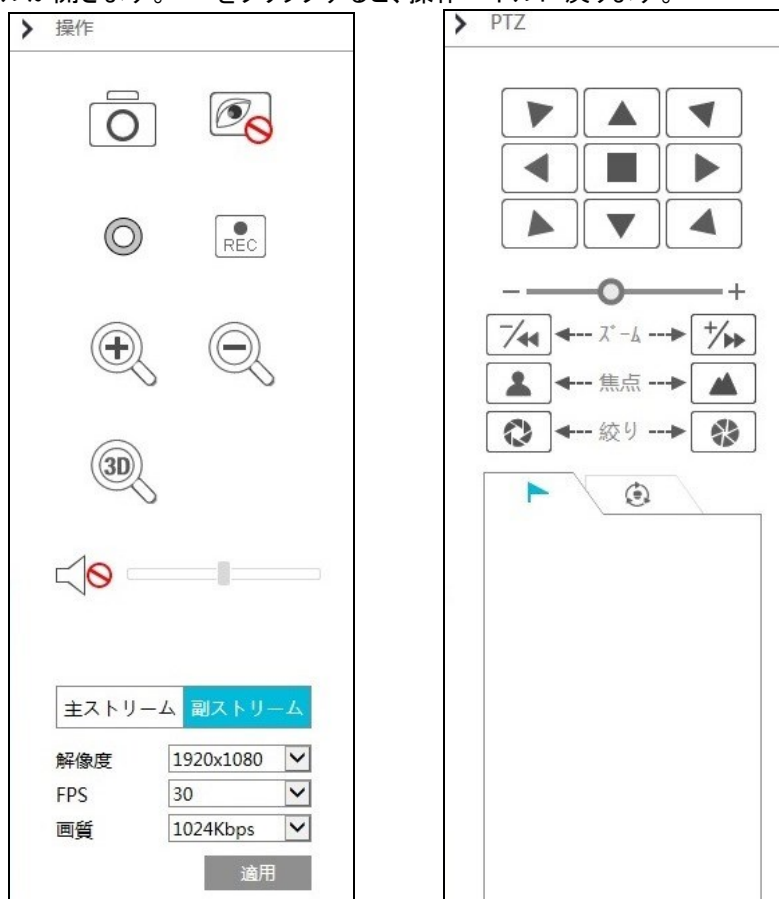
をクリックすると、カメラグループが表示されます。

## ・ツールバー

ボタン	説明
	画面表示モードボタン。
	OSD を無効にします。  をクリックすると、OSD を有効にします。
	全画面表示に切り替えます。
	全カメラのストリームタイプを切り替えます。
	手動アラームボタン。クリックするとウインドウがポップアップし手動でアラーム出力を起動・クリア出来ます。
	全カメラを表示します。
	全カメラ表示を閉じます。
	録画を開始します。  をクリックすると録画停止します。
	本機と会話機能が有効になります。

## ・右パネル

左パネルのをクリックすると、パネルを表示します。をクリックすると、パネルを隠します。をクリックすると、PTZ パネルが開きます。をクリックすると、操作パネルに戻ります。





ライブ画面で1つのウインドウをクリックし、**Main Stream** をクリックすると、カメラのライブストリームと、手動録画モードの録画ストリームをメインに設定します。

**Sub-stream** をクリックすると、カメラのライブストリームと、手動録画モードの録画ストリームをサブに設定します。サブストリームタブでは、“解像度”“FPS”“画質”を設定できます。“適用”をクリックすると設定を保存します。

#### ・操作パネルボタン

ボタン	説 明
	静止画撮影ボタン。
	録画を開始します。もう一度押すと録画を停止します。
	カメラ画像をズームします。カメラ画像をドラッグすると隠れたエリアを表示します。
	カメラ画像をズームアウトします。
	PTZ の3Dズーム機能です。
	カメラ表示を閉じます。
	音声を有効にし、音量スライダーで音量調整を行います。

#### ・PTZパネルボタン

ボタン	説 明
	をクリックすると、カメラが回転します。■ をクリックすると、動作を停止します。
	カメラの動作速度を設定します。。
	ズームイン／アウトします。
	焦点を調整します。
	絞りを調整します。
	プリセットリストを表示します。リスト内のボタンをクリックするとプリセットを呼び出します。
	クルーズリストを表示します。リスト内の対応するボタンをクリックすると、クルーズを開始/停止します。

### 10.4.2 遠隔再生

画面上部の“再生”をクリックすると、再生画面に入ります。



①再生したい左パネルの録画タイプとカメラにチェックを入れます。タイムスケール横のカレンダー上で録画日を設定します。

②“検索”をクリックして録画日を検索し、“再生”をクリックするか、タイムスケールを直接クリックすると、再生を開始します。

再生タイムスケールの操作は本機の操作方法と同じです。詳細は、“6.3 検索と再生”を参照ください。





#### ・再生パネルボタン

ボタン	説 明
	停止ボタン。
	逆再生ボタン。
	再生ボタン。
	一時停止ボタン。
	再生速度減速ボタン。
	再生速度加速ボタン。
	前フレームボタン。単画面で一時停止中のみ使用できます。
	次フレームボタン。単画面で一時停止中のみ使用できます。
	30秒前/後に移動します。
	バックアップ開始時間ボタン。タイムスケールをクリックして、開始時間を設定します。
	バックアップ終了時間ボタン。タイムスケールをクリックして、終了時間を設定します。
	バックアップボタン。

	バックアップタスクボタン。バックアップ状態を確認できます。
	イベントリストボタン。クリックすると手動/スケジュール/センサー/動体検知のイベント録画を表示します。

### 10.4.3 遠隔バックアップ

画面上部の“バックアップ”をクリックしてバックアップ画面に入ります。ユーザーはイベント検索又は日時検索でバックアップが可能です。

- ・**イベント検索**: 画面の左側の録画タイプを選択し、をクリックして、開始時間と終了時間を設定します。  
カメラを選択して、右側のをクリックすると、録画検索を行います。  
(検索データをリスト表示します。)  
リスト内の録画データを選択し、“バックアップ”をクリックするとバックアップを行います。
- ・**日時検索**: 画面左側のをクリックして、開始時間と終了時間を設定します。カメラを選択し、右側のをクリックするとバックアップを行います。
- ・**バックアップ状態**: “バックアップ状態”をクリックすると、バックアップの進行状況を表示します。“一時停止”をクリックすると、バックアップを一時停止します。“再開”をクリックすると、バックアップを続けます。“削除”をクリックすると、バックアップを中止します。

### 10.4.4 遠隔設定

画面上部の“機能パネル”をクリックすると、“カメラ”“録画”“アラーム”“HDD”“ネットワーク”“ユーザー権限”“システム”の設定が可能です。これらの全ての設定は本機での設定と共通です。

## 補足 A:FAQ

Q1:HDD を認識できない。

- (1)HDD の電源と SATA データケーブルが正しく接続されているか確認して下さい。
- (2)HDD と本機との適合性を確認して下さい。(補足 C 適合デバイスリスト参照)
- (3)HDD が破損している可能性があります。新しい HDD と交換してお試しください。

Q2:カメラウインドウに映像が表示されない。

- (1)カメラの解像度を本機が対応しているか確認してください。
- (2)IP カメラを接続している場合は、LAN ケーブルの接続とネットワーク設定を確認して下さい。
- (3)アナログカメラの同軸ケーブルの接続が正しいか確認して下さい。

Q3:本機を起動しても画面に何も表示されない。

- (1)モニターと本機の接続ケーブル(HDM、VGA 等)が正しく接続されているかご確認ください。
- (2)モニターが解像度 1280\*1024 又は 1920\*1080に対応しているか確認して下さい。対応していない場合は、対応しているモニターに交換してください。

Q4:パスワードを紛失しました。

- (1)管理者のパスワードは、“秘密の質問編集”機能を使用してリセットが可能です。管理者の初期パスワードは“123456”です。
- (2)他のユーザーのパスワードは、管理者によってリセットできます。詳細は、“8.1.2 章 ユーザー編集”を参照ください。

Q5:本機が録画をしない。

- (1)HDD が初期化されていることを確認して下さい。
- (2)手動録画モードで録画スケジュールが設定されていない場合録画しません。詳細は、“5.5.3 章 スケジュール設定”を参照ください。
- (3)HDD が上書き設定になっているかご確認ください。(“5.5.1.2 詳細録画設定”参照)
- (4)HDD に異常がある可能性があります。HDD を交換してお試しください。

Q6:IE で本機にアクセスできない。

- (1)IE バージョンがバージョン 8 以上であるか確認して下さい。
- (2)PC のファイヤーウォールが有効であるか、ウイルスソフトがインストールされているか確認して下さい。一度ファイヤーウォールとウイルスソフトを無効にしてアクセスをお試しください。
- (3)許可/不許可リストに PC の IP アドレスが不許可リストに登録されているか確認して下さい。

Q7:ActiveX コントロールがダウンロードできない。

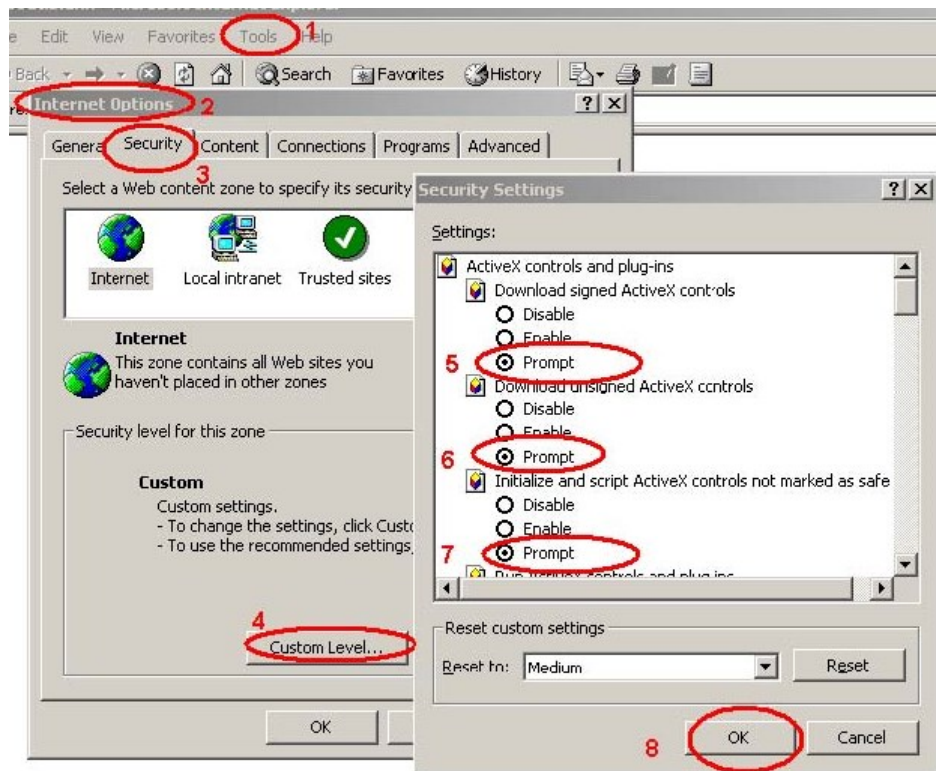
- (1)IE ブラウザが ActiveX コントロールをブロックしています。下記のステップで設定を変更してください。

IEブラウザの”ツール” ➡ ”インターネットオプション“ ➡ ”セキュリティ” ➡ ”レベルのカスタマイズ”へ入り、次の設定を行ってください。

ActiveXコントロールとプラグイン

- ・ ActiveX コントロールとプラグインの実行:有効にする
- ・ スクリプトを実行しても安全だとマークされない ActiveXのコントロールの・・・:ダイアログを表示する
- ・ スクリプトを実行しても安全だとマークされている ActiveX のコントロールの・・・:有効にする。
- ・ 署名された ActiveX コントロールのダウンロード:ダイアログを表示する。
- ・ 未署名の ActiveX コントロールのダウンロード:ダイアログを表示する。




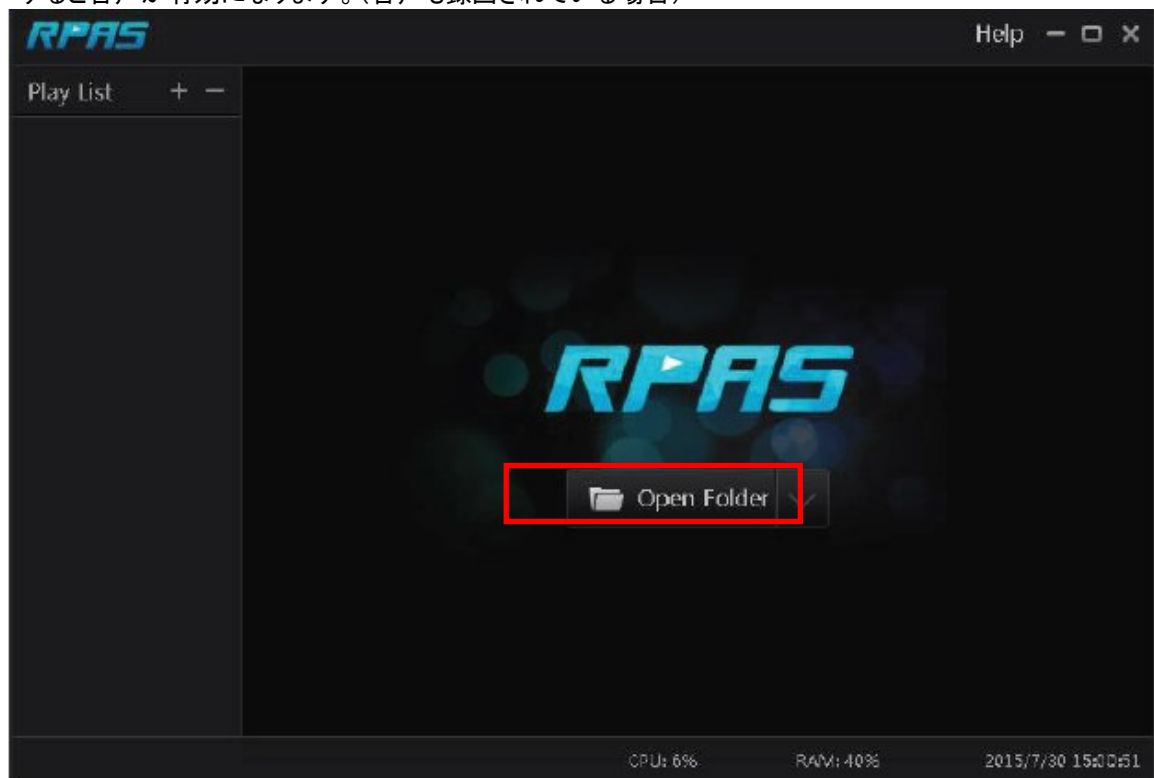


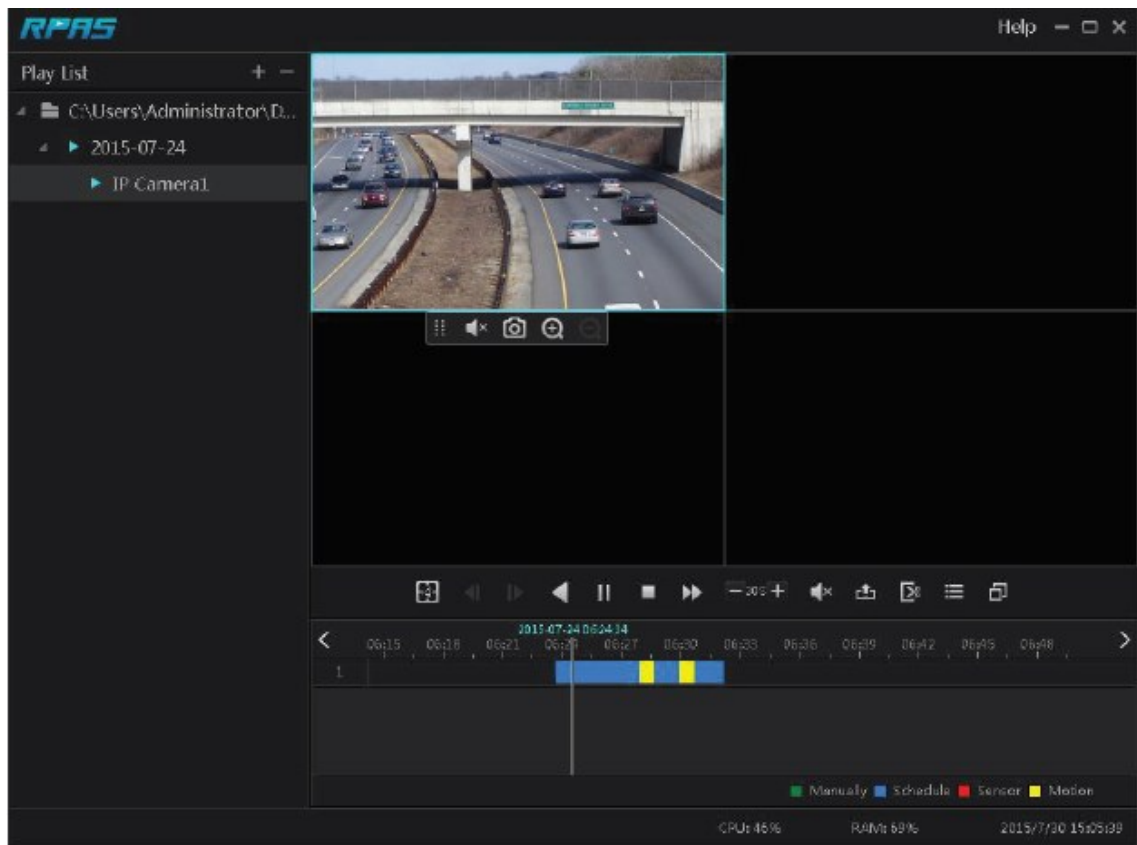
Q8: バックアップファイルの再生方法は？

(1) USB デバイス内にバックアップしたファイルは、プライベートフォーマットか AVI 形式で保存されます。プライベートフォーマットでバックアップした場合は、再生ソフト(RPAS)が自動的に USB メモリにダウンロードされます。“RPAS.zip”ファイルを解凍し、“RPAS.exe”をクリックして RPAS を設定します。

セットアップ完了後、RPAS プレーヤーを開き、画面真ん中の“Open Folder”ボタンをクリックして、再生ファイルを選択します。

画面左側のツリーからカメラを選択し、バックアップデータを再生します。ツールバー上の  をクリックすると音声が無効になります。(音声も録画されている場合)





AVI フォーマットでバックアップした場合は、バックアップファイルは一般の再生ソフト(メディアプレーヤー)で再生が出来ます。

- (2)WEB 経由でバックアップした場合、バックアップデータは AVI 形式でのみ保存できます。データは PC 内に保存され、再生ソフトで再生できます。

## 補足 B: 必要な録画容量

録画容量は、録画解像度、録画ストリームやビットレートによって異なります。異なる画質パラメータであれば、同じ時間録画する場合でも必要な HDD 容量は異なります。

録画容量の計算式は、以下のようになります。

録画容量 (MB) = ビットレート (Kbps) ÷ 1024 ÷ 8 × 3600 × 1 日あたり録画時間 × 録画日数 × カメラ数  
※3600 は1時間録画を意味します。

録画ビットレート (Kbps)	必要容量 (MB/時間)	必要容量 (MB/日)
10240	4500	108000
8192	3600	86400
6144	2700	64800
4096	1800	43200
3072	1350	32400
2048	900	21600
1024	450	10800
768	338	8100
512	225	5400
384	169	4050
256	113	2700

下記に1ヶ月録画するのに必要な容量を一覧に示します。

録画ビットレート (Kbps)	録画容量 (TB)			
	1CH	4CH	8CH	16CH
10240	3	12.4	24.7	49
8192	2.5	9.9	20	40
6144	1.9	7.4	15	30
4096	1.2	5	10	20
3072	1	3.7	7.4	15
2048	0.6	2.5	5	10
1024	0.3	1.2	2.5	5
768	0.2	0.9	1.9	3.7
512	0.16	0.6	1.2	2.5
384	0.12	0.4	0.9	1.9
256	0.08	0.3	0.6	1.2

HDD にはローマットロスが 10%ありますので、必要な HDD 療養の計算にはこの 10%を見込んでください。



## 補足 C: 適合デバイスリスト

### 適合 HDD リスト

ブランドとシリーズ		容量
Seagate	Barracuda Series	500GB/1TB/2TB/3TB
	SV35 Series	1TB/2TB/3TB
	Surveillance HDD Series	1TB/2TB/3TB/4TB/6TB
Western Digital	Blue Series	500GB/1TB
	Green Series	2TB/3TB/4TB
	Purple Series	1TB/2TB/3TB/4TB/6TB

### 適合 USB メモリリスト

ブランド	容量
SSK	2GB
Netac	4GB
Kingston	2GB/8GB/16GB/32GB
Aigo	2GB
Smatter vider	1GB
SanDisk	4GB/8GB/16GB/32GB

補足 D: 詳細仕様

製 品	DVR-020A(4ch1080P)	DVR-020(4ch アナログ)	DVR-026A(16ch)
一般仕様			
ビデオシステム	NTSC / PAL 切替		NTSC / PAL 切替
CPU	Corte x A7		
ビデオ入力	4CH BNC		16CH BNC
ビデオ出力	HDMI × 1 : 1920 × 1080, 1280 × 1024、 VGA × 1 : 1920 × 1080, 1280 × 1024 BNC × 1 : CVBS		
ビデオ解像度	AHD : 4MP, 3MP, 1080P, 720P, WD1 , TVI / CVI : 1080P, 720P	TVI / AHD 2.0 1080P, 720P, WD1	
音声入力	4CH RCA		
音声出力	1CH RCA		
音声バックアップ	有り		
アラーム	手動、センサー、動体検知など		
アラームトリガー	録画、スナップショット、プリセット、メール送信		
センサー	4 input / 1 output		
RS-485	パン/チルト/ズームカメラ		
USB Port	2 ports		
マウス	USB mouse		
リモコン	オプション		
ストレージ			
HDD サポート	SATA HDD x1(Max. 6TB)		
録 画			
ビデオ圧縮	H.264		
解像度	3MP,1080P, 720P, WD1	1080P, 1080P lite, 720P, WD1	
フレームレート	3MP : 15 fps 1080P / 720P / WD1 : 30 fps	1080P : 60 fps 1080P Lite / 720P / WD1 : 120 fps	
画質	768Kbps ~ 8Mbps		
録画モード	手動、スケジュール、動体検知、センサー		
再 生 / バックアップ			
検索モード	日時検索、イベント検索、タグ検索		
再生速度	早送り/巻き戻し: 2X, 4X, 8X, 16X, 32X、デジタルズーム スロー再生/スロー巻き戻し: 1/2X,1/4X,1/8X,1/16X、1/32X、再生 / 一時停止		
バックアップモード	USB フラッシュメモリ / ネットワーク		
ネットワーク			
インターフェース	RJ45 10M / 100Mbps × 1		
ネットワークユーザー	複数対応		
プロトコル	TCP / IP, PPPoE, DHCP, DNS, DDNS, UPnP, NTP, SMTP		
モバイルデバイス	iOS、アンドロイド		
その他			
ファームウェア更新	USB デバイス		
寸法	300mm (W) x 52mm (H) x 248mm (D)		
電源	DC12V、2A		
操作環境	30 ~ 80% RH, 0℃ ~ 40℃ (41F ~ 104F)		

## 保 証 書

この度は、弊社製品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。製品品質については万全を期しておりますが、お客様の正常なご使用状態で万一故障した場合は、この保証書に記載された内容により、修理、又は交換いたします。その際は、購入日が記載された本保証書とともにご購入先にご連絡ください。

※この保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

製品名称	AHD 対応 4/8/16ch デジタルハードディスクレコーダー		
型 番	DVR-020A/DVR-020	お客様名	
販売者	株式会社ボーダレス	ご住所	( 〒    —    )
住 所	〒132-0033 東京都江戸川区東小松川 4-54-16 401		
電話番号	03-5662-0787	電話番号	
ご購入日		E-Mail	

### 《保証規定》

次のような場合は、保証期間内でも保証の対象外となります。

- i. 本保証書のご提示がない場合
- ii. 本保証書の所定事項の未記入、又は字句を書き換えられた場合
- iii. 火災、地震、水害、落雷、ガス害、塩害、その他天災地変、公害や異常電圧による故障
- iv. お買い上げ後の輸送、移動時の落下などお取扱が不適当なために生じた故障
- v. 接続している他の機器に起因して生じた故障
- vi. 本取扱説明書に記載の使用方法又は注意に反するお取扱によって生じた故障
- vii. 弊社以外の作業による、改造、調整、部品交換などをされた場合
- viii. 消耗品の交換  
※HDDの損傷につきましては保証の対象外です。
- ix. 本保証書は、日本国内においてのみ有効です。

### [注意]

- x. 保証期間内の修理の際に発生する商品の返送費用はお客様の負担となります。
- xi. 本製品は、盗難の防止を保証するものではありません。そのため本製品の故障または使用によって生じた直接及び間接の損害について弊社は一切の責任を負いません。
- xii. 本保証書は以上の保証規定により無料修理をお約束するもので、これによりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- xiii. 保証期間経過後の修理については、有償にて修理を承ります。